

# 宮 崎 県

## 幼児期における環境学習マニュアル



宮 崎 県

# はじめに

県では、環境保全のために行動する人づくりを推進するため、幼児から児童、生徒、大人までそれぞれのライフステージに応じた環境学習に取り組んでいます。

中でも幼児期は、様々な活動や生活習慣の基盤が形成される大切な時期であり、この時期における環境学習は、生涯にわたる環境保全意識を身につけるための基礎を培うという重要な役割を担っています。

このため、県では、幼児期を対象とした指導者のための環境学習マニュアルを作成いたしました。

このマニュアルは、宮崎県の豊かな自然とのふれあいを重視し、野外での活動や森林フィールドを活かしたプログラムをふんだんに盛り込んだものとなっています。

また、幼稚園・保育所での環境学習を推進するため、平成15年度から実施しております「宮崎県エコ幼稚園（保育所）推進事業」による指定園・認定園での環境学習の取組や実践活動例を掲載するなど、実際に環境学習を行う上で役立つ具体的な手法やポイントなどを紹介しています。

県内の幼稚園・保育所をはじめ、幼児教育に携わる方々が、本マニュアルを日頃の環境学習に活用していただき、環境学習の取組の輪を広げていただきますようお願いいたします。

平成23年3月

宮 崎 県

# も く じ

1	幼児期における環境学習について	2
2	低炭素・循環型社会づくり等に関する基礎知識	
(1)	地球温暖化の現状	4
(2)	ごみの現状やごみ処理の流れ	7
(3)	低炭素・循環型社会づくりを目指して	10
3	取組・プログラム	
(1)	リサイクルおもちゃ・楽器づくり	
	竹とんぼを作って遊ぼう	14
	ウグイス笛を作って遊ぼう	15
	正月のしめ縄を作って飾ろう	16
	ペットボトルのキャップで楽器を作ろう	17
(2)	ごみの分別・清掃活動	
	ごみを分別してみよう	18
	うまく分けられるかな?	19
	分別ごみ箱作り	21
(3)	花や野菜の栽培	
	サツマイモを育てよう	22
	バレイショを育てよう	23
	サトイモを育てよう	24
	ナガイモを育てよう	25
	ミニトマトを育てよう	26
	ニチニチソウを育てよう	27
	ハツカダイコンを育てよう	28
(4)	節電・節水など環境保全活動	
	節電・節水で地球温暖化防止	29
	わたしたちでできる地球温暖化対策	30
(5)	森の植物や生物について	
	園庭とその周辺で楽しく遊ぼう	32
	公園で遊ぼう	33
	里山は宝の山だ	34

( 6 ) 森林の役割	
森林のはたらき	35
木を植えてみよう	36
( 7 ) 野外活動の指導・提案	
しいたけ栽培体験作業	37
園・所庭での堆肥化作業	38
野外でのバードウォッチング	39
みんなで巣箱を掛けよう!	40
子どもウォークラリー	41
落ち葉で“じゃんけんぽん”	42
どんぐりで作品を作って遊ぼう	43
はっばっぱ(年代に応じたはっば遊び)	44
野鳥のものまね	45
蝶々とにらめっこ	46
野生の動物と家で飼っている動物のちがい	47
しぜんの だいすき だいじさがし	48
色いくつ	49
同じものを見つけよう	50
フィールドビンゴ	51
( 8 ) 森林環境施設を活用した取組・体験学習の概要	52

## 4 実践活動紹介

( 1 ) エコ幼稚園・エコ保育所	57
( 2 ) こどもエコクラブ	95

## 5 教材・施設・講座等の紹介

( 1 ) 環境学習教材一覧(絵本、紙芝居、DVD等)	100
( 2 ) 環境学習施設一覧	101
( 3 ) 環境保全団体一覧	103
( 4 ) 環境学習講座一覧	105
( 5 ) 環境学習関係法令等	107

# 1 幼児期における 環境学習について

なぜ今環境学習が必要なのでしょうか。

現在、私たちは当たり前のように便利で豊かな生活を送っています。しかし、豊かな日常生活を送るために、地球上の多くの天然資源やエネルギーを消費した結果、様々な生活型公害（水質汚濁・廃棄物問題など）だけでなく、自然環境の破壊や地球温暖化など地球規模の環境問題を引き起こしてきました。

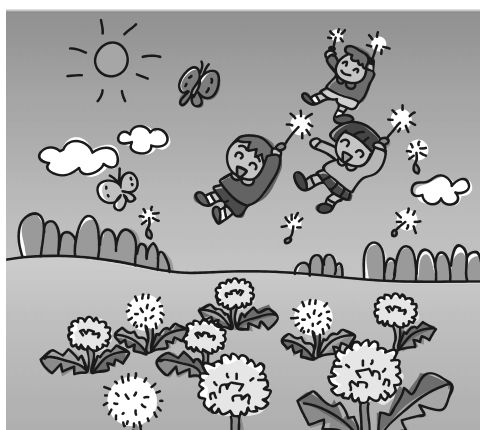
こうした問題を解決するためには、常に環境のことを考えた生活行動を心がけ、環境保全活動が実践できる人を育てるという「人づくり」を推進し、社会構造を環境に配慮したものへ転換することが重要です。環境学習とは、人と自然（環境）とのかかわりを理解し認識だけでなく、体験を通して習得した知恵や感性を活用して環境問題の解決に向けて行動できる「人づくり」を行うものであり、環境問題が深刻化している今こそ、このような「人づくり」が求められているのです。

環境学習では、幼児から高齢者までのあらゆるライフステージにおいて、それぞれの発達段階や年代に応じた取組が行われています。中でも、体験を通して得た知恵や感性が必要とされる環境学習では、幼児期の活動が特に重要になります。幼児期は、五感で世界を理解する時期であり、実体験を通して、自然を感性で理解する時期でもあります。恵み豊かな自然に直接ふれあうなど実体験を通して、自然の持つ美しさ、不思議さ、神秘さに目をみはる感性（センス・オブ・ワンダー）を育み、他者（自然や人間）に共感する豊かな感性と想像力を身につけることが、次のステップへの原動力となるのです。

また、幼児期は基本的な生活習慣を確立し、道徳観の基礎を養う時期でもあることから、この時期に環境に配慮した生活の仕方やマナーを、生活・体験の中で身につけることも大切です。このような実体験を通して見識が豊かになり、問題解決への意欲や積極的に実践する行動力を身につけることができます。

このように、非常に重要な幼児期の環境学習を実りあるものにするためには、養育に携わる人（保育者）自身が、環境への意識を高め、日々の生活の中で命の輝きに気付く感性を磨く努力が必要です。保育現場においても環境学習的な視点を取り入れ、子どもたちと一緒に、楽しく自然体験・生活体験を推進していきましょう。

（参考：宮崎県環境学習基本指針～人と自然の共生する地域環境を担う人づくり～）



## 2 低炭素・循環型社会づくり等 に関する基礎知識

## (1) 地球温暖化の現状

### 地球温暖化とは

私たちの暮らす地球は大気に囲まれています。大気中には、赤外線を吸収・放射する気体が含まれているため、昼間に太陽エネルギーで温められた地表は、夜間も急激に温度低下することなく、生物が暮らすのに適した温度に保たれています。このように、大気中にある赤外線を吸収・放射する性質を持つ気体を「温室効果ガス」と言います。

産業革命以降、人間の活動が増加するにつれて、温室効果ガスの濃度が上昇し続けています。温室効果ガス濃度が上がると、赤外線の吸収・再放射量が増し、地表付近の大気の温度が上昇します。これが「地球の温暖化」です。この温度上昇が気候の変動を引き起こし、人類のみならず地球上のあらゆる生物に多大な影響を及ぼすと考えられています。

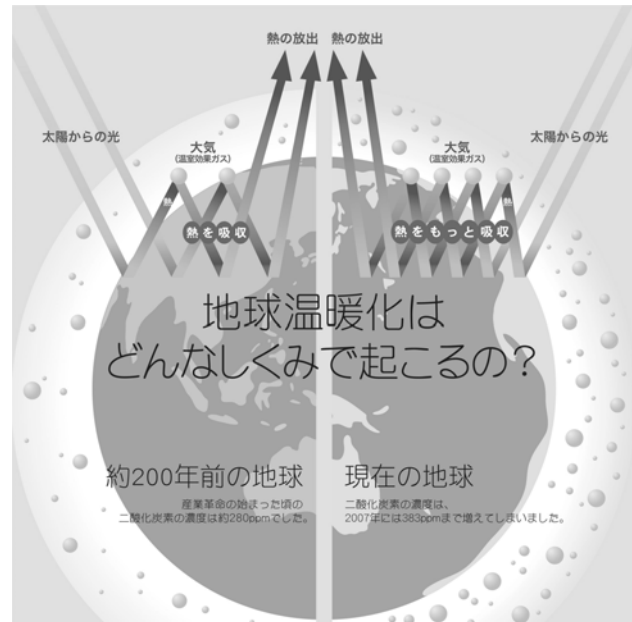


図1 地球温暖化のしくみ

出典: 全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト

### 地球温暖化の原因

地球温暖化に影響を及ぼす温室効果ガスには、二酸化炭素( $\text{CO}_2$ )、メタン( $\text{CH}_4$ )、一酸化二窒素( $\text{N}_2\text{O}$ )、フロン類などがありますが、近年、発生量が著しく増加しているのが二酸化炭素( $\text{CO}_2$ )です。

人間が化石燃料を大量に消費するようになり、大気中の $\text{CO}_2$ 濃度は、産業革命前の約280ppmからわずか200年で約370ppmにまで上昇しました。濃度上昇は加速度を増しており、今のままでは、今世紀の終わりには、540~970ppmにまで上昇すると予測されています。

最近50年の温室効果ガス濃度の上昇は、人間の活動によるものであると考えられています。近年の大量生産・大量消費・大量廃棄という社会システムは、多くの化石燃料を消費し、多くの温室効果ガスを排出しているのです。温暖化を防止するためには、私たちの生活スタイルや社会・経済システムそのものを変えていく必要があります。

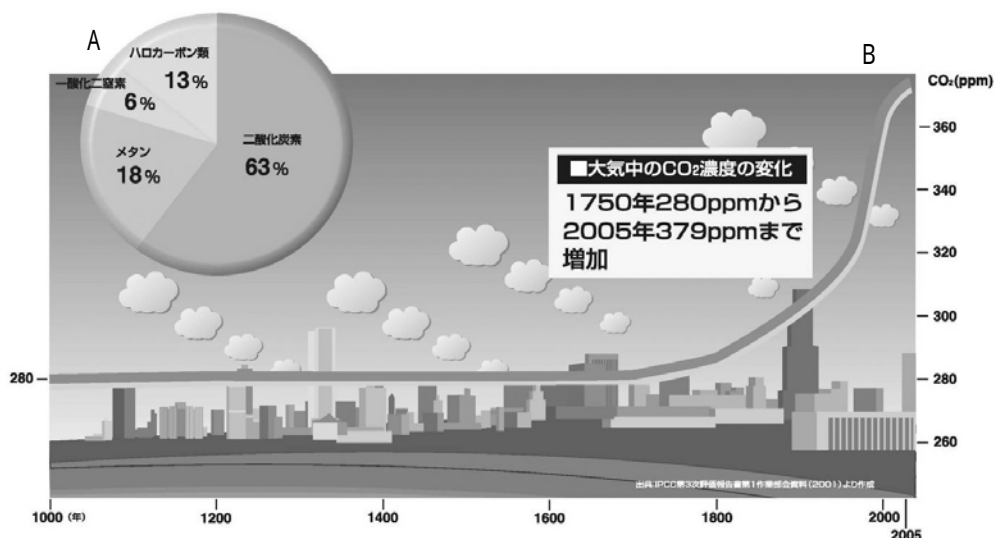


図2 温室効果ガスの地球温暖化への寄与度(A)及び大気中の $\text{CO}_2$ 濃度の変化(B)

出典: 環境省「地球温暖化パネル」



## 地球温暖化の実態

温室効果ガスの濃度が上昇するにつれて、地球の気温も上昇しています。

20世紀初頭からの100年間で地上気温は0.74℃上昇しており、産業革命以降の気温の上昇は、自然変動の範囲を超えるものとなっています。とりわけ20世紀末以降の高温傾向は顕著で、このままでは今世紀末までに、さらに1.1~6.4℃上昇すると予測されています。

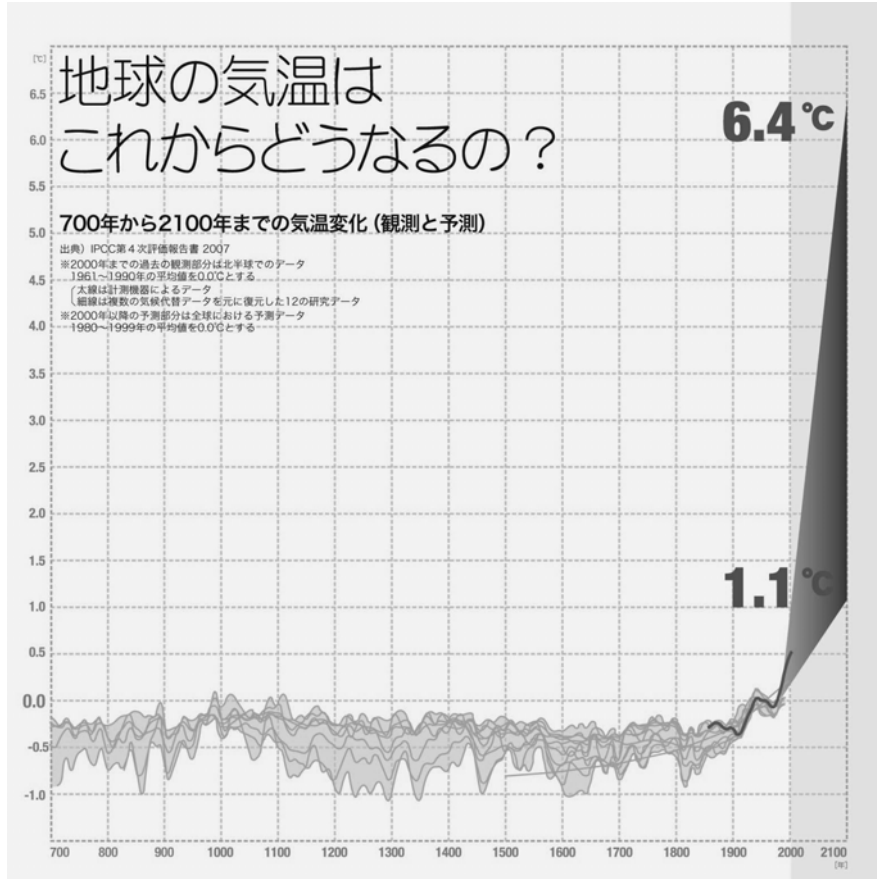


図3 地球の気温推移

出典: 全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト

## 地球温暖化の影響

地球温暖化は、単に気温が上昇するというだけでなく、世界的な異常気象・砂漠化・生態系の破壊など、他の環境問題と深く関わっており、地球環境に対し取り返しのつかない結果をもたらすことが心配されます。地球温暖化は、自然環境のみならず、人間や社会環境にも大きな影響を与えると考えられます。

- ・異常気象：異常高温・洪水・干ばつ等が多発。
- ・海面上昇：氷河・氷床が溶け、海面が上昇し、水没する国や地域が発生。
- ・生態系の変化：植物群・動物群の変化と絶滅種の増加、大量発生による被害。
- ・食料生産への影響：干ばつ・豪雨・害獣害虫の捕食による食料生産の減少。
- ・熱帯性伝染病のまん延：吸血昆虫が媒介する病気（マラリア等）の増加。

## 地球温暖化防止に向けた取組

温暖化は地球全体の問題であり、その解決には国際的な理解と協力が必要です。今からCO<sub>2</sub>排出を抑制できたとしても、気温の上昇などの温暖化傾向は、数世紀にわたって続くものと考えられます。各国が同じ危機意識を持って、国レベル・地域レベル・個人レベルで、一刻も早い対応を取らなければなりません。

地球温暖化防止を目的とした、最初の国際的な取り決めは、1992年に締結された「気候変動枠組条約」です。現在、日本をはじめ世界180カ国以上の国々が「気候変動枠組条約締約国会議(COP)」に参加し、具体的な取組について検討されています。1997年にはCOP3が日本で開かれ、先進国における温室効果ガス排出削減目標などを定めた「京都議定書」が採択されました。温暖化に関する問題は、様々な利害関係が複雑に絡み合っており、具体的に対策を進めるには多くの課題がありますが、COP等を通して解決に向けた話し合いを進め、理解を深めていくことが大切です。

日本は、温暖化対策に関する国の総合的な方針として、1998年に地球温暖化対策推進大綱を決定し、2005年にはこの大綱を引き継ぐ「京都議定書目標達成計画」を策定しました。

現在、すべての国民が力を合わせて地球と日本の環境を守り、未来に引き継いでいくための国民運動「チャレンジ25キャンペーン」が展開されています。「チャレンジ25キャンペーン」は、これまでの地球温暖化防止のための国民運動「チーム・マイナス6%」から、よりCO<sub>2</sub>削減に向けた運動へと新展開するものであり、オフィスや家庭などにおいて実践できる具体的な行動を「6つのチャレンジ」として提案し、その行動の実践を広く国民に呼びかけて、CO<sub>2</sub>の排出の削減を進めています。

温暖化は、私たち人間の生活にも起因するものです。自分たちの行動を客観的に評価し、自分たちにできることを話し合い、無理をせず、実践していきましょう。

「チャレンジ25キャンペーン」が推薦する「6つのチャレンジ」	キャンペーンのロゴマーク
1. エコな生活スタイルを選択しよう	ロゴマークのデザインと、「未来が変わる、日本が変わる」というスローガンは、地球温暖化は世界全体の問題であり、25%排出削減に向け、国民各界各層が力強くCO <sub>2</sub> 排出削減の実践に取り組み、挑戦の輪を上げていくことを表現しています。「企業・団体チャレンジャー」(地方公共団体、企業、NPO等各団体)が、地球温暖化防止に向けた情報提供やさまざまな普及啓発活動を行う場合に、「企業・団体チャレンジャー」として登録した上で、ポスター、パンフレット、社内報、CM、名刺、ホームページ等さまざまな媒体にこのロゴマークを使用していただくことができます。
2. 省エネ製品を選択しよう	
3. 自然を利用したエネルギーを選択しよう	
4. ビル・住宅のエコ化を選択しよう	
5. CO <sub>2</sub> 削減につながる取組を応援しよう	
6. 地域で取組む温暖化防止に参加しよう	

図4 チャレンジ25キャンペーン

出典:平成22年版 図で見る環境・循環型社会・生物多様性白書より

## (2) ごみの現状やごみ処理の流れ

### ごみの現状

私たちは毎日の生活の中で、様々なものをごみとして廃棄しています。

全国のごみの排出量は、平成 12 年度をピークに年々減少傾向にあるものの、年間 4,000 万トン以上にのぼり、これを国民 1 人当たりの排出量に換算すると、1 日に 1,000g 以上のごみを排出していることとなります。

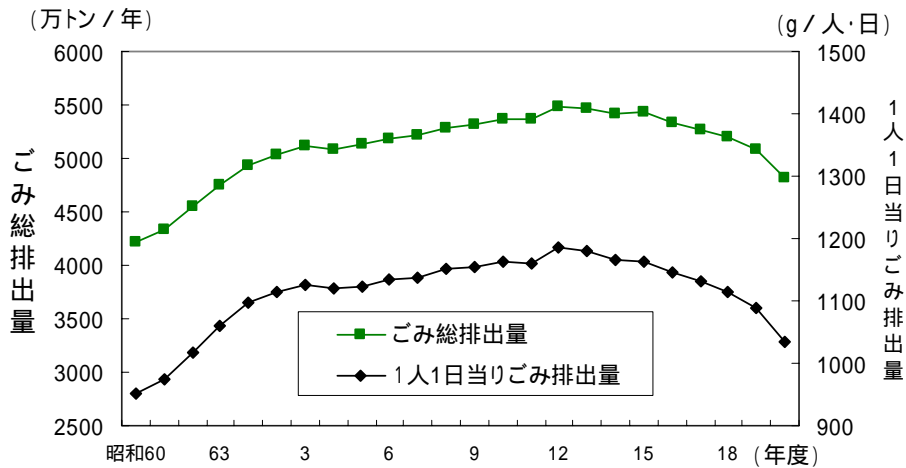


図 5 ごみ総排出量と 1 人 1 日当りごみ排出量の推移 (全国)

出典:平成 22 年版 図で見る環境・循環型社会・生物多様性白書

注:「ごみ総排出量」=「計画収集量+直接搬入量+資源ごみの集団回収量」

### ごみ処理の流れ

ごみとして出されたものは、燃やせるもの・焼却以外の中間処理（破碎など）をするもの・資源化できるもの・燃やすことも資源化もできないものの、大きく 4 つに分けられ、それぞれに処理されていきます。燃やせるごみは、ごみ全体の 60～80% を占め、焼却施設で燃やし灰になります。資源化される量は、ごみ全体の 15～20% 程度で、直接資源化するものや堆肥化・燃料化・再資源化・分解などの処理を経て、再び資源として利用されます。燃やすことも資源化もできないごみは全体の 1～3% ですが、焼却施設でできた灰や、再資源化施設で出てきた残渣などと一緒に、最終処分場で埋立て処理されています。

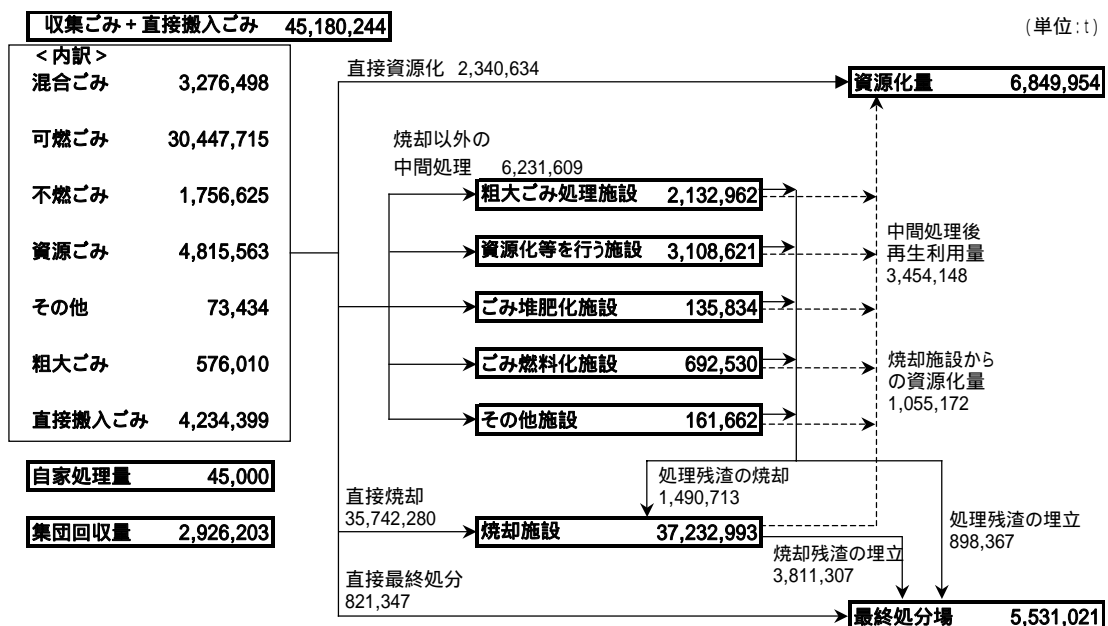


図 6 全国ごみ処理の流れ (平成 20 年度実績)

出典:環境省廃棄物処理技術情報 一般廃棄物処理実態調査結果より

## 「4R」とは

近年、資源を循環させるために、長く使える商品を選んで購入し、修繕しながら大事に使うことにより、できるだけごみを出さないこと（ごみの発生抑制・リデュース）、使い終わったものを繰り返し使用すること（再使用・リユース）、再使用できないものを資源として再生すること（再生利用・リサイクル）、さらに不要なものは買わない・受け取らないこと（拒否・リフューズ）の英語の頭文字をとった「4R」の取組が広がっています。

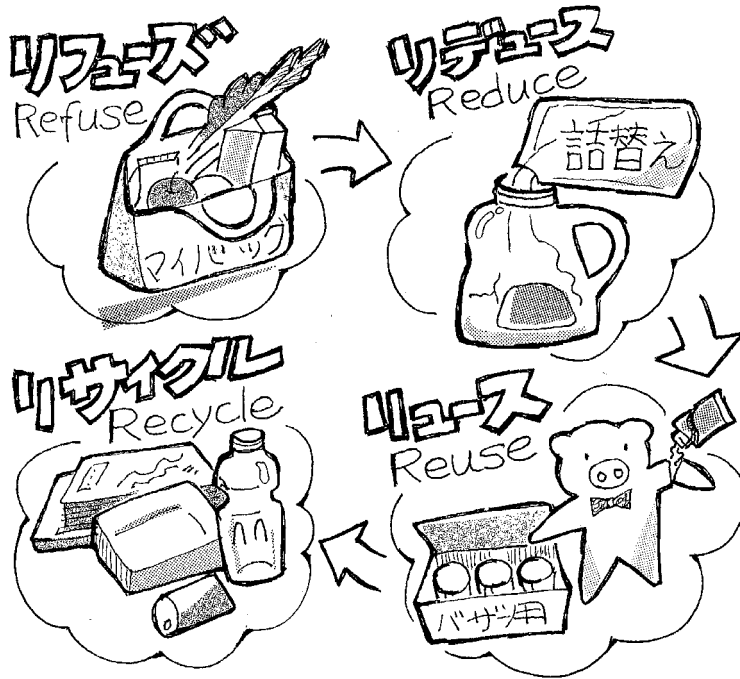


図7 4Rとは

身近な例として、ごみの分別回収、レジ袋を使わないマイバッグ運動など、生活全般について、様々な方法が普及しています。また、資源の再生や焼却で発生する熱を再利用する方法（サーマルリサイクル）も進んでいます。

循環型社会の形成はまた、温室効果ガスの排出を抑える効果も高く、地球の温暖化防止にも関わる大切な対策のひとつです。

## リサイクルについて

リサイクル推進策としては、容器包装リサイクル法、家電リサイクル法、自動車リサイクル法、建設リサイクル法、食品リサイクル法、資源有効利用促進法（パソコンなどのリサイクル）などの法律が制定されており、その中で、消費者・自治体・事業者・製造/販売業者が役割を分担し、廃棄物の減量化とリサイクルの推進を図っています。

身近なリサイクルの例としては、缶（アルミ・スチール）・びん・紙・プラスチック（PET・その他）・衣類（繊維）の再生があげられます。分別回収された製品を、専門業者が適切な加工処理を施して、再生品として生まれ変わります。

また、リサイクルで再生された商品には、再生紙使用マーク（アールマーク）やグリーンマークが表示されているので、商品を選ぶときの基準になります。



図8 リサイクルの素材を示すマーク



図9 アールマークとグリーンマーク

## これからの取組

これからは、リサイクルと同時に、ごみ排出そのものを抑制するリデュースを推進しなければ、年間4,000万トン以上にのぼるごみの排出量は減りません。

企業においては、製品の開発段階からリサイクルしやすい設計の導入や技術開発など、リデュースのための取組が求められています。

家庭においては、リサイクル意識が向上し、ごみの分別収集が進んでおり、家庭から出る可燃性ごみは減少してきましたが、そのうちの半分近くが生ごみになっています。水分の多い生ごみは、焼却するのに多くの燃料が必要になります。そこで最近では、コンポストを使った生ごみの堆肥化や、生ごみを乾燥させて廃棄量を減らす方法が普及しつつあります。



## 私たちができること

以上のように、ごみ問題は私たちの生活に深く関係しており、一人ひとりの取組で目に見える改善が期待できる問題でもあります。

常に「4R」を念頭において、生活しましょう。

商品を購入するときには、本当に必要なものか、多すぎないか、使い捨ての商品でないか、長く使うことができる商品であるかなどを見極めなければなりません。簡易包装に努め、マイバッグの利用によりレジ袋の削減に努めましょう。

リサイクルできる製品には、素材ごとにマークが表示されています。(図8)使用後は、マークに従って分別することで、より多くの素材が資源として再利用されることとなります。ガラスびんのうち、リターナブルびん(牛乳びん・一升びん・ビールびんなど)は販売業者が有料で買い取るほか、地域においても回収を行っています。発砲スチロール容器や牛乳パックは、スーパーなどの回収ボックスも利用できます。

捨てる前には、リユースに回せないか、修理できないか、別の使い方はできないか、もう一度考え直してみましょう。

膨大に膨らむごみをいかに減らすか、そして排出されたごみを資源としていかに利用するかが今後の重要な課題です。

将来の世代へ引き渡すことのできる、持続可能なシステムを作るために、一人ひとりが高い意識を持って、今できることから取り組んでいきましょう。

(参考：宮崎県 ごみ減量化テキスト)

### (3) 低炭素・循環型社会づくりを目指して

私たちが暮らす社会は、「大量生産・大量消費・大量廃棄」の社会と言われています。使い捨てのものを大量生産・大量消費するだけでなく、使用した後の製品や消費されなかった製品をごみとして廃棄しています。また遠くの消費地へ運ぶために、多くの資源やエネルギーを使い、環境に負荷を加えています。

このまま、一方通行の社会経済システムを続ければ、世界はどうなるでしょうか。近い将来、天然資源はなくなり、埋め立て処分場の枯渇と、大量の温室効果ガスによる地球温暖化が加速的に進むことが予想されます。温暖化が進むと、異常気象の多発・解氷による海面上昇・砂漠化・生態系の変化・熱帯性伝染病のまん延など様々な問題が発生し、人間だけでなく、地球上のあらゆる生物の生命を脅かすことになるでしょう。これは、できるだけ早く解決すべき地球規模の問題であり、同時に私たちの生活に直結する身近な問題でもあるのです。

これを解決するためには、新たな社会経済システムを構築する必要がありますが、そのためにも、私たち一人ひとりが果たすべき役割を理解して、具体的な行動を起こさなければなりません。

#### 低炭素社会

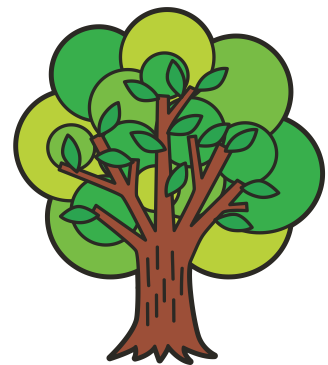
地球の温暖化を防止するためには、温室効果ガスの一つであるCO<sub>2</sub>の排出を抑え、同時に森林によるCO<sub>2</sub>吸収量を増やすことが大切です。CO<sub>2</sub>の排出量が少ない社会を「低炭素社会」と言い、温室効果ガスの排出を自然が吸収できる量以内にとどめる社会を目指すものです。

低炭素社会を実現するためには、次のような対策が必要です。

- ・化石燃料等の燃焼で生じるCO<sub>2</sub>を減らす  
(電力利用の節約、産業活動等にもなう燃料利用の削減、再生可能エネルギーの導入促進)
- ・森林のCO<sub>2</sub>吸収量を増やす(緑化活動・森林保全・森林破壊の防止など)

すでに、太陽光発電・バイオマス燃料の開発・ハイブリッド車(ガソリンと電気利用)や電気自動車の導入・省エネ家電への切替・エコ住宅の普及など、国や企業による低炭素社会実現にむけた取組は、着実に進んでいます。

では、私たちの生活の中で、低炭素社会づくりのためにできることには、どのようなものがあるのでしょうか。電気・燃料の節約としては、自動車をできるだけ使わない・エコドライブの実践、待機電力を減らすためにコンセントプラグを抜く・電化製品のつけっぱなしをなくす・冷暖房温度を調整する、資源節約としては、マイカップ・マイバッグ利用・食べ残しをなくす・節水する、そして、リユース・リサイクル、緑化推進として、植樹活動・地域における草花の植栽など、多くのアイデアがあります。



## 循環型社会

これまでの社会システムは、多くの資源を使って生産し、使用した後は廃棄されるという「使い捨て社会」でした。その大量のごみ処理は、燃やして埋める方法が一般的です。しかし、焼却するためには多くの燃料を必要とし、埋立てを行う最終処分場の処理容量にも限界があります。

そのため、一度使ったものを、材料やエネルギーの“資源”として再利用することで、天然資源やエネルギーの無駄使いをなくし、温室効果ガスの排出量を減らすことが求められています。

今こそ私たちは、社会システムを見直し、天然資源の消費を減らして、再利用・再資源化を推進する必要があります。今後は、できるだけ再生された原料を使い、必要なものだけを購入し、購入した製品を大事に長く使い、使い終わったら、原料や燃料として再利用するという、資源やエネルギーの循環サイクルを作りあげなければなりません。このような社会を「循環型社会」と言い、循環サイクルを効率よく回すことで、天然資源を節約し、環境負荷を低減させることができます。

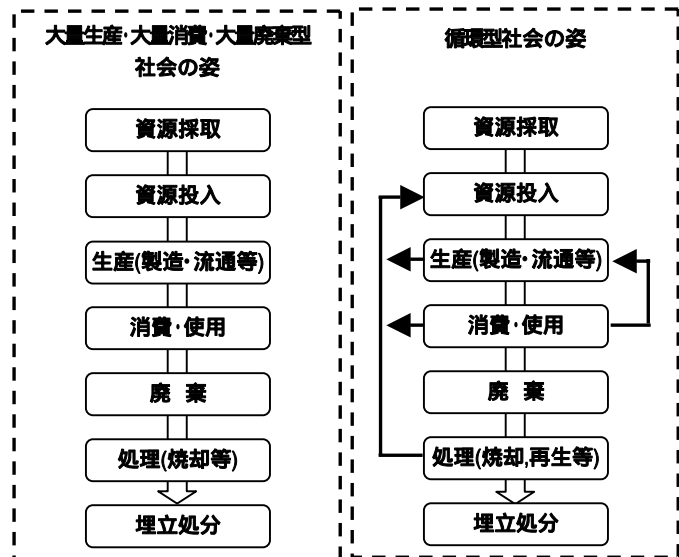


図10 使い捨て社会と循環型社会  
出典:平成14年版 循環型社会白書

## 自然共生社会

私たちが暮らす地球には、非常に多くの生物が存在しています。その全ての生物が共に暮らし、自然の恵みを受け続けることができる社会を「自然共生社会」と言います。また、多くの生物が地球上の様々な環境に適応・進化し、生態系の豊かさやバランスが保たれている状態を「生物多様性」と言い、自然共生社会の基礎となります。

私たち人間は、長い歴史の中で、自然からたくさんの恵みを受けてきました。毎日の食べ物や衣服、住居など、私たちの生活は非常に多くの生物の支えの上に成り立っており、将来にわたって持続可能な社会を実現するためには、自然共生社会を構築する必要があります。

しかしながら、経済の発展やグローバル化が進み、環境への負荷が増大する中で、生物の生息・生育環境の悪化や、それに伴う生物多様性の減少など自然環境にとって深刻な問題が発生してい

ます。また、環境にやさしいとされるバイオ燃料(トモロコシなどから作られるアルコール燃料等)も、増産するために森林をむやみに伐採し耕地を拡大すると、森林の生態系の破壊等を招く恐れがあります。低炭素・循環型社会構築のための取組と自然共生社会構築のための取組のバランスを取ることが求められています。

今後も人間と自然が共生していくためには、私たち一人ひとりが身近な自然環境を大切に、日常の行動や経済活動において常に自然環境との調和を心がけることが重要です。



## 私たちにできること

環境にやさしい持続可能な理想的な社会は、社会制度を整えるだけでは実現しません。

世界中の国の代表が集まって、何度も話し合いを重ねた結果、はっきりしたことは、一人ひとりが、知恵と力を出し合って、自分たちでできる小さな努力を、確実に積み重ねていくことが重要だということです。

また、取組を進めていく上では、取組の結果がどの程度の環境負荷の低減につながったのかを、数値で把握することが重要です。国は、全国のCO<sub>2</sub>排出量を毎年度集計し、環境白書等の報告書の中で、削減目標に対してどのレベルにあるのかを具体的な数値で示しています。このことで、国民は温室効果ガス削減の取組の進捗状況を知ることができ、今後の対策への意欲を喚起されることとなります。

身近な取組についても同様です。取組の効果を数値で「見える化」することによって、私たちの行動を変えるための動機付けになります。

例えば、日常生活の中で消費する電気やガスの使用量を、CO<sub>2</sub>の重さに換算して計算する「環境家計簿」をつけることや、子どもでも楽しんで温暖化対策に取り組むことができる様々な「ゲーム」を活用することなどがあります。

自分自身で、家族で、地域で、職場で、学校や保育施設で、楽しみながら出来ることを続けることが、持続可能な社会の構築につながっていくのです。



## 持続可能な社会を築くために

持続可能な「低炭素社会」・「循環型社会」・「自然共生社会」を実現するための取組について説明してきました。

日々進歩する社会の中、100年以上前に戻ることはできませんが、日本の生活の中には、低炭素・循環型・自然共生社会を実践してきた歴史があります。

江戸期の人々は、製品を修理しながら長く大切に使い、容器は繰り返して使用し、使用後に出了た廃棄物を回収し再び製品として作り直したり、自然に還元する形でエネルギー循環に戻し入れ、新たに作物を育てる工夫を日常的に行って暮らしてきました。それらの取組は、「仕事」として人々の生活を支えており、社会システムとして成り立っていました。その徹底した暮らしぶりは、現代の私たちにとって、見習うべき点が多くあるように思われます。

日々、新しい経済活動を支える技術開発は進んでいますが、それと同時に、過去の見習うべき社会システムを復活させる勇気も、必要ではないでしょうか。持続可能な低炭素・循環型社会を構築するには、現状を正しく認識し、勇気ある選択をし、責任ある行動をとることが大切です。

私たちは、地球に生きる生物の一員として、祖先から引き継いできた地球環境を、何世紀にもわたって継承していかなければなりません。自然との調和のとれた持続可能な社会を築くことは、人類としての責務です。

真に豊かな21世紀に向けて、今、私たちの決意が問われています。

(参考：平成12～22年版 環境白書 他)



# 3 取組・プログラム

## 竹とんぼを作って遊ぼう

### ねらい

- ・身の回りの竹を上手く使って竹とんぼに変身させる。その工夫の仕方と作り方を知る。
- ・竹とんぼを作って楽しく遊ぶ。

### 対象（参加者）

幼稚園・保育所の園児及び保護者

### 対象人員

10人～40人

### 所要時間

60分

### 場所

広い部屋、広場

### 準備するもの

- ・材料：厚みのある平べったい竹  
(モウソウチク、マダケなど大きい竹)、竹ぐしなど
- ・用具：竹伐りのこ、なた、定規、ナイフ、きり

### 実施手順

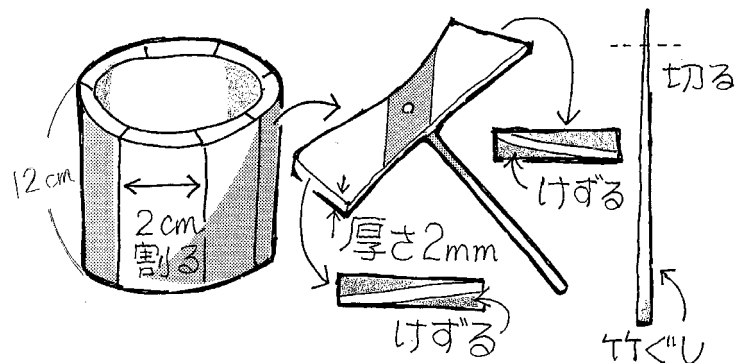
- (1) 園児と保護者が一緒に座る。少し間隔をとって作業する。
- (2) 竹筒を12センチの長さに切り、幅2センチ位になるように筒を割る。(羽の部分)
- (3) (2) で作った羽に長さ・幅の中心にきりで心棒を差し込む穴を開ける。
- (4) 羽は裏表とも右半分を手前に深く削る。厚さは2ミリ位にする。(竹が厚い時は削る部分にのこを入れてある程度掻きとっておくとよい。)
- (5) 心棒は竹を16～17センチの長さに切り、厚さと同じ位の幅に割り、丸く削る。
- (6) 心棒を羽に対してどこから見ても垂直になるようにしっかり差し込み、完成。
- (7) 飛ばし方は心棒を右手のひらで前にすりながら斜め上に押し出す。

### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・のこやナイフなどの扱いには、十分に注意する。
- ・広い場所で飛ばす。
- ・人の眼前で飛ばさない。(危険防止)
- ・色を塗ったり、飛ばし方を工夫して楽しく飛ばす。

### 参考図書等

- ・制作あそび百科 竹井 史(著)  
(ひかりのくに株)



(心棒に代用できる)

## ウグイス笛を作って遊ぼう

### ねらい

- ・身近にあるさまざまな大きさの竹筒でウグイス笛ができることを知る。
- ・ウグイス笛を作って楽しく遊ぶ。

### 対象(参加者)

幼稚園・保育所の園児及び保護者

### 対象人員

10人～40人

### 所要時間

50分

### 場所

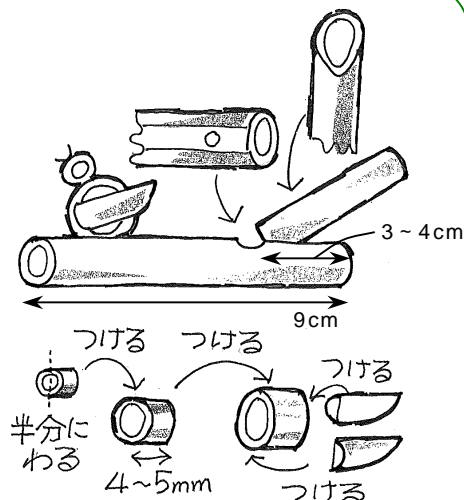
広い部屋、広場

### 準備するもの

- ・材料：竹は廃物利用でよいが、ないときはメダケ、ドヨウダケなどがよい。
- ・用具：竹きりのこ、定規、小さめのなた、ナイフ、瞬間接着剤、きり

### 実施手順

- (1) 笛の本体用と吹き口用の竹筒を準備する。
- (2) 園児と保護者が一緒に座る。  
少し間隔をとって作業する。
- (3) 9cmの竹筒の上下を少し平らに削り、  
端から3～4センチの所にきりで穴をあける。
- (4) (3) で作った穴の手前に斜めに切った  
吹き口を良く鳴るところで接着する。
- (5) 穴の前方には図のようなウグイスの飾りを付ける。  
ウグイスは大・中・小の竹の輪を利用し、羽には本体の上下を削ったものを使い、  
瞬間接着剤でつける。接着面は少し平らにする。
- (6) 色を塗ったり、吹きかたの練習をする。(ホーホケキョと両端の穴を開いて閉める。)



### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・のこやナイフなどの扱いには、十分に注意する。
- ・瞬間接着剤でもよくつくまではそとして待つ。(1分以上)
- ・瞬間接着剤の取り扱いに気を付ける。(危険防止)
- ・本体の長さや穴の数を増やして吹いてみる。

### 参考図書等

- ・宮崎県環境学習プログラム「竹の笛作り」  
<http://eco.pref.miyazaki.lg.jp/gakusyuu/gakupro/index.html>

## 正月のしめ縄を作って飾ろう

### ねらい

- ・ 稲わらを使って正月のしめ縄を作る。
- ・ 作ったしめ縄を飾りお正月を楽しむ。
- ・ 伝統文化を体験し、承継する心を育む。

### 対象（参加者）

幼稚園・保育所の園児及び保護者

### 対象人員

10人～40人

### 所要時間

60分

### 場所

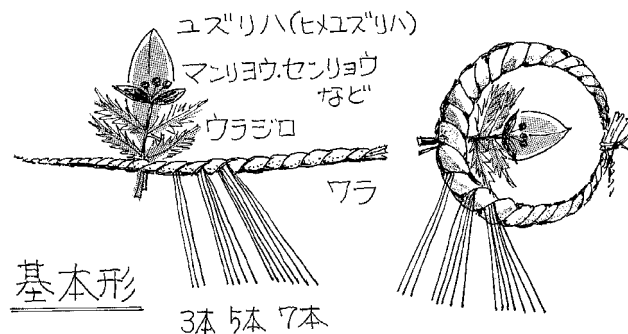
広い部屋、又は屋外

### 準備するもの

- ・ 材料：稲わら（餅わらがよい）  
ユズリハ（ヒメユズリハ）、ウラジロ、  
センリョウ、ひも（タコ糸、ビニールひもなど）
- ・ 用具：はさみ、剪定ばさみ

### 実施手順

- (1) わらの袴をとり、水分を含ませて、全体を打ち全体をやわらかくする。
- (2) (1)とは別に、わらの袴をとり、上半分に水分を含ませ、上半分を打ちやわらかくする。
- (3) (1)のわらを3本ずつ取って、半分ほどなう。
- (4) (3)のなわに(2)のわらを7本中央をそろえて1回なう、同じように5本、3本とそろえてなう。あとは先端までなう。
- (5) 全体の長さの中央あたりに図のようにユズリハ、センリョウ、ウラジロを挟む。
- (6) 一応出来上がりであるが、毛ばだっているところなどを鋏できれいに切って仕上げる。  
このまま使用してもよいが、  
両端をむすんで輪にして飾り  
付けをしてもよい。



### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・ はさみや剪定ばさみを常に危なくない所に置くこと。（危険防止）
- ・ 飾りつけなど工夫してもよい。（例：園庭にある植物を飾りつけに使用する・実のなる植物をそれぞれ持ち寄り、オリジナルしめ縄を作るなど）
- ・ 基本形は江戸時代から地域に伝わっているものである。

### 参考図書等

- ・ 宮崎県環境学習プログラム 低学年「縄作り・ひも作り」(ハウツー編)  
<http://eco.pref.miyazaki.lg.jp/gakusyuu/gakupro/index.html>

## ペットボトルのキャップで楽器を作ろう

### ねらい

- ・環境について考え、物の大切さを知る。
- ・楽器作りを楽しむ。
- ・工夫することで、身近なものから楽器が作れることを学ぶ。

### 対象（参加者）

幼稚園・保育所の園児及び保護者

### 対象人員

25人

### 所要時間

60分

### 場所

教室

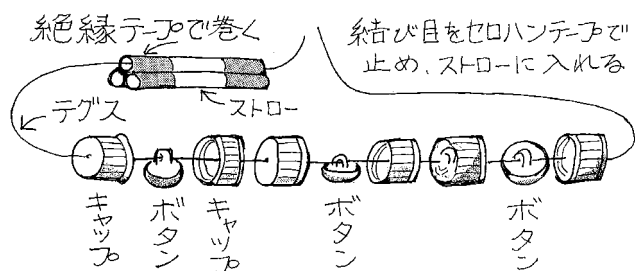
### 準備するもの

ペットボトルのキャップ：一人当たり6個（キャップの真ん中に穴をあけておく）、ボタン3個、ストロー（7cm×3）、テグス（又は針と糸）一人30cmくらい、絶縁テープ（模様付け用グループごと2～3色位）

### 実施手順

(1) 5人くらいのグループに分ける。

みんなで環境について考え、物の大切さについて話し合い、廃品など身近なものを使った楽器づくりについて説明する。



(2) テグスをキャップ、ボタン、キャップの順に3回通し、最後にストローを通し、テグスの端をまむすびにし、ほどけないようにセロハンテープでとめる。

(3) ストロー部分に残り2本をいっしょに束ねてテープを張り模様にする。

(4) ストロー部分を持ち手にして音を出してみる。

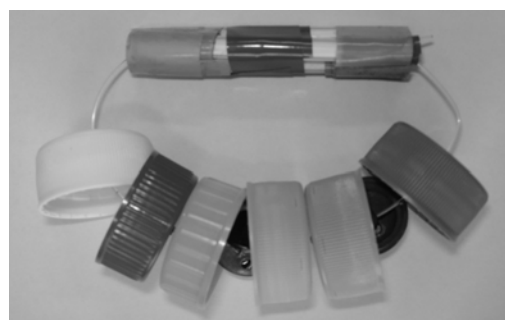
(5) おもちゃのチャチャチャなどの曲に合わせてお友達と合奏をする。

### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・ボタンを口に入れないように十分注意する。
- ・キャップに穴をあけるときは千枚通しなどをガスやろうそくの炎などで熱くして通すとよい。

### 参考図書等

- ・いっしょにつくろう！エコこうさくえほん  
石倉 ヒロユキ（作・絵） 「びん・かん・プラスチック」（岩崎書店）



## ごみを分別してみよう

### ねらい

- ・ごみの分別の大切さを学ぶ。
- ・ごみは、ごみ箱がない時は持ち帰る事を学ぶ。
- ・ごみのポイ捨ては、しない、してはいけないことを学ぶ。
- ・ごみのない清潔な環境の大切さを学ぶ。

### 対象(参加者)

幼稚園・保育所の園児及び保護者

### 対象人員

15人～20人

### 所要時間

90分

### 場所

幼稚園・保育所の園内、  
近くの公園

### 準備するもの

袋、市町村指定の分別袋、軍手、火ばさみ

### 実施手順

- (1) 参加者を集合させ、2列に並び目的地まで移動する。
- (2) 移動途中、ごみがあれば拾う。
- (3) 目的地で4人1組に班分けする。
- (4) 班毎にリーダーを決め、班毎にごみを拾う。
- (5) ごみ拾いの途中に、次のようなことを話す。

なぜ沢山のごみが落ちているのか(ごみを捨ててはいけないこと)、また、どのような種類のごみがあるのか。

プラスチックなどは土に戻らないこと、また動物が食べて死んでしまうことなど。

- (6) ごみを拾い終わったら、集合させる。
- (7) 市町村指定のごみ袋に分別する。
- (8) 終了後、2列に並び、園に戻る。

### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・移動時、交通事故に気を付ける。
- ・ガラス等の破片でケガのないように、あらかじめ注意する。
- ・火ばさみの扱い。(おもちゃ化しないよう注意する。)
- ・犬・ねこなどのふんの扱い。

### 参考図書等

- ・ゴミが地球を埋めつくす 藤田千枝(著)(ポプラ社)
- ・宮崎県環境学習プログラム 「ごみの種類を調べよう」  
<http://eco.pref.miyazaki.lg.jp/gakusyu/gakupro/index.html>



## うまく分けられるかな？

### ねらい

- ・リサイクルするためには、まずきちんと分別することが大切であることを知る。
- ・ごみ収集の約束ごとが幼児期からできるようにする。
- ・リサイクルできる資源物は再利用できることを知る。(資源物から再生された製品を見せる等)(例) ペットボトル フラワーポット、卵のパック、作業服 等々

### 対象(参加者)

幼稚園・保育所の園児及び保護者

### 対象人員

5人～30人

### 所要時間

60分

### 場所

幼稚園・保育所の教室

### 準備するもの

「うまく分けられるかな？」の表

プラスチック類、金属類、空き缶、空きびん、古紙、古布など家庭から持ち寄ったごみも準備し、分別してみよう。

### 実施手順

市町村のルールに従うこと

- (1) もやせるごみ・もやせないごみの収集日を知る。
- (2) もやせるごみを収集する時に気をつけなければならないことを先生から聞く。
  - ・特に生ごみは、水はよく切ってから出す。
  - ・カラスやねこがつかないようにしっかり包んで出す。
- (3) 資源物には、どんなものがあるか発表する。
  - ・プラスチックには、プラのマークがついている。
  - ・資源物の例としては、新聞紙、雑誌、本、ペットボトル、牛乳パック、古布などがある。
- (4) 資源物は、再利用して使用するのでもえるごみに入れないことや、再利用した商品は、どのようなものがあるか学ぶ。
- (5) 再利用するだけでなく、ごみそのものを出さない工夫を考える。  
(例) マイバッグ、マイはし、水筒等



### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・「うまく分けられるかな？」の表を先生と一緒に実施する。

《問題の解答》

エ                      イ                      ア                      ア                      オ  
ウ                      ウ                      オ                      オ                      ウ

各市町村によって違う場合がありますので、各市町村のルールに従ってください。

- ・園のごみ箱を分別できるよう分かりやすく設置する。(「分別ごみ箱作り」参照)

### 参考図書等

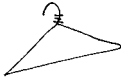
- ・うまく分けられるかな？ 宮崎市環境業務課
- ・宮崎県環境学習プログラム 「ごみの種類を調べよう」  
<http://eco.pref.miyazaki.lg.jp/gakusyuu/gakupro/index.html>


# うまくわけられるかな？

1. 次の ~ は、ア~オのどれに分別されるか線<sup>ぶんべつ</sup>でむすんでみよう。

あ  
空きかん 


ア. もやせるごみ

はりかね  
針金ハンガー 

かみ  
紙くず 

イ. もやせないごみ


CD・DVD 

ペットボトル 


ウ. プラごみ


ペットボトルのふた 

プラスチック製容器包装類


かし ぶくろ  
お菓子の袋  
(プラマークありのもの) 

エ. びん・かん

ほん しんぶんし  
本・新聞紙 

ぎゅうにゅう  
牛乳パック 

オ. しげんごみ

ぶくろ  
レジ袋  
(プラマークありのもの) 

ウやエもしげんごみに含まれますが、ここでは区分して考えます。

2. 次のリサイクルマークを確認してみよう。

<p>エコマーク </p>	<p>リサイクルプラスチックマーク </p> <p>PET</p>	<p>再生紙使用マーク </p> <p>古紙パルプ配合率100%再生紙を使用</p>
<p>グリーンマーク </p> <p>グリーンマーク</p>	<p>プラマーク </p>	<p>紙製容器包装識別マーク </p>



## 分別ごみ箱作り

### ねらい

- ・ごみ箱作りを通して、ごみの分別について楽しく学ぶ。

#### 対象(参加者)

幼稚園・保育所の園児

#### 対象人員

25人

#### 所要時間

60分

#### 場所

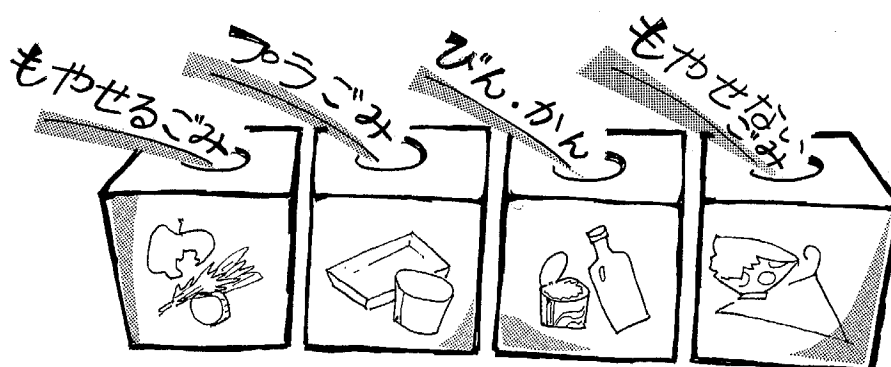
教室

#### 準備するもの

ごみ箱に適当な段ボール箱(4個)、ラベル、画用紙、クレヨン、ハサミ、のり

### 実施手順

- (1) ごみの分別について話し合う。
- (2) もやせるごみ、プラごみ、びん・缶、もやせないごみのラベルを箱に貼る。
- (3) 教室や家を出るごみについて、いろいろなごみの絵を描き、切り取る。
- (4) 自分の書いた絵が何のごみになるかを発表し、箱に貼る。
- (5) みんなでできあがった箱を鑑賞し、さらにごみ分別への理解を深める。



### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・箱は包装紙などで下張をした方がきれいに仕上がる。
- ・みんなで製作したごみ箱を毎日使うことで、ごみの分別の習慣化につながるように指導を心掛ける。

### 参考図書等

- ・宮崎市版 家庭ごみの正しい出し方
- ・宮崎県環境学習プログラム 「教室で自分専用のごみ箱をもってみよう」  
<http://eco.pref.miyazaki.lg.jp/gakusyuu/gakupro/index.html>

## サツマイモを育てよう

### ねらい

- ・サツマイモの栽培方法を覚え、収穫の喜びを知る。
- ・栽培を通して、自然の恵みに感謝し、食べ物を大切にする心を育む。

### 対象（参加者）

幼稚園・保育所の園児及び保護者

### 対象人員

16人～40人

### 栽培時期

5月～10月

### 場所

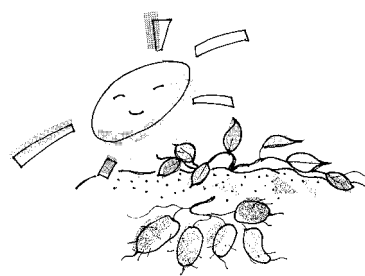
幼稚園・保育所内の畑、  
近隣の畑を借用

### 準備するもの

- ・材料：苗（高系14号、紅赤、農林1号、紅農林、節数が7～8節、長さ25～30cmくらいで太いもの）
- ・機材：農作業用機材（クワ、スコップ）
- ・肥料：堆肥、草木灰、米糠、化成肥料

### 実施手順

- (1) 苗を植える1～2週間前にあらかじめ、うね(うね幅40cm、間隔70cm、溝巾70cm)をつくっておく。  
うねの中心に堆肥、草木灰、米糠を置き、土を盛り上げる。  
うねは高め(30～40cm)に作って通気をよくする。(5月)
- (2) 参加者を一箇所に集合させ、4人1組に班分けする。
- (3) うねの中央部に苗(25～30cm)を斜めにさす。
- (4) 茎の葉色が淡いようなら少量の化成肥料を溝に追肥する。化成肥料(チッソ成分)の効きすぎは禁物。
- (5) 収穫までに2、3回肥料を追肥し、除草を兼ねて、軽く根元に土寄せする。(土中の空気の通りが良くなり、イモの肥大効果がある。)
- (6) 植えつけから4ヶ月以上経ってから、晴天を選んで収穫する。
- (7) 茎は刈り取って、畑の外に持ち出し、堆肥にする。
- (8) 貯蔵は湿気の少ないところを選び、傷のついていないイモを選んで茎をつけたまま貯蔵する。



### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・早いうちに畑を耕して風雨にさらしておく。
- ・うねを高くして、チッソ質肥料をあまり効かせない。
- ・つるの途中から出た根を切るとイモが太りやすくなる。
- ・畑に埋めて貯蔵する場合、初めのうち10～14日くらい、竹筒などで空気抜きを設ける。

### 参考図書等

- ・やさしい家庭菜園 加藤 義松(監修)・藤田 智(家の光協会)
- ・そだててあそぼう3 サツマイモの絵本 たけだ ひでゆき(編集)(農文教)
- ・野菜50育て方のコツ 主婦の友社(編集)
- ・ひむか里山の森利用計画書(NPO法人ひむか里山自然塾)
- ・宮崎県環境学習プログラム 「サツマイモの栽培」(ハウツー編)  
<http://eco.pref.miyazaki.lg.jp/gakusyuu/gakupro/index.html>

## バレイショを育てよう

### ねらい

- ・バレイショの栽培方法を覚え、収穫の喜びを知る。
- ・栽培を通して、自然の恵みに感謝し、食べ物を大切にする心を育む。

### 対象(参加者)

幼稚園・保育所の園児及び保護者

### 対象人員

16人～40人

### 栽培時期

2月～4月

### 場所

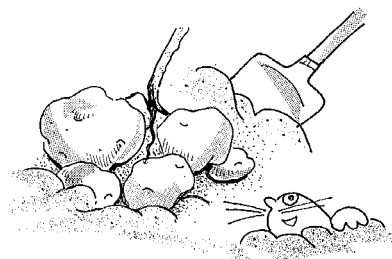
幼稚園・保育所内の畑、  
近隣の畑を借用

### 準備するもの

- ・材 料：種イモ（あらかじめ各片に同じくらい芽がつくように切る。）
- ・機 材：石灰、敷きわら、農作業用機材（クワ）
- ・肥 料：元肥（堆肥、化成肥料など）

### 実施手順

- (1) 参加者を一箇所に集合させ、4人1組に班分けする。
- (2) クワ巾の溝を掘り、両側に土を上げる。溝と溝の間隔は60～70cm、深さ15cm。
- (3) 溝に元肥を入れ、7～8cm土をもどす。(2～3月)
- (4) 種イモを20～25cm間隔に配置する。
- (5) 種イモの上に7～8cm覆土し、軽くクワで押さえる。
- (6) 芽がたくさん伸びてくるので、  
勢いのよいもの2本を残して他は取り除く。
- (7) 芽が15～20cmに伸びたとき、株元に  
4～5cm程土を寄せる。(日光が当たったイモは緑色に変色し、苦味が出るため。)
- (8) 約2週間後に2回目の土寄せ(4～5cm)を行う。
- (9) 種イモの上に伸びた茎が太ったものをクワで掘り起こし収穫する。



### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・堆肥は種イモに触れないように施す。
- ・実施手順(8)では、小芋の芽が伸びたら、倒して土で埋める。(第2回の土寄せ)
- ・貯蔵は、親株につけたまま下向きにして溝穴に貯蔵する。
- ・バレイショは上へ向かって生成する性質があるため、こまめに土寄せを行う。
- ・土寄せの際、葉を埋めないように注意する。

### 参考図書等

- ・やさしい家庭菜園 加藤 義松(監修)・藤田 智(家の光協会)
- ・そだててあそぼう4 ジャガイモの絵本 よしだ みのる(編集)(農文教)
- ・ひむか里山の森利用計画書(NPO法人ひむか里山自然塾)
- ・宮崎県環境学習プログラム 「ジャガイモの栽培」(ハウツー編)  
<http://eco.pref.miyazaki.lg.jp/gakusyuu/gakupro/index.html>

## サトイモを育てよう

### ねらい

- ・サトイモの栽培方法を覚え、収穫の喜びを知る。
- ・栽培を通して、自然の恵みに感謝し、食べ物を大切にする心を育む。

### 対象(参加者)

幼稚園・保育所の園児及び保護者

### 対象人員

16人～40人

### 栽培時期

4月～10月

### 場所

幼稚園・保育所内の畑、  
近隣の畑を借用

### 準備するもの

- ・材 料：種イモ(ふっくらとして芽がいたんでいないもの、大きさ40～60gくらい)
- ・機 材：ビニールフィルム、黒色ポリフィルム、農作業用機材(クワ、スコップ)
- ・肥 料：堆肥、化成肥料

### 実施手順

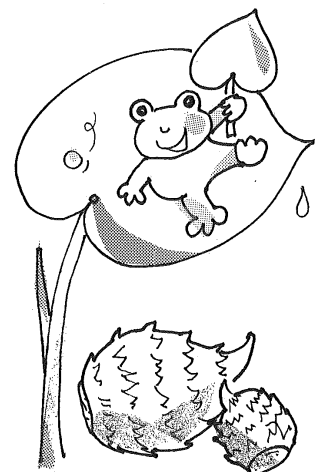
- (1) 参加者を一箇所に集合させ、4人1組に班分けする。
- (2) 班ごとに植付け用の溝(巾15cm、深さ5～6cm)を作る。
- (3) その溝に種イモと堆肥・化成肥料を交互に置いて行く。
- (4) 種イモと堆肥・化成肥料を置いた溝に土をかぶせうねを作る。(4月)
- (5) うねの全面に黒色ポリフィルムを敷く。
- (6) 5月下旬から梅雨明けにかけて、2～3回、株の周りに化成肥料をまき、通路の土を株元に寄せる。
- (7) 8月ごろ食べられる程度に生育したサトイモを収穫する。
- (8) 11月ごろに全て掘り取る。

### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・堆肥は種イモに触れないように施す。
- ・小芋の芽が伸びたら、倒して土で埋める。(第2回の土寄せ)
- ・貯蔵は、親株につけたまま下向きにして溝穴に貯蔵する。

### 参考図書等

- ・やさしい家庭菜園 加藤 義松(監修)・藤田 智(家の光協会)
- ・そだててあそぼう 72 サトイモの絵本  
よしの ひろみち(編集)(農文教)
- ・ひむか里山の森利用計画書(NPO法人ひむか里山自然塾)
- ・宮崎県環境学習プログラム 「サトイモの栽培」  
<http://eco.pref.miyazaki.lg.jp/gakusyuu/gakupro/index.html>



## ナガイモを育てよう

### ねらい

- ・ナガイモの栽培方法を覚え、収穫の喜びを知る。
- ・栽培を通して、自然の恵みに感謝し、食べ物を大切にする心を育む。

### 対象(参加者)

幼稚園・保育所の園児及び保護者

### 対象人員

16人～40人

### 栽培時期

4月～2月

### 場所

幼稚園・保育所内の畑、  
近隣の畑を借用

### 準備するもの

- ・材 料：種イモ(10cm間隔に竹へらで切り目を入れ、手で折る。60～80g)
- ・機 材：石灰、敷きわら、支柱(1～1.5m)、農作業用機材(クワ、深堀スコップ)
- ・肥 料：油粕、追肥(化成肥料)

### 実施手順

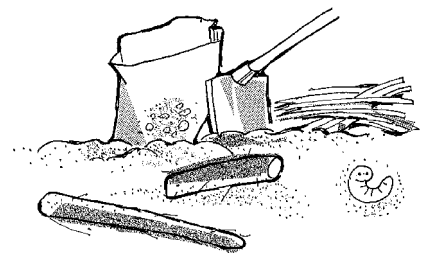
- (1) 参加者(園児及び保護者)を一箇所に集合させ、4人1組に班分けする。
- (2) 班ごとに植付け用の溝(巾10～15cm、深さ5～6cm)を作る。溝と溝の間隔は60cm。
- (3) その溝に切断した種イモを、20～25cm間隔に置く。(4月)
- (4) 元肥として、種イモと種イモの間に油粕を少量与える。
- (5) 溝に土をかぶせ覆土する。覆土はあまり高くしない。水はけの悪い畑は畝を高くする。
- (6) 支柱3～4本を立て、これを合わせて上でむすぶ。
- (7) 敷きわらを敷き、除草した草も株元に置く。
- (8) 追肥は化成肥料を株の間にばらまく。
- (9) ナガイモの茎葉が黄変してから2月ごろまでに掘る。

### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・堆肥は種イモに触れないように施す。
- ・貯蔵は、親株につけたまま下向きにして溝穴に貯蔵する。

### 参考図書等

- ・やさしい家庭菜園 加藤 義松(監修)・藤田 智(家の光協会)
- ・ひむか里山の森利用計画書(NPO法人ひむか里山自然塾)



## ミニトマトを育てよう

### ねらい

- ・ 生長過程の観察を行うとともに、収穫の喜び・楽しみを味わう。
- ・ 栽培を通して、自然の恵みに感謝し、食べ物を大切にする心を育む。

### 対象(参加者)

幼稚園・保育所の園児及び保護者

### 対象人員

16人～30人

### 栽培時期

4月～5月  
(60日～90日)

### 場所

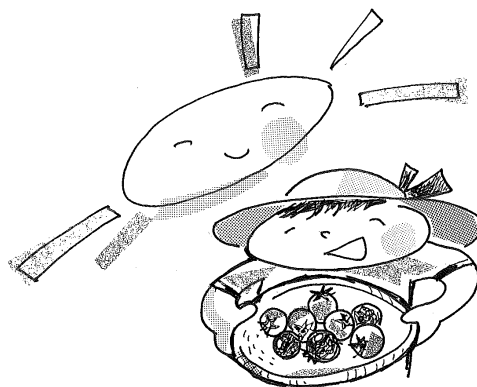
園内の畑又は園庭  
(鉢を使用する場合)

### 準備するもの

ミニトマトのポット苗、大きめの鉢、肥料の入った培養土、支柱(2mくらい)、スコップ、ひも、ゴロ土、ジョウロ

### 実施手順

- (1) 参加者4人1組に班分けする。
- (2) 鉢にゴロ土(水はけを良くするために鉢の底に敷く小石粒や大粒の土のこと)を入れ、培養土を鉢の7分目位まで入れる。
- (3) ポットから苗を抜き、鉢に苗を入れ、苗の周りに土をかける。
- (4) 株元が少し盛り上がる程度に土を盛り、植えたら株元を手で押え土を落ちつかせる。
- (5) 支柱を3本立て、葉が伸びた時、倒れないように支柱に誘導する。
- (6) ジョウロでたっぷり水を掛ける。
- (7) 絵を描くなどして、定期的に観察をする。
- (8) 種蒔きからおよそ60～90日後から随時、実が赤くなったら収穫する。



### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・ 水はけをよくするため、苗に土の掛けすぎや深植えはしない。
- ・ 植えたあとで畑を踏み固めないように、支柱を先に立てておく。
- ・ 生長しすぎると実への栄養が足りなくなって実が大きくなならないので、収穫目標の最上段の花房の花が咲いたら、その上から葉2枚を残して摘心する。
- ・ 芽かき(不必要な芽を取り除くこと)は手でかき取る。(主枝と側枝の間から出ている芽)

### 参考図書等

- ・ はじめての家庭菜園 青木 宏史(監修)・尾崎 ゆみ(著)(ナツメ社)
- ・ 春から夏のプランター菜園(フローランテ宮崎)
- ・ トマトのひみつ 山口 進(著)(福音館書店)
- ・ そだててあそぼう 87 ミニトマトの絵本 菅原 眞治(編集)(農文教)
- ・ 宮崎県環境学習プログラム 「ミニトマトの栽培」

<http://eco.pref.miyazaki.lg.jp/gakusyu/gakupro/index.html>

## ニチニチソウを育てよう

### ねらい

- ・花を咲かせる楽しみを学習する。
- ・同じ種類の花でも、いろいろな色がある事を知る。
- ・植物が花を咲かせるまでの過程を観察することで、身近な自然に関心を持つ。

#### 対象（参加者）

幼稚園・保育所の園児

#### 対象人員

15人～30人

#### 栽培時期

4月～6月

#### 場所

園内及び近所の畑又は  
園庭（プランターを使用する場合）

#### 準備するもの

ポット苗（3種類）、プランター、移植ゴテ、  
肥料を含んでいる培養土、ゴロ土、ジョウロ

### 実施手順

- （1）プランターにゴロ土（水はけを良くするために鉢の底に敷く小石粒や大粒の土のこと）をいれ、培養土をプランターの6分目位まで入れる。
- （2）色を考えて、ポット苗の配置を考える。
- （3）配置が決まったら、ポットから苗を出し植え、土を盛り均一にする。
- （4）最後にジョウロでプランターから水が出るまでたっぷり掛ける。
- （5）定期的に観察を行うことにより、植物が生長する過程を観察する。

開花時期：6月～10月



### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・十分に日光に当て、表面が乾いたら水やりをする。（乾燥に非常に強く、じめじめした環境を嫌うため。）
- ・水を与えすぎると、根ぐされを起こすことがあるので、注意すること。
- ・花ガラは細まめに取る。

### 参考図書等

- ・A - Z園芸植物百科事典 横井 政人(監、訳) (誠文堂新光社)
- ・別冊NHK趣味の園芸 タネまきから楽しい一年草・二年草

## ハツカダイコンを育てよう

### ねらい

- ・ハツカダイコンの栽培方法を覚え、収穫の喜びを知る。
- ・栽培を通して、自然の恵みに感謝し、食べ物を大切にすることを育む。

### 対象(参加者)

幼稚園・保育所の園児

### 対象人員

25人

### 栽培日数

20日～30日

### 場所

園庭

### 準備するもの

ハツカダイコンの種、プランター、培養土、ジョウロ

### 実施手順

- (1) 絵本などでハツカダイコンについて触れ、興味を持たせる。
- (2) プランターにゴロ土を入れ、その上に野菜用の培養土を入れる。
- (3) それぞれのてのひらにハツカダイコンの種を配り、2列位筋をひいて、種を利き手の親指と人差し指でそっと蒔くように指導する。
- (4) 土をふるいで2ミリくらいかぶせ、ジョウロでやさしく水をかける。
- (5) 定期的に水やりをし、20～30日ほどで収穫する。  
(定期的に観察を行い、絵を描かせる。)



### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・発芽してきたら、込み合うところは間引きをする。
- ・観察の絵を变化に応じて描くとよい。  
(発芽の時、本葉が出た時、その後は週1回位、そして収穫の日など)
- ・収穫できたら洗ってそのままかじって味わったり、切ってマヨネーズであえて食べる。

### 参考図書等

- ・絵本「ごちそう ラディッシュ(はつかだいこん) - はたけのおおむしとこどもたち - 」  
大場 牧夫(著)(福音館書店)



## 節電・節水で地球温暖化防止

### ねらい

- ・節電、節水を自覚する。
- ・自然や資源を大切にすることを養う。

#### 対象(参加者)

幼稚園・保育所の園児

#### 対象人員

30人～40人

#### 所要時間

30分

#### 場所

広い教室

#### 準備するもの

あらかじめパネルを作っておく  
節電、節水、ごみの減量(イラスト添付)など

### 実施手順

- (1) 教室に集合させ、パネルを黒板に貼る。
  - ・電気をこまめに消しましょう！
  - ・水を大切に使いましょう！
  - ・雨水で水やりをしましょう！
  - ・食べ物は残さず食べよう！ など
- (2) 節電・節水及び地球温暖化防止につながる活動について、園児と一緒に考える。

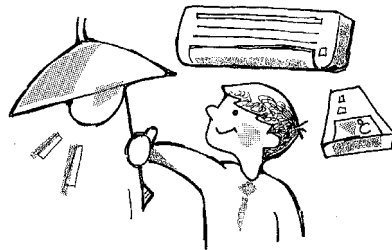
### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・園児が飽きないように、パネルシアターやエコ紙芝居などを導入に用いる。
- ・使用したパネルは教室等に貼る。(園児が自分で気づいて実践できるようにする。)

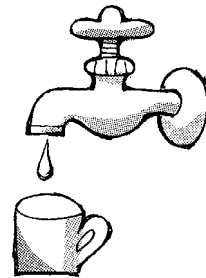
### 参考図書等

- ・宮崎市環境学習指導者養成講座テキスト

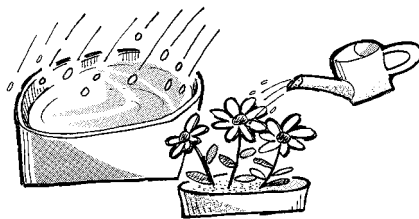
電気をこまめに消しましょう！



水を大切に使いましょう！



雨水で水やりをしましょう！



食べ物は残さず食べよう！



## わたしたちでできる地球温暖化対策

### ねらい

- ・家庭で使う電気、ガス、水道の効率的な使い方ができる。
- ・CO<sub>2</sub>排出量を減らす方法を家族で話し合う。

#### 対象(参加者)

幼稚園・保育所の園児及び保護者

#### 対象人員

6人～30人

#### 所要時間

60分

#### 場所

幼稚園・保育所の教室

#### 準備するもの

チャレンジ25キャンペーン(環境省)  
実行表:チャレンジ25キャンペーンの表を参考に作成する。

### 実施手順

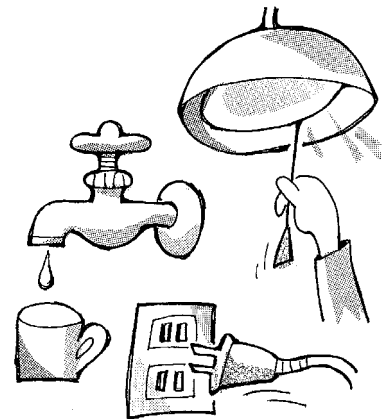
- (1) 家庭で実施している節約の方法を話し合う。
  - ・お父さんは自転車で通勤をしている。
  - ・電気はこまめに消すようにしている。
  - ・テレビ番組を選び、1日1時間テレビ利用を減らす。
  - ・冷房の温度を28度以下に下げない。暖房の温度を20度以上に上げない。
- (2) グループに分ける。(1グループ6名 保護者は2名以上いるとよい)
- (3) グループ毎に、自分たちでできる節約の方法を発表する。
- (4) 電気製品の使い方、ガスの使い方、水の使い方及び買い物で節約できることをまとめる。
- (5) 幼稚園や保育所及び家庭で節約できることを発表する。
  - ・水を出しっぱなしにしない。
  - ・休み時間は必ず電気を消す。
- (6) 実行表をつくり、10日間・xをつけさせる。

### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・10日間実施した実行表をもとに、感想を話し合う。
- ・電気やガス、水道の効率的な使用を習慣づけ、10日間の実施の後も継続的に取組を行う。

### 参考図書等

- ・環境省ホームページ「チャレンジ25キャンペーン」
- ・宮崎県環境学習プログラム  
「学校版エコアクションプランをつくらう」(ハウツー編)  
<http://eco.pref.miyazaki.lg.jp/gakusyuu/gakupro/index.html>



# チャレンジ25キャンペーン

(温室効果ガス排出量を2020年までに1990年比で25%削減しよう)

1	夏は冷房の温度を28に、冬は暖房の温度を20に設定しよう	
2	出かける際はバスや電車、自転車など環境に優しい交通機関を利用しよう	
3	環境家計簿、リアルタイムにCO <sub>2</sub> 排出量を見せる省エネナビなどを使って、CO <sub>2</sub> 排出量の見える化をしよう	
4	エコドライブ(ふんわりアクセル、アイドリングストップ)を実践しよう	
5	エコクッキング(食材を全部使い切る、中火を上手に使う)を実践しよう	
6	照明やOA機器等のスイッチオフを心がけよう	
7	蛇口をこまめに閉めるなど、節水を心がけよう	
8	シャワーを使う時間を短くしよう	
9	マイバッグ、マイボトルを持ち歩こう	
10	古い冷蔵庫を省エネタイプに買い替えよう	
11	古いエアコンを省エネタイプに買い替えよう	
12	古いテレビを省エネテレビに買い替えよう	
13	家庭用燃料電池や高効率の給湯器(CO <sub>2</sub> 冷媒ヒートポンプ型等)を導入しよう	
14	白熱電球を電球型蛍光灯やLED照明へ買い替えよう	
15	ハイブリッド自動車や電気自動車に買い替えよう	
16	太陽光発電を新しく設置しよう	
17	太陽熱温水器を新しく設置しよう	
18	最新の省エネ基準を満たす断熱材やエコガラスを取り入れよう。	
16	太陽光発電を新しく設置しよう(再掲)	
19	ソージェネレーション設備などの最新技術を取り入れよう	
20	カーボン・オフセット商品や木材利用製品を選択しよう	
21	カーボン・フットプリントやフード・マイレージの小さい食品を選択しよう	
22	地産地消の商品を選択しよう	
23	カーシェアリングやレンタサイクルを積極的に利用しよう	
24	パーク&ライドで公共交通機関を利用しよう	
25	地域の環境イベントに積極的に参加しよう	
		資料：環境省ホームページより作成

1世帯で1年間で千kg以上CO<sub>2</sub>を削減

1世帯で1年間で百~千kg以上CO<sub>2</sub>を削減

1世帯で1年間で数十kg程度CO<sub>2</sub>を削減又は効果が一定でないもの

## 園庭とその周辺で楽しく遊ぼう

### ねらい

- ・身近な自然を五感で体験させ、その感動をみんなで分かち合う。
- ・園庭やその周辺の自然(土、水、草、木、虫、野鳥、季節、気温・風・雲など気象現象)を五感で感じる。

### 対象(参加者)

幼稚園・保育所の幼児

### 対象人員

10人~25人

### 所要時間

80分

### 場所

園内外の裸地・草原・樹木のある場所  
田畑や小川がある道沿い

### 準備するもの

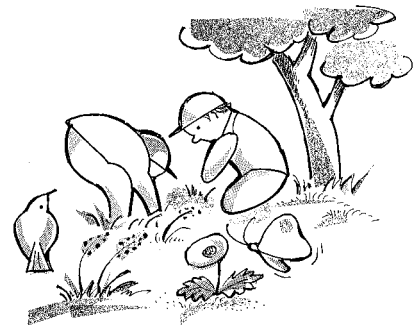
服装は自由に遊べる服装

### 実施手順

- (1) 5人くらいのグループに分けて行動させ、保育者は適宜全体を集めて分かち合いをする。
- (2) 園庭のいろいろなひなたとひかげの場所に幼児を裸足で立たせ、その感触を味わう。  
また、適当な場所で横や仰向けに寝かせ、空の様子・風あたり・暖かさの違いなどを五感で感じ取らせる。
- (3) 樹木があるところでは、
  - ・木陰と周りのひなたの違いを明るさ・暖かさ・下草の生え方などに注目させる。
  - ・樹下の落ち葉を拾って匂い・手触り・形を観察し、見せ合う。
  - ・落ち葉が積もっているときは上と下の落葉の違いを見つけ、その中の虫探しをする。
  - ・木を見せ、種類によって大きさ、樹皮、枝葉の付き方、形に違いがあることを触ったり、手振り身振りで感じとらせる。
- (4) 園外周辺の散歩に出かける。ここでは道路沿い、田畑の周り、小川沿いと変化に富んだ自然があり、(3)の内容を参考にしながらも、特に野草とそこに住んでいる虫たちに注目させる。また、野草の中には山菜や薬草もあることも教える。

### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・実施する前にコースを選定して下見と危険個所のチェックをしておく。
- ・同じコースを季節毎に実施して、違いを体感する。
- ・草木の名前を教えるのは必要最低限度にとどめ、子どもたちの五感から湧き出ることばや表情に共感し褒めてあげる。  
また、そこから次の遊びにつながっていくよう努力する。
- ・散歩が終わったら、もう一度みんなで感動を分かち合う。  
後日、感じたことを絵に描かせる。



### 参考図書等

- ・幼稚園で進める環境教育 井上 初代、小林 研介(著)(明治図書出版)

## 公園で遊ぼう

### ねらい

- ・自然を五感で感じ取らせる。
- ・草や木の大きさ・形・美しさや違いを実感させる。
- ・虫や野鳥と植物との関わりを知る。
- ・森の中と外・また周辺の違いを植物を通して実感させる。

### 対象(参加者)

幼稚園・保育所の幼児及び保護者

### 対象人員

10人～25人

### 所要時間

90分

### 場所

樹木の多い変化に富んだ公園

### 準備するもの

天候や季節に適した服装。また、危険防止を考えた服装。救急薬品

### 実施手順

- (1) 5人くらいのグループを作っておく。
- (2) 全員を集めて公園内ではいけないことや危険防止等の諸注意をする。
- (3) 1分間目をつぶらせて、その間に自然の音がいくつするか指を折らせて数えさせる。
- (4) コースに沿って出発する。以下のような場所を見つけておいて遊ばせ、五感を使った実体験をさせる。
  - ・公園にはいろいろな草や木がたくさんあるので、様々な草や木を探す。
  - ・子どもが虫などを発見したらまず共感し、どんな虫がどこで何をしていたか尋ねる。
  - ・腐葉土の上を歩かせ、腐葉土を良く観察させる。ミミズなど虫を発見したらその虫の役割を腐葉土の状態と関連づけて感じとらせる。
  - ・拾った落ち葉の木の樹皮を撫でてみたり、幹に耳を押し付けてみたりする。
  - ・公園の一部に自然に近い森があったら、木の大きさ比べや、日がよく当たる所に生えている木・草探し、また、つる植物探しをする。また、付近に花や実はないか、そこに虫などいないかよく見せる。
  - ・もし、その森に入れるなら、中に入って上や横の隙間をよく見せ樹冠や林辺の様子を感じ取らせる。

### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・公園によっては使用届け出が必要などところがある。
- ・下見して足もとの危険箇所やハゼノキなどがぶれやすい植物の把握しておく。
- ・食べられる草や木の実でもまわりの状況を判断して、味をみてる。
- ・季節を変えて実施するとまた、新しい発見と感動がある。
- ・後日絵を描かせると感動したところを振り返ることができる。



### 参考図書等

- ・幼稚園で進める環境教育 井上 初代、小林 研介(著)(明治図書出版)

## 里山は宝の山だ

### ねらい

- ・子どもたちに里山の自然を五感で感じ取らせる。
- ・遠くから見た里山の中に入って、周りの色々な環境の中で、植物や虫・野鳥など動植物に触れる。
- ・里山には、広葉樹などが多く植えてあり、樹木の活用として木の実、キノコなどの食料、また、薪や木炭などの燃料として生活に取り入れてきたことから、里山と人との結びつきを知る。
- ・里山には、山の神や水神様が祀っており、昔からのお祭りも数多く残っており、その由来を知ることによって、里山の歴史や文化について関心をもたせる。

ここで言う「里山」とは、人里近くにあつて、人々の生活や文化と結びついた山・森林。



### 対象(参加者)

幼稚園・保育所の幼児及び保護者

### 対象人員

10人～25人

### 所要時間

2～3時間

### 場所

市街地近郊等の里山及び森林

### 準備するもの

天候や季節にあつた服装また、危険防止を考えた服装。救急薬品

### 実施手順

- (1) 全員を集めて里山での危険防止などの諸注意をする。
- (2) 下見で調べておいたコースに沿って出発する。まず、里山の遠景や景観を見せる。  
次に地形と土地利用、特に集落と周辺の田畑や山林の様子をよく見せる。
  - ・集落や里山周辺の道沿いでは石垣や道端をよく見せ、草や木に注目するだけでなく、そこから飛び立つ虫や野鳥にも関心を持たせる。
  - ・里山に安全な場所を決め、虫探しをする。発見した子どもたちの感動に共感し、その虫の生息環境などを尋ねる。このとき樹種、倒木、腐葉土(落葉)等に触れる。
  - ・林内の樹下、横、上など林内の空間や景観をよく見せる。また、株立ちの木、炭焼窯の跡、ホダ場、水神様などがあつたら里山の昔の暮らしや現在の生活を語る。
  - ・近くに小川や谷があつたら、水に触り、その時の感想を発表させる。
- (3) 5人くらいのグループを作って行動し、随時ポイントで全員を集め、良かった点や問題点、分からない点などがないか、話し合いをさせる。
- (4) 1分間目をつぶらせてその間に自然の音がいくつあるか指を折らせて数えさせる。

### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・森林所有者(里山)の許可をとり、下見をよくし、効率的な実施と危険防止に努める。

### 参考図書等

- ・幼稚園で進める環境教育 井上 初代、小林 研介(著)(明治図書出版)

## 森林のはたらき

### ねらい

- ・森林が多様な生物を育てていることや、森林の役割（水源かん養・大気の浄化など）に触れる。
- ・森の心地よさに気づく。

#### 対象（参加者）

幼稚園・保育所の園児及び保護者

#### 対象人員

3人～5人(1グループ)

#### 所要時間

60分

#### 場所

近隣の森

#### 準備するもの

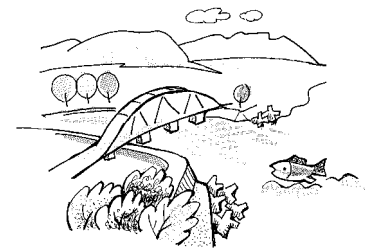
手袋、長靴、シャベル、シート、虫取り網

### 実施手順

- (1) 幼児を3～5人のグループに分け、大人が必ず1人入るようにする。
- (2) 落ち葉の下やコケの生えているところなどから、少しずつ水がしみ出している場所を探し、手で触れてみる。(森には水が蓄えられていることを説明する。)
- (3) 深呼吸をしたり、スギやヒノキ、クスノキなどの木の香り(フィトンチッド)を嗅いでみる。(すがすがしい気持ちになることを感じてもらう。)また、森の中と森の外との温度を測り、森の涼しさを体験する。
- (4) 安全な場所に座り、一分間目を閉じ音を聞く。(葉が風に揺れる音、葉が落ちる音、小鳥のさえずりなどを聞き、山では様々な音がすることを覚えてもらう。)
- (5) 木の皮を触って感触を確かめたり、形、色、大きさ、においなど、木の種類の異なる落ち葉や木の実(どんぐりなど)を拾い集め、シート等の上に広げ、様々な種類や大きさのものがあることを覚えてもらう。
  - ・幹のまわりを手をつないで測ったり、歩幅を使って枝の拡がりの幅を測る。
  - ・赤ちゃんの木(足元にある木の実生：高さ30cm)を探し、木の葉の形などの特徴をヒントに、赤ちゃんの木の親と思われる木を探してみる。
- (6) 花の蜜に集まる虫や、葉巻状に巻かれた葉っぱの中にいる虫、落ち葉の下にいる虫、朽ちた木の中にいる虫などを探す。

### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・体験場所や指導者などについては、最寄りの農林振興局(西臼杵地区は西臼杵支庁)の林業普及指導員に相談するとよい。
- ・目をとじたり、耳に手をあててみるなど音を聞く時には工夫する。
- ・ウルシの仲間などのかぶれやすい植物や毒を持つ生物には注意する。
- ・近くにハチの巣がないか注意する。



### 参考図書等

- ・感動体験みやざきの森 宮崎県森林環境教育プログラムティーチャーズガイド1、2
- ・森で学ぶ活動プログラム集総合版 森林を知る資料データ解説集( (社)全国林業改良普及協会)
- ・森林のはなし ( 社団法人 国土緑化推進機構)
- ・森と木の質問箱 ( 社団法人 日本林業技術協会)

## 木を植えてみよう

### ねらい

- ・植林を通じて、森を守る仕事の一端を知る。

#### 対象(参加者)

幼稚園・保育所の園児及び保護者

#### 対象人員

3人～5人(1グループ)

#### 所要時間

60分

#### 場所

近隣の森

#### 準備するもの

苗木、クワ、スコップ、手袋、長靴

### 実施手順

- (1) 道具の使い方や苗木の扱い方を指導者から聴く。
- (2) 穴を掘る場所を決めて、スコップやクワを使って穴を掘る。
- (3) 掘った穴に苗木を入れ、スコップやクワなどを使って土で埋め戻す。
- (4) 木が生長するためには、苗木を一本一本植える作業から始まり、何十年もの時間が必要であることを教える。( 植えたばかりの苗木と成長した木を比較しながら説明する。)
- (5) できるだけたくさんの木を大きく育てるためには、様々な手入れが必要であることを説明する。
  - ・下刈り：苗木の成長を邪魔する雑草を刈ること。( 周りに生える草や雑木などで光がささぎられ、土の養分や水分が奪われ、苗木が大きく成長しないため。)
  - ・除伐：苗木を植えて10年くらい経って、目的とする木以外を切ること。( 自然と周りに生えてきた樹木や成長の悪い樹木によって、光が遮られたり、目的とする木が枝葉を伸ばすことができなくなるため。)
  - ・間伐：樹齢15年以上の込み合ってきた林で、木を間引くこと。( 一本一本の木が、根から吸い上げる水分・養分を増やすため。)



### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・体験場所や指導者、苗木など準備するものなどについては、最寄りの農林振興局(西臼杵地区は西臼杵支庁)の林業普及指導員に相談するとよい。
- ・木の切り株や枝条などがあり足場が悪い場合があるので注意する。
- ・実施手順(4)では、森林の主な作業(植栽、下刈り、除伐、間伐、主伐)のパネルを用いて説明を行うと、より理解が深まる。
- ・クワを使って作業を行う際には、保護者と一緒に作業をし、安全面に注意する。

### 参考図書等

- ・感動体験みやざきの森 宮崎県森林環境教育プログラムティーチャーズガイド1、2
- ・森で学ぶ活動プログラム集総合版 森林を知る資料データ解説集
- ・森林のはなし (社団法人 国土緑化推進機構)
- ・森と木の質問箱 (社団法人 日本林業技術協会)



## しいたけ栽培体験作業

### ねらい

- ・しいたけなどのキノコの生育や栽培方法を学ぶ。

#### 対象(参加者)

幼稚園・保育所の園児及び保護者

#### 対象人員

15人～30人

#### 所要時間

60分

#### 場所

幼稚園・保育所内の木陰、  
近隣の森を借用

#### 準備するもの

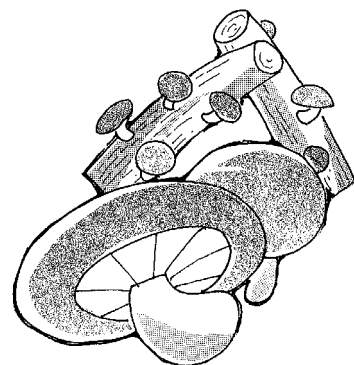
- ・原木：コナラ・クヌギ(6～14cm・長さ1m)
- ・種菌：種駒(中温性品種)
- ・道具：電気ドリル、木づち

### 実施手順

- (1) クヌギ・コナラ等を伐採し、長さ1m程度に玉切りした原木を準備する。
- (2) 原木に、種駒を埋め込むための穴を電動ドリルであけ、木づち等で種駒を埋め込む。  
種駒の数は、末口直径(cm)の2倍以上とし、縦方向20～25cm、横方向に5～6cm程度に千鳥状に行う。
- (3) 種駒を埋め込んだ原木は、しいたけ菌糸をまん延させるため、風通しの良い場所に伏せこむ。直射日光を受けると、しいたけ菌が弱ったり死滅するので、枝葉やネット等で覆い、日光がチラチラ差し込む程度にする。
- (4) 伏せ込んで1～2年経過すると、しいたけが発生してくるので、しいたけを発生させる場所(ほだ場)に移す「ほだ起こし」を行う。
- (5) しいたけが発生したら、収穫を行う。傘が5～7分開き程度の時が味が良いとされている。発生した年から4年程度収穫出来る。

### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・購入した種菌は、異常がないか確認して、なるべく早く使用する。
- ・購入した原木はなるべく早く種駒を埋め込み、埋め込んだら直接日光にあてないようにし、できるだけ早く伏せこむ。
- ・夏場の乾燥時期は、ホダの乾燥を防ぐため、適宜散水する。



### 参考図書等

- ・キノコ栽培全科 大森 清寿、小出 博志(編集)(社団法人農山漁村文化協会)
- ・最新シイタケのつくり方 日本きのこ研究所(編集)(社団法人農山漁村文化協会)
- ・図解よくわかるきのこ栽培 日本きのこセンター(編集)(社団法人家の光協会)
- ・ひむか里山の森利用計画書(NPO法人ひむか里山自然塾)

## 園・所庭での堆肥化作業

### ねらい

- ・幼稚園や保育所での堆肥化作業の意義・作業方法を覚える。
- ・農作物を栽培する心を育てる。
- ・花や野菜を堆肥として利用することにより、循環利用の意識を高める。

### 対象(参加者)

幼稚園・保育所の  
園児及び保護者

### 対象人員

15人～40人

### 所要時間

60分  
(手順(1)～(4)までの時間)

### 場所

幼稚園・保育所内の園庭、  
近隣の森を借用

### 準備するもの

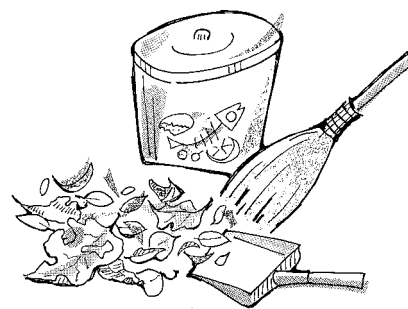
- ・容器：コンポスト容器(50L程度)
  - ・資材：落葉、枯れ草、生ごみ、園で飼育している動物の糞、土又は砂
- 落葉や枯れ草は、事前に近くにある森や林から集めておく。

### 実施手順

- (1)参加者を一箇所に集合させ、4～6人1組に班分けする。
- (2)班ごとにコンポスト容器1個と必要な資材を準備する。
- (3)園庭の一角にコンポスト容器を置き、堆肥化作業を行う場所を決める。
- (4)落ち葉、枯れ草をコンポスト容器に入れ、水をかけながら踏み込む。
- (5)土と生ごみの混ぜたものを入れ、1ヶ月に1度ぐらい切り返す。
- (6)油かす、骨粉、鶏糞などを材料の重さの10%ぐらい入れる。
- (7)堆肥の熟度により異なるが、2～4週間に1度切り返す。

### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・切返しは、腐熟していない部分を中心に入れ替える。
- ・適切な水分状態にするため、肥料を手で握りしめて、手に水気を感じる程度にする。
- ・切返しを行うとき、乾いている部分には水を補給する。
- ・切返しでは、空気も補給することを意識して、できるだけ多くの空気に触れさせる。
- ・コンポスト容器を大きい物にすると土又は砂の確保が難しい。
- ・生ごみなどを扱う際には、臭いやハエなどの虫の産卵に注意する。



### 参考図書等

- ・ベランダ・庭先でコンパクト堆肥 藤原 俊六郎、加藤 哲郎(著)(農文協)
- ・ひむか里山の森利用計画書(NPO法人ひむか里山自然塾)
- ・宮崎県環境学習プログラム  
「土のはたらき」「残飯でコンポストづくり」「落ち葉でコンポストづくり」  
<http://eco.pref.miyazaki.lg.jp/gakusyu/gakupro/index.html>

## 野外でのバードウォッチング

### ねらい

- ・野鳥などの野生の生きものを慈しむ心を育てる。
- ・野鳥を観察する心を育てる。
- ・野鳥の名前や観察方法を覚える。

### 対象(参加者)

幼稚園・保育所の園児及び保護者

### 対象人員

15人～20人

### 所要時間

120分

### 場所

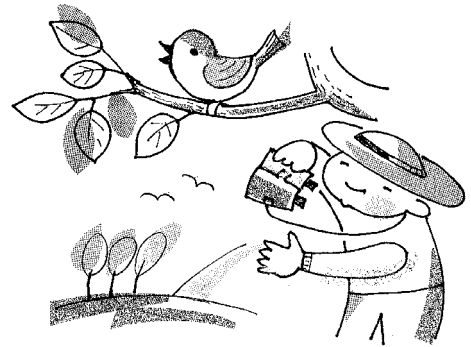
幼稚園・保育所の園内  
又は周辺にある森

### 準備するもの

観察道具(双眼鏡、フィールドスコープ(望遠鏡)・三脚)、  
図鑑、フィールドノート(メモ帳)、筆記用具、  
野外活動のできる服装、冬は防寒具、野鳥のDVD

### 実施手順

- (1) 幼稚園・保育所の近くの森や野鳥が多く飛来する場所に移動する。
- (2) 参加者を一箇所に集合させ、3～5人1組の班に分ける。
- (3) 各班にフィールドスコープ、三脚1組、双眼鏡1個以上を準備する。
- (4) 各班にリーダーを1名配置する。
- (5) リーダーは野鳥や周辺の自然環境について説明する。
- (6) 観察終了後、見た鳥を確認する。(「鳥合せ」という。)
- (7) 見た鳥の特徴やえさ(食べ物)について説明する。



リーダーには、野鳥観察に詳しい野鳥の会などの専門家や環境保全アドバイザーに依頼するとよい。

幼稚園・保育所の先生が探鳥会などに参加して野鳥の観察方法を取得するとよい。

### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・服装は華美なものさけ、地味な物とする。(鳥に刺激を与えないため)
- ・観察ルートを歩くときは、静かに歩き、私語をつつしむ。
- ・観察した野鳥や環境状況をフィールドノートに記録する。
- ・参加者は、リーダーの指示に従って行動すること。
- ・観察終了後、見た鳥を確認する際には、野鳥のDVDを活用すると分かりやすい。

### 参考図書等

- ・フィールドガイド日本の野鳥 高野 伸二(著)(日本野鳥の会)
- ・日本の野鳥 叶内 拓哉(著)(山と溪谷社)
- ・ひむか里山の森利用計画書(NPO法人ひむか里山自然塾)

## みんなで巣箱を掛けよう！

### ねらい

- ・巣箱をかける意義と巣箱の作り方を覚える。
- ・野鳥などの保護の意識を高める。

### 対象（参加者）

幼稚園・保育所の園児及び保護者

### 対象人員

2人～30人

### 所要時間

2時間（製作60分、  
設置60分）

### 場所

園内又は  
近所の森

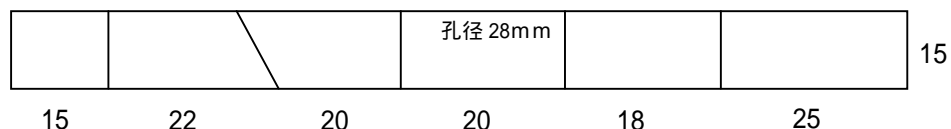
### 準備するもの

- ・材料：板（15×120×1.2cm）1枚、釘（3cm程度）30本程度、  
蝶番2個、はり金、しゅろ縄
- ・用具：のこぎり、ハンマー、ドリル、コンパス、鉛筆等

### 実施手順

（1）板を次の寸法に切断する。（板の寸法は挿絵の寸法と異なります。）

底板 15cm、横板 20 - 22cm（2枚）、前板 20cm、屋根板 18cm 後板 25cm



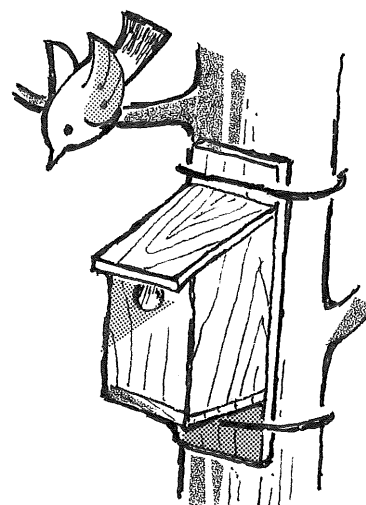
（2）前板に直径28mmの孔を開ける。

（3）切断した板を組み立て、屋根板は蝶番で後板に取り付け、巣箱を完成させる。

（4）園庭の樹木の幹の高さ2～3m程度のところにしゅろ縄で取り付ける。

### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・孔径28mmの巣箱はシジュウカラ用で、スズメ用は30mm、ムクドリ用は40mmとする。
- ・蝶番はステンレス製のものを使用する。
- ・底板には水抜き用の小さい孔を開ける。
- ・巣箱を掛けるときは入り口の前にある程度の空間が取れるようにかける。
- ・巣箱を取り付けるとき、後板の四隅に孔をあけておくと取り付けやすい。
- ・巣箱を取り付けるときは、ゆるみやぐらつきがないようにしっかりと固定する。



### 参考図書等

- ・野鳥を呼ぶ庭づくり バードテーブルに呼べる野鳥21種 柚木 修、柚木 陽子（著）（千早書房）
- ・ひむか里山の森利用計画書（NPO法人ひむか里山自然塾）

## 子どもウォークラリー

### ねらい

- ・自然環境の全体像を認識し、その良さを自覚する。
- ・自然に親しみながら地図を読む力をつける。
- ・植物（樹木、葉っぱ等）や昆虫、土などに触れることで体感学習を行う。
- ・身近な自然環境に対する興味や関心の醸成を図る。

### 対象（参加者）

幼稚園・保育所の園児及び保護者

### 対象人員

2人～30人

### 所要時間

60分程度  
（園児の体力及び地形を考慮して設定する。）

### 場所

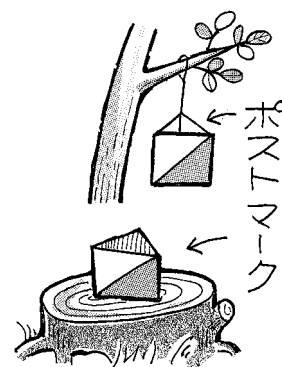
- ・幼稚園・保育所の敷地全体
- ・近隣の公園
- ・森林

### 準備するもの

地図、ポスト（参加者が通らなければならない地点）、ポストマーク（標識）、ポスト位置説明書、マスター・マップ（スタート地点、ポスト、ゴールの位置を示した親地図）、チェックカード、筆記用具

### 実施手順

- （1）スタート地点に集合させる。
- （2）地図とチェックカードを参加者に配る。
- （3）ポスト位置説明書でポストの位置や注意事項を説明する。
- （4）2人又は3人を1組として、ポストを探しながら移動する。
- （5）ポストマークを見つけ、チェックカードにしるしをつける。
- （6）ゴールでタイムをはかりチェックカードを提出する。
- （7）コースを移動するとき樹木を観察したり、落ち葉を拾う。
- （8）次の場合は、ゲームが成立しませんので、注意する。
  - ・チェックカードにしるしを付け忘れたとき
  - ・ポストをぬかしたとき
  - ・規定時間をすぎたとき



### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・コースは、安全であること。
- ・一本道でなく変化に富んでおり、途中休む場所があること。
- ・スタートとゴール地点は全員が集合できる広場があること。
- ・地域の詳しい地図（1/2,5000程度）があること。
- ・ポスト位置説明書はポストマークの位置を参加者に分かるように記載する。



### 参考図書等

- ・オリエンテーリング・ウォークラリー 江橋 慎四郎(監修) 師岡 文男(著) (国土社)
- ・ひむか里山の森の利用計画書 (NPO 法人ひむか里山自然塾)

## 落ち葉で“じゃんけんぽん”

### ねらい

・葉っぱを、いろいろな視点で捉えることで、思考力や想像力を育む。

#### 対象（参加者）

幼稚園・保育所の園児及び保護者

#### 対象人員

何人でも

#### 所要時間

30～40分

#### 場所

多種多様な樹木がある場所（公園、神社等）

#### 準備するもの

樹木の本（図鑑）

### 実施手順

- (1) 気に入った葉っぱを数多く集めてもらい、その中から4、5枚選んでもらう。
- (2) 拾ってきた葉っぱを使って、じゃんけんをする。
- (3) じゃんけんの度に、ちがったテーマを出す。
  - ・大きいもの    ・小さいもの    ・綺麗な色のもの    ・おもしろい形のもの
  - ・虫食い跡がいっぱいあるもの    ・不思議なもの    ・匂いがあるもの
  - ・何かくっいているもの等など
- (4) 手持ちの葉っぱの中から、勝てそうな葉っぱを選び「じゃんけんぽん」の掛け声と同時に葉っぱを出す。（その時の参加人数に合わせて2～4人で行う）
- (5) 互いが納得のいくように勝敗を決め、負けた人は勝った人に、葉っぱを渡す。
- (6) 3～4回くりかえす。
- (7) 最後に、それぞれ持っている葉っぱの数を確認し、一番の人に拍手。
- (8) 気付いたことや、感じたことを話し合ってみる。



### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・勝ち負けが目的でないことを、指導者はしっかり認識しておくことが大切。
- ・指導者は、じゃんけん中の参加者の様子を見ながら、上手に介入する。
- ・自分の思ったことが言えたか、相手の話を聞くことができたか、テーマに沿って葉っぱの特徴を見つけることができたかを評価する。
- ・落ち葉から木の名前を調べることも大切である。
- ・発展として、5～7月に、同じ場所で樹木を観察することで、秋と春夏の違いを知る。  
また、葉っぱを石に、浜辺であれば貝殻など、拾える素材に変えて行うこともできる。



### 参考図書等

- ・山のふるさと村ビジターセンター（みちのく公園ティーチャーズガイド）
- ・宮崎県森林環境教育プログラム ティーチャーズガイド1

## どんぐりで作品を作って遊ぼう

### ねらい

- ・秋の自然に親しむ。
- ・木の実や小枝・落ち葉などを使って創作活動をする。
- ・想像力を高める。

### 対象(参加者)

幼稚園・保育所の園児及び保護者

### 対象人員

10人～25人

### 所要時間

2時間

### 場所

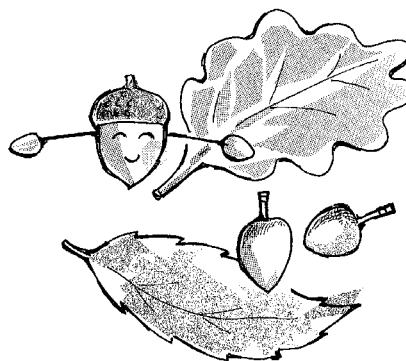
野外活動の施設や園庭

### 準備するもの

のこぎり、剪定ばさみ、千枚どおし、木工用ボンド、シート、修正ペン、マジックペン、バンダナ、グルーガン(電気が使えるところであれば便利)

### 実施手順

- (1) 森や林、公園等を散策し、秋の自然を感じながら木の実や落ち葉、落枝などを拾う。  
拾ったものは、バンダナバックに入れる。  
創作活動のできる場所まで移動する。
- (2) 用意していた材料と拾った材料とを合わせてイメージを広げ、創作をする。
- (3) 指導者の用意した作品を参考にしてよい。  
【例：やじろべー、コマ、ネックレス、指輪、小さな人形、クリスマス用の飾りなど】
- (4) みんなで参加者の作品を鑑賞する。
- (5) 活動を振り返り、感想を発表してもらう。



### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・散策中の安全には十分注意する。
- ・散策中の採集は落ちているものだけにする。
- ・参加者のイメージが広がるように参考作品を十分に用意する。
- ・刃物を使う場合もあるので親子での活動や、複数の指導援助者を得ての活動が望ましい。
- ・参加人数が多い場合は、活動を採集(野外)と創作活動(園)の2部に分け、班毎に必ず指導者をつける。

### 参考図書等

- ・森の工作図鑑 「どんぐり まつぼっくり」 岩藤 しおい(著)(いかだ社)

## はっぱっぱ(年代に応じたはっぱ遊び)

### ねらい

- ・葉っぱに触れ、葉っぱで自由に遊ぶことで、自然環境を体験する。
- ・多種多様な葉っぱを通して、植物や昆虫などの種類(名前)を学ぶ。
- ・落ち葉や紙が微生物によって分解され、土に返っていく「循環」を体験する。

### 対象(参加者)

幼稚園・保育所の園児及び保護者

### 対象人員

特に制限なし

### 所要時間

特に指定なし  
1～3時間

### 場所

多種多様な木の葉がたくさんある  
ところ(公園・街路・里山など)

### 準備するもの

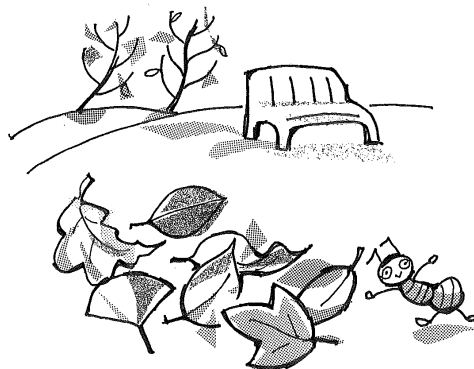
樹木や昆虫の本(図鑑)、新聞紙、でんぷんのり、  
麻ひも(生分解されるもの)、はさみ

### 実施手順

- (1) 落ち葉がたくさんある公園や神社、山林などの場所へ行く。または、事前に落ち葉をたくさん集める。
- (2) 新聞紙の真ん中を、子どもの頭が通る大きさに切り取り、服(貫頭衣)の形や帽子の形に作り、でんぷんのりで落ち葉を思い思いにくっつけて、葉っぱの洋服を作る。(年長・中)  
また、新聞紙や麻ひも等を使い、絵・モビール・人形など、好きな作品を作る。(年長・中)  
小さい子どもは、葉っぱを撒き散らしたり、寝そべったりするだけでも良い。(年少・未満)
- (3) 作品は持ち帰っても良いし、園庭に積み重ね、毎月分解される様子を観察するのも良い。  
堆積した落ち葉には虫の食料や住みかとしての役割があるので、虫の生態の観察もできる。

### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・幼児期は体をフルに使って、本人が納得いくまで、精一杯遊ぶことがとても重要。
- ・プログラムについても、細かい部分にとらわれることなく、発達段階に合わせて、こども自身が自由に楽しく遊べる環境づくりや満足いく時間の配分の仕方が必要。



### 参考図書等

- ・「体験型環境学習ハンドブック～子ども向けアクティビティ集～ 広島県(2000年)」他



## 野鳥のものまね

### ねらい

- ・身近な野鳥のものまねから、野鳥に対し、関心や興味をもたせる。
- ・野鳥を観察することにより、集中力や観察力を育む。

### 対象(参加者)

幼稚園・保育所の園児(5歳以上)  
及び保護者

### 対象人員

2人～10人

### 所要時間

30分以上

### 場所

幼稚園・保育所の敷地又は近隣の公園で、  
野鳥の音が聞こえるところ  
近くに野鳥の声を聞く場所がない場合は、  
DVDやテープを使用する。

### 準備するもの

野鳥の本(図鑑)  
野鳥のDVD、テープ

### 実施手順

- (1) 次のことを野鳥のものまねをする前に児童に教える。
  - ・野鳥たちは仲間とまわりのことを知らせあっている。
  - ・野鳥を脅かさないように、静かに観察をする。(私語はひかえる。)
  - ・みんなもそのお話をまねてみよう。
- (2) ものまねの仕方を説明する。
  - ・目をつむって、鳥の鳴き声を聞く。
  - ・鳥の鳴き声を聞きながら、野鳥を脅かさないように、鳴き声のものまね(しゃべる)をする。
  - ・後で、どんなおしゃべりをしたかをみんなに発表する。
- (3) 活動を開始する。
  - ・隣の人の声が気にならない、自分の好きな場所に移動して、活動を始める。
- (4) 全員をあつめる。
  - ・各自、野鳥の鳴き声をどのように聞き取ったかを発表してもらう。
  - ・その他に、感じたことを話し合う。

### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・鳴き声のものまね(しゃべる内容)を思いつかない人には、あいさつをかわすようにと教えるとよい。
- ・カラスの鳴き声をまねするなど、野鳥がどんな時に鳴いているかを教えるとよい。(求愛、警戒、あいさつなど)

### 参考図書等

- ・フィールドガイド日本の野鳥 高野 伸二(著)(日本野鳥の会)
- ・日本の野鳥 叶内 拓哉(著)(山と溪谷社)



## 蝶々とにらめっこ

### ねらい

- ・自然の中で蝶と親しくなる。
- ・集中力や観察力を育む。

### 対象(参加者)

幼稚園・保育所の園児及び保護者

### 対象人員

2人～10人

### 所要時間

20分以上

### 場所

幼稚園・保育所の敷地又は近隣の公園

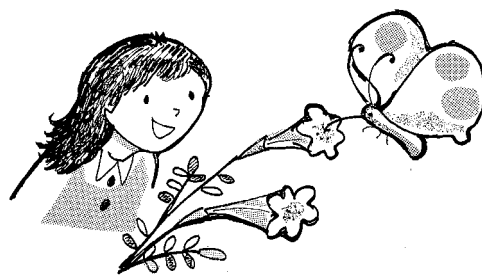
### 準備するもの

蝶が止まる花(下記注参照)を探しておく。

### 実施手順

(1) 次のことを導入の話の中で伝える。

- ・生き物は何かを食べて生きている。
- ・蝶が蜜を吸うところを観察する。
- ・蝶は花の蜜を吸い取って食べ物にしている。  
その蜜をなめてみよう。



(2) 観察の仕方を説明する。

- ・音をたてないように、蝶が止まっている花に近づく。
- ・蝶が近くにくるまで動かないで待つ。
- ・蝶が近くの花に止まったら、蜜を吸う様子をよくみる。その花を覚えておく。
- ・蝶が遠くの花に移ったら、その花の柄を持ってちぎり取って、その場をそっと離れる。
- ・花の柄から花びらを抜き取って、花びらの先を舌の先にあてて蜜をなめる。

(3) 活動を開始する。

(4) 交代しながら全員が活動し終わったら、感想を発表し合う。

### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・花を取る時は、管理者の許可をもらっておく。
- ・蜜をなめる時は、衛生面や有害物質(農薬などがかかっているか)に気をつける。

注) 野生ではスイカズラやアメリカセンダングサ、園芸種ではアベリア(ハナゾノツクバネウツギ)がある。参考図書等参照。

### 参考図書等

- ・樹木 ガイドブック 平野 隆久(監修)(永岡書店)
- ・野草 平野 隆久(監修)(永岡書店)

## 野生の動物と家で飼っている動物のちがい

### ねらい

- ・様々な動物の特性を知る。(住んでいるところ、食べものなど)
- ・野生の動物と家で飼っている動物を区別できる。

#### 対象(参加者)

幼稚園・保育所の園児及び保護者

#### 対象人員

6人～30人

#### 所要時間

60分

#### 場所

幼稚園・保育所の教室

#### 準備するもの

動物の切り抜き(裏に磁石をつける)、動物の写真(カード)、いろいろな動物が描かれている本や雑誌、パネル等

### 実施手順

- (1) グループに分ける。(1グループ6名)
- (2) 自分が知っている動物名をあげさせる。  
イヌ、ネコ、トラ、ライオン、キリン、サル、タヌキ、クマ、ウマ、ウシ、ゾウ、カバ、クジラ、キツネ、ニワトリ、スズメ、メジロ、カラス など
- (3) (2)の動物の中から、どこに住んでいるか、どんなものを食べているのか、を話し合い、表にまとめさせる。

	イヌ	ネコ	トラ	ライオン	キリン	サル	タヌキ	クマ	ウマ	ウシ
住んでいるところ										
食べもの										

- ・住んでいるところ…家の中、森の中、農家で飼っている、水の中、海の中など。
  - ・食べもの…主に草や木、主に肉食(自分より弱い動物)、何でも食べる(雑食)など。
- (4) 次に、動物の切り抜きを生息場所(空・海、陸(川・森など))のパネルに貼る作業をする。
  - (5) (3)の中から、家で飼われている動物、それ以外の動物に分類させ、パネルに貼付させる。  
分類が困難な場合は、どちらが通常の状態かをみんなで考えてみる。
  - (6) 家で飼われている動物の中には、家畜として飼われている動物がいることを教える。  
家畜とは、「人間が特定の目的のために飼い馴らし、捕われた状態を保ち、繁殖させている動物である」ことを教える。

### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・子どもが作業しやすいように、動物の切り抜きには裏面に磁石をつける。
- ・テストをする。  
次のうち、家畜化された動物はどれでしょうか？  
(金魚・ウマ・乳牛・アヒル・ヘビ・カ・コウモリ・ニワトリ・ライオン・ワシ)



### 参考図書等

- ・プロジェクトワイルド2004年版「本編」P2 野生って何だろう？(財団法人 公園緑地管理財団)

## しぜんの だいすき だいじさがし

(自然の中にある“だいすき”と“だいじ”を探します)

### ねらい

- ・自然物への感心を高める。
- ・自然の多様性に気づく。
- ・自然の中の“だいじ”に気づく。



先生が子ども達に「しぜんのだいすき だいじさがしパネル」を見せます。



### 対象(参加者)

幼稚園・保育所の園児(3歳以上)  
(保護者がいれば2歳も可能)

### 対象人員

5人～30人

### 所要時間

20分以上

### 場所

幼稚園・保育所の敷地又は  
近隣の公園で、葉っぱや木  
の実を拾えるところ

### 準備するもの

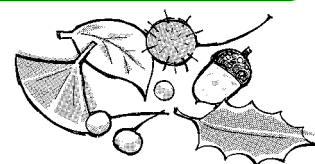
しぜんのだいすきだいじさがしパネル 3～4枚(参考  
図書等の2) シート(拾った物を並べる) 合図の笛

### 実施手順

- (1) 園児がまわりの落ち葉や木の実に感心をもつような話をする。(導入の話)
- (2) 「パネルを見せますので、描いてある物を探して、拾って戻ってきます。」と手順を説明する。
- (3) 探す場所と集合の合図を伝える。
- (4) パネルを見せて、描いてある物の説明をして、活動を始める。
- (5) 頃あいを見て、全員を集め、まわりの人と色や形、手触りを比べあう。
- (6) 拾った物をシートに並べる。
- (7) 拾ってきた物はだれか(虫や鳥など)に役立っている“だいじ”なものであることを伝える。
- (8) 次のパネルに移り (4)～(7)を繰り返す。
- (9) 最後のパネルは「きみがすきなもの」を使う。
- (10) 拾ってきた物を拾った場所に返して、終了する。

### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・フィールドの、さわるとかぶれる植物や、とげのある枝などに注意する。
- ・生きている葉っぱや枝を採集せず、傷つけないようにする。
- ・「形を比べあう」ほかに、「さわってなめらかさを感じる」「においをかぐ」「音をだす」「穴から覗く」などがある。
- ・パネルの内容、順序、枚数は“だいじ”が伝わりやすいように工夫する。
- ・拾ってきた物のよしあしよりも、さがしてくる行為を褒める。



### 参考図書等

- 1 公認ネイチャーゲーム指導員報「自然案内人」2010年度版 日本ネイチャーゲーム協会  
日本ネイチャーゲーム協会 引用承認番号：184
- 2 ネイチャーゲームクラブ発行 ネイチャーゲームカタログ 2010年度版

## 色いくつ

(周囲の自然の色を数え、自然の中にあるさまざまな色を感じとる)

### ねらい

- ・自然の中にある様々な色に気づく。
- ・周囲の自然の情景に気づく。
- ・視覚による自然観察をする。



### 対象(参加者)

幼稚園・保育所の園児(4歳以上)  
及び保護者

### 対象人員

2人以上

### 所要時間

5分~10分

### 場所

幼稚園・保育所の敷地又は近隣の公園

### 準備するもの

特になし

### 実施手順

- (1) おしゃべりを止めて、まわりには緑や茶色など様々な色があることを話して感心をもたせる。
- (2) これからその色を数えることを伝える。
- (3) “数えるポーズ”をして、数えながら体をひとまわりする。(数え方の手本を示す)  
{ “数えるポーズ”は両手を顔の横に上げて、掌を開いて前にむけ、指を折りながら数える}  
(このポーズは数えることに集中させて、子供の行為の進行具合を観察するのに都合がよい)
- (4) “数えるポーズ”よーい、数え始め」の声かけで活動を始める。
- (5) 全員が数え終わったら、いくつ数えたか尋ねる。
- (6) 次に、気に入った色があったか尋ね、発表してもらおう。

### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・色の数の多い少ないにこだわらず、色を見つける行為を大切にする。
- ・色の見え方は個人によって異なることがあるので、個人の意見を尊重する。
- ・木の種類や光の当たり方で異なる色に見える場合、別の色として数えてもよい。
- ・色を数える時に、太陽を見ないように伝える。

### 参考図書等

- 1 公認ネイチャーゲーム指導員報「自然案内人」2009年度版 日本ネイチャーゲーム協会  
日本ネイチャーゲーム協会 引用承認番号：183
- 2 「ネイチャーゲーム1」 ジョセフ B. コーネル(著)(柏書房)

## 同じものを見つけよう

(指導者がみせた自然物を決められた時間内に探す)

### ねらい

- ・自然への関心を高める。
- ・記憶力、観察力を養う。

#### 対象(参加者)

幼稚園・保育所の園児(4歳以上)  
保護者と一緒なら3歳児も可能

#### 対象人員

2人~15人

#### 所要時間

20分~40分

#### 場所

幼稚園・保育所の敷地又は  
近隣の公園

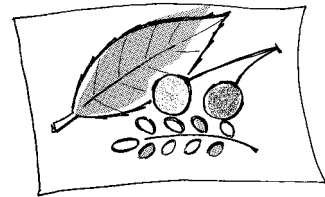
#### 準備するもの

無地の敷物 1枚、無地のバンダナ 1枚、  
バンダナ(袋用)人数分、合図の笛

### 実施手順

準備 フィールドに落ちている、形や色などだれでもわかるもの(落ち葉や木の実など)を年齢に合わせて3~5種類拾ってきて、敷物の上に並べ、無地のバンダナをかぶせておく。

- (1) バンダナ袋を持たせて、敷物の周りに集める。
- (2) 「このバンダナの下に、このまわりで探してほしい物を並べてあります。これとおなじものを探して、バンダナ袋に入れて持ってきてください。」と仕方の説明をする。
- (3) 探す範囲と集合の合図を伝える。
- (4) バンダナをめくり取って、並べてあるものを見せる。
- (5) 生き物を傷つけたり、草木を折ったりちぎったりしないよう注意し、全員が覚えたことを確かめる。
- (6) バンダナを元のようにかぶせて、活動を開始する。
- (7) 全員が拾い終わるころあいを見て、敷物のまわりを集める。
- (8) バンダナの中に手をいれて、ものをさぐりあて、そのものの形や手触りを全員に聞こえるようにつぶやきながら、ゆっくりと取り出して見せる。  
そのものに興味をもちそうなお話をする。
- (9) 同じものを持っているか確かめる。違うものでも、「それもあった。」と言ってみんなに紹介する。
- (10) 全部を取りだして、終わる。



### 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・実施手順(9)ものを見せたあと、においをかいでみる(楠の葉など)、ちくちくしてみる(松葉など)、すべすべを感じる(どんぐりなど)、たべてみる(シイのみなど)、かさかさ音をだすなど、五感をつかって確かめる。

### 参考図書等

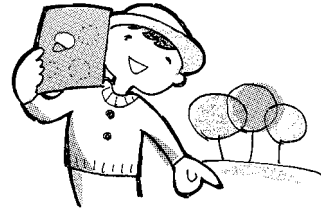
- 1 「ネイチャーゲーム指導員ハンドブック」 日本ネイチャーゲーム協会  
日本ネイチャーゲーム協会 引用承認番号: 182
- 2 「ネイチャーゲーム1」 ジョセフ B. コーネル(著)(柏書房)

# フィールドビンゴ

(自然の宝物をさがしながら、ビンゴゲームをする)

## ねらい

- ・様々な感覚をとぎすます。
- ・観察力を高める。
- ・自然からの発想を得る。



### 対象(参加者)

幼稚園・保育所の園児(5歳以上)  
保護者同伴であれば4歳児も可能

### 対象人員

3人以上

### 所要時間

30分~60分

### 場所

幼稚園・保育所の敷地又は  
近隣の公園

### 準備するもの

フィールドビンゴ キッズカード(参考図書等の2)人  
数分、合図の笛

## 実施手順

- (1) 子供を3人~4人のグループに分けて、このグループで一緒に活動することを伝える。
- (2) カードを各自に配る。
- (3) ビンゴ(縦横斜に穴が2つでリーチ、3つでビンゴ)の説明をする。
- (4) カードの枠のなかの子供が探す宝物についてイメージをふくらませるように簡単なお話を  
する。
  - ・宝物はカードごとに別々の枠に描いてある(同じカードはない)ことも伝える。
  - ・の中に、宝物を発見するために使う感覚(目鼻耳手)が描いてあることも伝える。
- (5) 活動を開始する。グループごとにコースを移動しながら、全員で宝物を探す。
  - ・宝物を発見したら、全員で確認してからカードに穴をあける。宝物のなにか面白いお話を  
する。
  - ・カードに描かれていない宝物を発見したら、それらについても面白いお話を  
する。  
このとき発見した子供をほめてあげることが大切。
- (6) 活動の終わりに、面白かったこと、びっくりしたこと、美しいと感じたことなどを話し合う。

## 実施する上での注意事項及びふりかえり

- ・宝物の発見は子供たちにまかせる。指導者はおおまかな場所のヒントをだすにとどめる。
- ・全員が体感することに重点をおくことが大切であり、単なる宝さがしにならないように気をつける。
- ・リーチやビンゴを大きな声で発表すると、次の宝物の発見に気持ちが高まる。
- ・あらかじめ下見をして、宝物のある場所を調べるとともに、コースについても打ち合わせしておく。
- ・3人~4人のグループ行動が難しいときは、指導者が引率して活動する。

## 参考図書等

- 1 「ネイチャーゲーム指導員ハンドブック」 日本ネイチャーゲーム協会  
日本ネイチャーゲーム協会 引用承認番号: 181
- 2 ネイチャーゲームクラブ発行 ネイチャーゲームカタログ 2010年度版
- 3 「いきいきわくわく 園外保育」 中村伸子(著)(フレーベル館)



(フィールドビンゴ キッズカード)

( 8 ) 森林環境施設を活用した取組・体験学習の概要

施設の名称	宮崎県青島青少年自然の家	宮崎県御池青少年自然の家	宮崎県むかばき青少年自然の家	宮崎県林業技術センター 森とのふれあい施設
所在地	宮崎市大字熊野字藤兵衛中州	都城市夏尾町5988-30	延岡市行滕町760番3	東臼杵郡美郷町西郷区田代 1561番地1
施設の名称構造	鉄筋コンクリート造 3階建	鉄筋コンクリート造一部2階建	鉄筋コンクリート3階建て	木造平屋建て(森の科学館、研修寮)
宿泊機能	304人定員(10人部屋、20人部屋) 幼児の宿泊はできない。	収容人員200名、 野外キャンプ場200名	宿泊室:200名、 キャンプ場:100名	研修寮(洋室:15室-30名収容、 和室:2室-20名収容)
研修機能	各種研修室	大研修室、小研修室、創作室	研修室、創作室、会議室	森の科学館(お話教室-47名収容、 木工実習室)
飲食機能	レストラン	食堂(定員230名)	食堂:160名	食事提供及び飲料の自動販売機あり
野外活動機能	各種活動有り 幼児の活動は限定される。	追跡ハイキングコース、営火場	遊々の森(国有林)	体験の森、森林植物園、ウォーク ラリーコース
その他の機能		体育館、運動広場等		森林・林業に関する展示室 (森の科学館内)
施設を利用した 環境教育プログラム (得意とする環 境プログラムの 名称を記入くだ さい)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然観察(12活動)</li> <li>・アウトドアスポーツ(13活動)</li> <li>・職業体験(2活動)</li> <li>・創作体験(3活動)</li> <li>・食育(4活動)</li> <li>・環境(2活動)</li> <li>・その他の活動(26活動)</li> </ul> 上記の活動は当施設のプログラムであ り環境教育プログラムはありません。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然観察活動(2プログラム)</li> <li>・野外活動(3プログラム)</li> <li>・創作活動(2プログラム)</li> <li>・館内活動(1プログラム)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自然に親しむ活動 (2プログラム)</li> <li>・野外活動(3プログラム)</li> <li>・創作活動(2プログラム)</li> <li>・館内活動(3プログラム)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・木工おもちゃ作り おもちゃのキットを加工しなが ら組み立てる</li> <li>・葉脈しおりづくり 歯ブラシで木の葉の表面を落と し、残った葉脈をラミネート加 工してしおりを作成する。</li> <li>・丸太切り体験 丸太を輪切りにする活動体験を 行う。</li> </ul>
詳細についての 連絡先	889-2151 宮崎市大字熊野字藤兵衛中州 宮崎県青島青少年自然の家 TEL 0985-58-1711 FAX 0985-58-1712	885-0225 都城市夏尾町5988-30 宮崎県御池青少年自然の家 TEL 0986-33-1414 FAX 0986-33-1768	882-0077 延岡市行滕町760番3 宮崎県むかばき青少年自然の家 TEL 0982-38-0272 FAX 0982-38-0282	883-1101 東臼杵郡美郷町西郷区田代 1561番地1 森の科学館 (社団法人宮崎県林業協会) TEL・FAX 0982-66-2004
その他参考事項	利用の条件:5人以上の団体で研 修を目的にしていること。	利用の手引 宮崎県御池青少年自然の家にお問合 せ下さい。		



施設の名称	宮崎県川南「遊学の森」	宮崎県ひなもり台県民ふれあいの森	宮崎県諸県県有林 共に学ぶ森	NPO法人ひむか里山自然塾
所在地	宮崎県川南町大字川南字村上	小林市細野字山野中之前5739-14	宮崎市高岡町紙屋字赤木9番地1	宮崎市細江及び高岡町上倉永の国有林
施設の名称構造	丸太小屋・炭焼き小屋	木造平屋建て(森林学修展示館) 鉄骨平屋建て(森林体育館)	木造平屋建て	木造平屋建て
宿泊機能	なし	キャビン10棟 3~7人(炊飯用具、寝具有り) トレーラーハウス4台 6人(炊飯用具、寝具有り) テントサイト 103サイト(電源等有り)	なし	ログハウス: 7~8人(寝袋使用のみ) ツリーハウス: 6~7人(寝袋使用のみ)
研修機能	なし	森林学修展示館研修室50名 (黒板有り)	管理棟:50人(ホワイトボード有)	ログハウス:8人 (ホワイトボード有)
飲食機能	なし	売店で販売	なし	なし
野外活動機能	23ヘクタールの環境学習の森(森林探索及びネイチャーゲーム等実施可)	グリーンアドベンチャー(遊歩道)	なし	環境学習の森(ネイチャー迷路)
その他の機能	電気・トイレ有り・水道なし(但し川の水を利用した作業用水道有り)	水道・電気有り、(太陽光発電施設有り)	水道・電気あり	水道・電気なし
施設を利用した環境教育プログラム (得意とする環境プログラムの名称を記入ください)	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人で利用する方は、自由に利用できる。</li> <li>団体で利用する方は、利用許可申請書を提出し、利用許可証を受けて利用する。但し、講師等については、利用団体で各自派遣する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>林業体験活動プログラム(2プログラム)</li> <li>野外活動体験プログラム(8プログラム)</li> <li>自然観察活動(3プログラム)</li> <li>創作活動プログラム(4プログラム)</li> <li>室内活動プログラム(3プログラム)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人、団体で利用する方は、利用許可申請書を提出し、利用許可証を受けて利用する。但し、講師等については、利用団体で各自派遣する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>林業体験に関する自然体験プログラム(4プログラム)</li> <li>農業体験に関する自然体験プログラム(6プログラム)</li> <li>里山の森及び素材を活用した自然体験プログラム(11プログラム)</li> <li>里山の生き物に関する自然体験プログラム(2プログラム)</li> <li>里山の樹木を利用した自然体験プログラム(2プログラム)</li> <li>ネイチャー迷路を利用した自然体験プログラム(3プログラム)</li> <li>魔法の厚紙及び天然のクーラー実験</li> </ul>
詳細についての連絡先	880-0805 宮崎市橋通東2丁目7番18号 社団法人宮崎県緑化推進機構 TEL 0985-31-7759 FAX 0985-31-2776	886-0004 小林市細野字山野中之前5739-14 宮崎県ひなもり台県民ふれあいの森 TEL 0984-23-6046 FAX 0984-23-8118	880-0802 宮崎市別府町3番1号 社団法人宮崎県林業協会 TEL 0985-27-7682 FAX 0985-25-2398	880-2105 宮崎市大塚台西3丁目40-10 NPO法人ひむか里山自然塾 TEL 0985-47-8115 FAX 0985-47-8115
その他参考事項	<ol style="list-style-type: none"> <li>保安林指定のため、森林内の立木等の伐採や土石等の持出しは禁止</li> <li>団体で「遊学の森」を利用する場合は所定の利用許可申請書を提出し、利用許可証を受けること。</li> </ol>			ひむか里山の森の利用計画書 (平成21年3月 NPO法人ひむか里山自然塾発行)

## 4 実践活動紹介

## 『エコ幼稚園・保育所』とは

幼児の環境に対する豊かな感受性を育て、環境への興味や理解を深めることを目的として、環境学習に特に熱心に取り組む幼稚園・保育所を、県が「エコ幼稚園・保育所」に認定しています。

エコ幼稚園・保育所では、各園で野菜の栽培やリサイクル活動、清掃活動などをはじめとした様々な取組が行われています。

## 『こどもエコクラブ』とは

幼児から高校生ままでを対象とした環境活動のクラブです。子どもたちが自主的に、自然観察・調査やリサイクル活動など、家庭・学校・地域の中で身近にできる活動を行うものです。(環境省のしくみ)

詳細は、環境ポータルサイト『みやざきの環境』からご覧いただけます。

(URL : <http://eco.pref.miyazaki.lg.jp/index.html>)

## ( 1 ) 実践活動紹介 ( エコ幼稚園・保育所 )

### 社会福祉法人 和会 中央保育園

住所：高千穂町三田井 1099-13

電話番号：0982-72-2428

#### 【畑作り】

隣の敷地に畑を作る。  
子どもにはペットボトルに水を入れて持たせ、種まきと水やりを行った。  
畑が出来上がるまでは、プランターを利用し、野菜栽培を行った。  
(パセリ・トマト・ピーマン等)



( 種まきと水やりの実施風景 )

#### 【リサイクルうちわ作り】

牛乳パックを再利用し、運動会のうちわを作成。市販されているものよりも、持ち手を太く、うちわ部分を小さめにし、子どもたちが扱いやすく作成した。

#### 【リサイクル椅子の作成】

卒園記念品として、園児が牛乳パックを再利用して椅子、段ボールによる屏風を作成予定。良い卒園記念品になると期待している。

### 田原へき地保育園

住所：高千穂町大字田原 1071-3

電話番号：0982-75-1726

#### 【野菜栽培】

野菜づくり(ミニトマト、玉ねぎ、ピーマン、ジャガイモ)、サツマイモの栽培をし、成長過程を観察し、収穫した後は親子クッキングに利用する。



( ボカシづくり )

#### 【堆肥づくり】

生ゴミをEM菌、ボカシで発酵させ、園の畑の堆肥にする。

#### 【リサイクルおもちゃづくり】

ペットボトルに模様をつけ、ボーリングあそびをする。また、ビニールテープでペットボトルをくっつけ、プールあそびの時のビート板にする。

#### 【園外散歩でのゴミ拾い】

## くまた保育園

住所：延岡市北川町川内名7228番地

電話番号：0982-46-2536

### 【リサイクル活動を実施】

これまで、ペットボトル、プラ容器の回収を実施し、現在ではペットボトルのフタを回収したり、古切手を集め、その益金で発展途上国にワクチンを送っています。ペットボトルのフタ集めでは平成16年から平成22年9月までに、合計218,000個、197人分のワクチンを発展途上国の人々に送ることが出来ました。



(ポリバケツに集められたペットボトルのふた)

### 【ごみ処理機の活用】

また、生ゴミ処理機を使用して、出来た堆肥を園庭内の畑にまき、ゴーヤなどを植えてエコ活動を行っています。

### 【太陽光発電の活用】

平成20年2月からは、太陽光発電を導入し、クリーンエネルギー事業への協力活動も実施しています。発電した余剰電気は売電してCO<sub>2</sub>削減に寄与しています。



(園舎の屋根に設置された太陽光発電パネル)

## こひつじ保育園

住所：延岡市川原崎町66番地

電話番号：0982-35-1202

### 【田畑の活動】

- ・もち米の「たねまき」「田植え」「豊作を祈るまつり」「稲刈り」「収穫祭(もちつき、雑煮会)」を経験する。給食で使用したり、卒園・修了式には赤飯にしてお祝いする。
- ・季節の野菜を収穫し、給食でいただく。
- ・梅ジュース作り、梅干し作りをする(シソは畑で栽培)

### 【動植物の飼育や観察】

- ・ヤギやうさぎを飼育し、田畑とのつながりを知る。
- ・森の動物の話をかき。

### 【節水・節電】

- ・手洗い、うがい、歯みがき等、節水に気をつける。

### 【布おむつ使用】

- ・子供の成育面、環境の面、経済面から優れていることを保護者にも説明し、奨励している。

### 【リサイクル活動、製作】

- ・もったいないの気持ちをもち、使えるものは再利用する。

### 【自然体験】

- ・散歩を多くし、空や風、川や水辺の生物などに関心をもち、季節の移り変わりを楽しむ。
- ・木登りや自然物を使っての製作など、身近な自然に触れて遊び、心身の発達を促す。



(たまねぎ収穫が終わると田植えの準備が始まります)

## 土々呂幼稚園

住所：延岡市榑津町4425-6

電話番号：0982-37-7293

### 【野菜や果物の栽培、収穫】

園の畑で苺、空豆、びわ、桃、とうもろこし、芋、大根、柿、バナナ、カブ、人参等を栽培した。

収穫した野菜は、毎月のクッキングで年長児が料理し、全園児で食べた。又、年2回程やさいも会をした。



(バナナの収穫(園の畑))

### 【自然体験】

園庭や園外保育にて自然に直接触れ、自然の素晴らしさ、不思議さを感じることを大切にしている。

具体的には、散歩、虫とり、海浜遊び、川遊び、野草の天ぷら、どろんこ遊び、チューリップ・ヒヤシンス栽培、桜の植樹、雪遊び、どろだんご大会、行滕登山を行った。

### 【リサイクル活動・リサイクル工作】

- ・家庭からアルミ缶、ペットボトル収集しリサイクルした。保護者と一緒にアルミ缶つぶしをした。
- ・ワクチンを寄附するために、ペットボトルのキャップを集めた。
- ・家庭から収集した廃品を使って、お店屋さんごっこの商品やクリスマスプレゼントなどを作った。

### 【小動物の飼育】

うさぎ、インコ、カメ、メダカ、ザリガニ、カブトムシ、ヤドカリ、ドジョウ等を飼っている。保育者と一緒に餌をあげたり、掃除をしている。

## 東海幼稚園

住所：延岡市稲葉崎町2丁目2428番地1

電話番号：0982-35-3780

### 【リサイクルおもちゃづくり】

- ・牛乳パック、トイレトペーパーの芯、ボタンなどを使って、竹とんぼ、望遠鏡、プレスレットなどを作製。



(糸にボタンを通してプレスレットやネックレスを親子で作っている風景)

### 【ごみの分別・清掃活動】

- ・園近くを散歩しながら、ゴミ拾いを行い、分別を園児と一緒にやる。

### 【節電・節水】

- ・電気はこまめに消すよう呼びかけている。
- ・蛇口もしっかり閉めるよう呼びかけたり、節水コマをつけている。

### 【花や野菜の栽培】

- ・花の栽培、野菜づくり(ミニトマト、ピーマン、きゅうり、玉ねぎ、米など)をし、成長過程を観察する。野菜やじゃがいも、米などは収穫し、クッキングに利用する。

## 川水流保育園

住所：延岡市北方町川水流卯 1 3 9 2 - 5

電話番号：0 9 8 2 - 4 7 - 2 3 1 2

### 【ゴミの分別プレート】

近くのコンビニや店にゴミ分別のプレートを設置した。

### 【清掃活動】

散歩中のゴミ拾いや、近くの神社の清掃を行っている。

### 【花や野菜の栽培】

大根、カブ、玉ネギ、なす、ピーマン、ブロッコリーなどの野菜やサツマイモの栽培。

成長観察や収穫体験し、給食でいただいた。

### 【運動会で分別競技】

団技にゴミ分別競技を取り入れ、親子で分別意識をもってもらおう。

### 【節電、節水】

「もったいない」を合言葉に必要なない電気を消したり、水道の蛇口を閉めたりしている。

### 【米のとぎ汁】

給食室よりもらって、床掃除に使ったり、花の水やりを使用する。

### 【廃材の積木】

住宅の建築の際に出た木切れを使用し、積木遊びを園庭で楽しむ。



( 廃材の積木で遊ぶ風景 )

## 慈光保育園

住所：延岡市北浦町三川内 3 2 2 0 番地 1

電話番号：0 9 8 2 - 4 5 - 2 1 2 0

### 【節電・節水】

- ・電気はこまめに消すよう、言葉かけをしている。
- ・水道のコックは、しっかりしめるよう、その都度、声かけをしている。

### 【残飯、残菜のかたづけ】

- ・給食後、皿に残っている食べ残しをヘラを使ってきれいにしている。

### 【ペットボトルのキャップ、プルタブの回収】

- ・家庭でできるペットボトルのキャップ、プルタブを園の方へ持って来てもらう。

### 【ボカシを使つての堆肥づくり】

- ・園でできる生ゴミを、EM菌、糖みつを使って作ったボカシで堆肥を作り、畑に入れて、野菜を作っている。



( 残飯、残菜のかたづけ )

NPO 法人 太陽の里  
すみれ幼保園

住所：延岡市無鹿町2丁目3281

電話番号：0982-31-0644

【太陽農園】食育環境教育

野菜づくりは楽しいよ！

- ・農地の面積：約3アール
- ・種類：旬のもの40種程度
- ・高齢者（地域）デイサービスとの共同作業
- ・食材として丸ごと使い切りを目標に
- ・食べのこしは、コンポストにて肥料作り
- ・地域の養豚農家より残飯回収に来る
- ・多くの人との共働により、共に生活し、生きることの大切さを知る
- ・1年間の作業で季節の移り変わりを感じる
- ・自然すべての大切さを身につける



（ 自家製そば粉による  
7割そばうち体験 ）

えほんの森幼稚園

住所：延岡市昭和町2丁目105番地

電話番号：0982-33-6443

【外部講師を招いたエコ教育】

- ・環境保全アドバイザー制度を利用して環境問題をテーマとした紙芝居を見る。実際にごみの分別を行う。

【リサイクル活動】

- ・ペットボトルキャップの回収

【自然体験学習・環境施設見学】

リバーパル五ヶ瀬

- ・土砂降りハウスにて雨や水の力を実際に体で感じる。

夢の杜工場見学

- ・清掃工場見学で、ごみの現状とごみの処理について学ぶ。

芋掘り・みかん狩り・どんぐり拾い

- ・大地の恵みを実際に収穫することで、自然を体感し季節感を学ぶ。

須美江家族村・水族館

- ・貝殻拾いや水族館見学にて、地域に生息する水辺の生き物について学ぶ。



（ ごみ分別の講習風景 ）



**【子どもの森づくり運動】**

エコ活動の一環として、昨年より「子どもの森づくり運動」に参加させていただいています。

これは地元の森で種を拾い、育て、森へ植えるという一貫した森づくり活動です。秋の遠足の際に、植物園にて子ども達が拾ったどんぐりの種を園に持ち帰り、発芽させた後、プランターに植えました。

現在では、苗木が森に植える事ができる大きさになるまで、ゆっくりと成長を見守っているところです。

どんぐりの成長は毎月園便りにて保護者や地域の方々にもお知らせをしており、皆で日々の成長の喜びを共有できるようにしています。この活動を通して、どんぐりは呼吸しているという事を教えて頂いたり、種から苗に成長するまでの過程を身を持って経験することで生きる力を育む命の教育をするよい機会となっています。今後は苗木を森に返す活動を予定していますが、子ども達が今以上に自然に対する「思いやり」や「やさしさ」の心が育ってくれたらと思っています。



(どんぐりのお披露目会での記念写真)

**方財保育園**

**【リサイクルおもちゃ、楽器づくり】**

- ・おやつ等で食べた後のからの容器を洗い再利用する。

**【クリーン作戦】**

- ・ごみの分別、ペットボトル、空き缶、電池を分ける。

**【節電・節水】**

- ・プールの後の水を庭へ散水する。

**【保育士によるエコ教育】**

- ・保育士による手作り紙芝居
- ・大型店にキャップを持って行く。
- ・アルミ缶を集めて持って行く。
- ・古切手の収集をして、地元の新聞社へ持って行く。

**【野菜づくり】**

- ・トマト、二十日大根、ほうれん草の成長過程を観察しクッキングをして利用する。
- ・菜の花を育てて、菜の花から取れる油が資源活動に対して覚える。

**【堆肥(コンポスト)】**

- ・さつま芋の苗植え付けをし、収穫して子どもたちがクッキングして食べた。

**【飼育や観察】**

- ・動物(メダカ、金魚、鯉、カブトムシ、鈴虫)の飼育をする。



(エコによる紙芝居の風景)

## 延岡望幼稚園

住所：延岡市中川原町2丁目4704-6

電話番号：0982-32-5007

### 【花や野菜の栽培】

- ・花壇やプランターで季節に応じた花や野菜を栽培して、成長や変化を観察する。  
(えんどう豆・きゅうり・トマト・なす・葉大根・さつまいも・二十日大根・稲・レタス)
- ・収穫した野菜をクッキングして試食する。  
(えんどうご飯・野菜サラダ・カレー・ふかしいも)
- ・栽培した花を使って、保育活動にいかす。  
パンジー・・・押し花、なでしこ・・・ミニ花束  
朝顔・・・色水、ひまわりの種・・・製作、  
ゴーヤ・・・グリーンカーテン



父の日のプレゼント  
パンジーの押し花を飾りにつけました。  
(ペットボトルのリサイクル)

### 【紙やペットボトル等のリサイクル製作】

- ・広告紙の裏や包装紙を使って、折り紙あそびや絵描きをする。
- ・ペットボトル・牛乳パック・ティッシュの空箱等を利用して製作する。  
(プレゼント用作品、時計作り、おもちゃ作り等)

【研修】1月に外部講師を招いて、資源ゴミについて紙芝居・ワークショップを行う。

## 山陰保育園

住所：日向市東郷町山陰丙1447-1

電話番号：0982-69-3140

### 【ペットボトルキャップを利用したパズル】

数年前からペットボトルのキャップを回収しています。子供達も意識的にキャップを持ってきてくれるようになりました。集めたキャップは『世界の子供達にワクチンを！』と業者の方にお渡ししています。

運動会ではダンボールで大型パズルを製作しました。ペットボトルの頭の部分とキャップを利用し、指先を使い、はめる作業を取り入れました。立てても崩れない楽しいパズルが完成しました。



(ペットボトルキャップを利用したパズル)

#### 廃材利用製作・ゴミ拾い

- ・家庭と保育園との廃材を利用して、想像豊かに船やツリーなど作っています。
- ・散歩の途中で見かけたゴミを拾い持ち帰ります。散歩以外でもゴミを見つけたら拾うよう心がけ実践しています。

#### 節電・節水

- ・電気はこまめに消すように呼びかけをしています。
- ・花壇近くに雨水を貯めて、利用しています。

## 椎葉村立鹿野遊へき地保育所

住所：椎葉村大字下福良697-23

電話番号：0982-67-3113

### 【リサイクルおもちゃ】

- ・ティッシュ箱の空き箱、プリンカップ(洗った物)、お菓子の空き箱を使い、ロボット、船、動物、戦車など作る時間も楽しく活動できた。
- 又、プリンカップ、トイレットペーパーの芯を壁につけ、ビー玉転がしをして楽しめた。

### 【野菜づくり】

- ・花だんでミニトマト、オクラ、ピーマン、サツマイモの栽培をした。葉のにおい、花の色、実など観察もした。収穫も子どもたちにさせた。
- お昼のお弁当でミニトマト、オクラを食べた。
- また、クッキングでも材料にした。サツマイモはおやつで食べた。

## 美郷町立神門へき地保育所

住所：美郷町南郷区神門974番地1

電話番号：0982-59-0288

### 【野菜作り】

キュウリ・ピーマン・ミニトマト・オクラ・しその植えつけ、成長過程観察、除草、追肥を行い、自分たちで収穫、調理して、とれたての旬の味を知る。

### 【リサイクル活動】

- ・不用になったカレンダーやチラシ紙を利用して子どもの遊び(剣づくり、折り紙がわりなど)
- ・めくりカレンダーの裏を発表会のプログラムに利用している。
- ・牛乳パックで平均台を作り、運動会の競技に利用。
- ・運動会にペット、缶(アルミ、スチール)、燃えないゴミ等の仕分けをするのを競技に取り入れた。
- ・ペットボトルのふた収集。



( 野菜(トマト苗)の植えつけ )

### 【節電・節水】

戸外へ出る時、午睡前、使用後はこまめにスイッチ、蛇口をしめる様に努めていると、子どもの口から「もったいない、出しっ放し」という声がきこえるようになってきた。子どもたちも進んで、消したり、閉めたりする様になっている。

## 都農町立中央保育所

住所：都農町大字川北5469-1

電話番号：0983-25-0311

### 【花や野菜の栽培】

季節ごとに様々な野菜の栽培を行ってきた。

5月には卒園児から引き継いだ、えんどう豆の収穫を全児で行い、給食室でえんどう豆御飯にしていた。

スイカにも挑戦し、たくさん実をつけ、毎日大きくなっていくのが、目に見えるので、歓声があきこえてきた。(野鳥のカラスとニラメッコも経験できた。)落花生やさつまいもなどは収穫して、調理まで実践できてよかった。

毎日の草とりや水やりを楽しみにし、抜いた草は腐葉土にして、卒園式のプランターに利用している。

子ども達は、野菜や花の変化に喜び、花びらをそっと摘んだり、花に語りかけたりと優しさも育ってきた。又、何よりもこの活動に祖父母の応援があり、園と家庭との繋がりが、より密になったことは特記すべきことだと思う。

ペットボトルのキャップの回収、節水・節電は特にことばかけをしなくても、自然に身につけてきた。

今年度の卒園児へのプレゼントはちら紙と牛乳パックを利用し、鉛筆立を作っている。



(自分たちで植えた玉ねぎの草とり風景)

## 川南町立野田原保育所

住所：川南町大字川南3267-6

電話番号：0983-27-5754

### 【花や野菜の栽培】

- ・パンジーの種を蒔き、花壇作り  
プランターにも植え、卒園式会場に飾っている。
- ・野菜づくり(ピーマン、ナス、キュウリなど)  
サツマイモの栽培、米作り  
とれた野菜は給食に使ったり、自分達でおやつ作りに利用。  
収穫したお米でおにぎり作りをしている。



( 田植え風景 )

### 【園外散歩でのゴミ拾い】

- ・散歩に出かけた際にゴミ拾いをしている。

### 【ペットボトルキャップ回収】

- ・キャップを集めて、婦人協議会へ 海外の子ども達のワクチンへ

今後もしできる範囲で、環境学習活動を継続していきたいと思っております。

## 木城町中央保育所

住所：木城町大字椎木 2 2 3 2

電話番号：0983-32-2522

### 【環境教育】

- ・散歩の時間を利用して保育所周辺の清掃活動を実施している。
- ・絵本や紙芝居等とおして環境問題について、子ども達にわかりやすく説明し自分たちで何が出来るか考えている。



( 保育所周辺の清掃活動 )

### 【野菜づくり】

- ・園内の畑を利用して、ミニトマト・ピーマン・なす・大根・白菜・キャベツ・サツマイモなどを栽培し、成長過程を観察し、収穫後に給食の食材として利用をする。
- ・SAPや農家の協力によりサツマイモやスイートコーンの植付・収穫などを体験し、収穫後をおやつに利用している。

### 【リサイクル活動】

- ・家庭で不要になった牛乳パックを利用した年賀状の作成、空き箱やペットボトルなどの再利用。(おもちゃ・楽器製作)

## 高鍋町立わかば保育園

住所：高鍋町大字北高鍋 3 5 1 6 - 1 1

電話番号：0983-23-0314

### 【生ゴミ、残菜堆肥づくり】

- ・ダンボールコンポストや畑(直接)で行なっている。

### 【有機無農薬野菜・花づくり】

- ・四季を通して、野菜づくり(大根、そら豆、人参ミニトマト、なす、玉ネギ、パセリ、ゴーヤなどその他)・花の栽培をし、成長過程を観察する。収穫した野菜は給食室で調理してもらったり、家に持ち帰って食べたりしている。



( 生ゴミ、残菜堆肥で作った大根 )

### 【生き物観察】ツマグロヒョウモンチョウ、キアゲハ、ヤゴなど

### 【ペットボトルのフタの収集】年間80~100kgを集めている。

### 【ゴミの分別、清掃活動】

- ・散歩の途中でゴミを拾い、園に持ち帰り、ゴミの分別作業を子どもたちとしている。

### 【節水、節電】

- ・夏場の水やりはプールの水を利用したり、手洗い用も出しすぎに注意している。使用していない部屋の電気は細めに消す。クーラーの温度は28度に設定。グリーンカーテン作りで涼をとっている。

### 【エコ講演会を行なう】

- ・外部講師を招いて行なうようにしている。(子ども向け、保護者向け)
- ・職員がダンボールコンポストの講演会の講師になり、エコ活動を広めている。
- ・職員が子ども環境管理士の資格を取り、エコ保育に取り組んでいる。

## のぞみ保育園

住所：新富町大字三納代803番地

電話番号：0983-33-0216

### 【ごみの分別】

園で出るごみの分別をする。

### 【給食の食器の汚れ取り（ヘラの利用）】

ゴムべらを利用して、皿などについた汚れをきれいに落とす。

### 【リサイクル製作】

家庭などから持ち寄った牛乳パック、ペットボトル、トレーなどを利用して、老人へのプレゼント作りやお店やさんごっこで使用した。



（今年はたくさんバナナができました）

### 【もち米・米作り・田植え・草取り・稲刈り・餅つき】

4・5歳児とその父母や役職員で昔ながらの手植えをして、収穫したもち米でお餅つきをしたり、給食で頂いた。

### 【野菜・芋・料理作り】

裏の畑にいろいろな野菜をうえ、観察、水かけ、収穫をした。その食材で料理をし、食育にもつながった。特に給食の残菜など、野菜や果樹の堆肥とした。

### 【雨水の利用】

畑に大きなバケツを置いておき、そこに溜まった雨水を野菜などに利用した。

## 上新田保育園

住所：新富町大字新田16419-1

電話番号：0983-35-1320

### 【米・野菜づくり】

田植えを体験したり、1年を通して野菜（トウモロコシ、ピーマン、きゅうり、さつまいも、白菜、大根など）を栽培し、成長過程を観察したり収穫を行った。その中で、秋のさつまいも収穫の後に、つるを使って、クリスマスリースを作成し、文化祭に出品した。



（収穫したさつまいものつるでリースを作成）

### 【園内や周辺の公園などの環境美化】

週始めに、園庭の石拾いや、周辺の公園のゴミ拾いを行う。公園には、「ゴミを捨てないで」のポスターを園児と作成し、掲示したところ、ゴミが減ってきている。

### 【リサイクルおもちゃ作り】

広告紙、牛乳パックなどを再利用し、毎月おもちゃなどを製作する。

## 新田保育所

住所：新富町大字新田 8 3 4 2 番地

電話番号：0983-33-3848

### 【ゴーヤのカーテン】

夏の日除けとして植えました。  
ゴーヤは、収穫して皆で食べました。

### 【ペットボトルのキャップ回収】

子ども達が家庭からキャップを持ってきたものを  
数え、取り扱い店さんへ持っていきます。

### 【公園のゴミ拾い、草とり】

### 【牛乳パックのリサイクル】

発表会で使う帽子を作ったり、玩具・椅子を作り  
ました。牛乳パックで紙すきをし、夏まつりのみ  
こしの一部としました。

### 【給食の皿拭き】

給食を食べ終わった皿を拭いて、(油等)汚水が  
流れないようにしています。

### 【野菜作り】

さまざまな野菜を栽培し、収穫して食べています。



(ゴーヤのカーテン)



(ペットボトルのキャップを数えている様子)

## 岩崎保育園

住所：西都市大字下三財 3 3 2 4 - 1

電話番号：0983-44-5032

### 【ペットボトルキャップや牛乳パックの回収】

- ・キャップはイオングループへ、牛乳パックはリサイクルへ出す。

### 【清掃活動・ゴミの分別】

- ・園の周辺地域や公園のゴミ拾いを行い、分別をこどもたちと一緒にやる。
- ・市の生活環境課に依頼しゴミの分別や資源の再利用等について学ぶ。

### 【リサイクル活動】

- ・廃品を利用して製作活動をする。

### 【栽培活動】

- ・芋や季節の野菜や花を植え、成長の様子を観察、収穫物は給食やクッキング活動につなげる。

### 【外部機関を利用してエコ学習】

- ・エコクリーンプラザへ社会見学に行く。
- ・九州電力環境部のエコマザー事務局による環境紙芝居を見る。

### 【節電・節水】

- ・プールの水を花や野菜にかける。
- ・日常的に「もったいない」と節電節水を呼びかける。



(廃材と自然物を使ったお面の完成を喜ぶこども達)

## 光照保育園

住所：西都市大字鹿野田1450-1

電話番号：0983-43-1340

### 【リサイクルおもちゃ作り】

- ・トイレットペーパーの芯や牛乳パックなど、身の回りにある素材を再利用しておもちゃ作りを行う。
- ・家庭にある不要なタオルや布を利用して、布草履を編む。



### 【花や野菜の栽培】

- ・花壇に花を植え、水やりや草抜き、プランターでの野菜づくり(ナス、ピーマン)、サツマイモの栽培し、収穫する。

ゴミの分別の写真  
汚れた空き缶や空き瓶をきれいに洗って  
資源ごみ袋に入れます。

### 【節電・節水】

- ・水の出しっぱなしや水を出す量を調節するように呼び掛けている。
- ・使用していない部屋の電気を消したり、コンセントを抜いたりする。

### 【ゴミの分別清掃活動】

- ・散歩の途中にごみ拾いを行い、園に持ち帰って分別を園児と一緒にやる。
- ・濡れた新聞紙を床に撒き、掃き掃除をしたり、濡れ新聞を使い窓掃除をする。

## 認定こども園 あいいく 西都愛育幼稚園

住所：西都市大字妻909-15

電話番号：0983-43-1163

### 【園庭のお茶で新茶をいただく】

私達の園庭にはお茶の木があります。毎年5月の初めには、年長児全員で無農薬で育てたお茶摘みをします。1枚1枚丁寧に摘み、陰干しして、大きな鉄鍋で炒っていきます。すると、何とも良い茶の香りがしてくるのです。できたお茶で園長を招いてお茶会をして、新茶を味わいます。お茶を使用してのうがいもするので皆元気です。



(一番茶摘みをしてお茶会をする年長児)

### 【命をいただく】

この他にも園庭には、びわ・ドドメ・きんかん・さくらんぼ・ぶどうなどの実になる木があり、園の畑では野菜を収穫し、四季折々の自然の恵みをおいしくいただいています。

### 【おさがり市】

家庭で不用になった衣服や小物(帽子・くつ)、ベビーベット、チャイルドシート等のおさがり市を年1回開催しています。

### 【その他】

1年を通して各家庭からペットボトルのキャップを集め、ペットボトルキャンペーンに参加し、発展途上国の子供達にワクチンにかえています。



## あさひ幼稚園

住所：西都市三宅2727

電話番号：0983-43-4889

### 【お泊まり会でのそうめん流しのための道具作り】

- ・竹を割ってそうめん流しのための台
  - ・そうめんのつゆを入れる容器と箸
- それらを使ってそうめん流しを行った。



### 【どくだみ茶作り】

- ・園庭周りの草取りの時、草の中からどくだみを分別し、葉を丁寧に洗い、網に入れて陰干しし乾かして、お茶にして飲んだ。また、参観日に袋に入れたどくだみ茶を保護者にプレゼントした。（お泊まり会でのそうめん流し風景）

### 【花・野菜の栽培】

- ・あさがお - 成長過程を観察し、採種した種を来年の栽培につなげる。
- ・綿花 - 綿を取り針山を作る材料にする。
- ・その他 - さつまいも、ミニトマト、ピーマン、ナス、二十日大根の栽培

### 【どんぐりクッキーを作る】

- ・園庭にたくさん落ちるどんぐりを集めて皮をむき、粉にしてクッキーを作り食べた。
- その他、白色度の低い再生紙の利用・落ち葉のプランター作り・リサイクルデーの実施等々

## 梅野保育園

住所：宮崎市佐土原町下田島9175-1

電話番号：0985-73-3572

### 【廃材の利用】

クリスマスの帽子、節分の鬼の面・裱、こいのぼり、雛人形等をダンボールや新聞紙を利用して作成している。  
牛乳パックを紙すきし、うちわ、葉書、表彰状等を作成している。  
プリンカップ等の空き容器で楽器を作り、保育や発表会の際に利用している。



（手作りお面と裱をつけて）

### 【ごみの分別・清掃活動】

3歳以上児が園周辺のゴミ拾いや清掃をし、集めたゴミの分別をしている。

### 【節電・節水】

電気は、こまめに消し、水道は水量を加減して使う様にしている。

### 【花・野菜の栽培】

液肥や裏山の腐葉土を利用して、花・野菜（ミニトマト・ピーマン・ナス・オクラ・イチゴ）を栽培して、収穫した野菜は、給食の材料に使ったり、クッキングで利用したりしている。

## ひがし保育園

住所：宮崎市佐土原町下田島19422-11

電話番号：0985-73-3530

### 【花や野菜の栽培】

- ・花の栽培、野菜づくり（ミニトマト、ナス）
- ・サツマイモの栽培をし、成長過程を観察する。
- ・野菜やサツマイモは収穫し、クッキングに利用する。



（ サツマイモの収穫 ）

### 【ゴミの分別】

- ・クラスのごみ箱に燃えるごみ・燃えないごみが区分できるように指導する。

## 住吉東保育園

住所：宮崎市大字島之内堂山10597-1

電話番号：0985-39-1945

### 【綿の収穫と人形づくり】

- ・秋に収穫した綿を使って、うさぎの人形づくりをしました。

### 【もちつきの後、米のとぎ汁でぞうきんかけ】

### 【流木を使ったスタンドで行事の看板利用】

### 【みんなで植えたパッションフルーツのトンネル】

### 【あさがおの日よけカーテン】

### 【包装紙や紙袋を使ってのちぎり絵制作】

### 【花や野菜の栽培】クッキング

### 【いものつるで作ったリース】

### 【広告紙を使って遊ぶ】



（ 収穫した綿や流木自然物で作ったうんどう会の看板 ）



（ 綿の収穫までを行い、フェルトの人形を作りました。 ）

## のぞみ保育園

住所：宮崎市大島町字畑ヶ田1080

電話番号：0985-24-9737

### 【活動のテーマ】

「地球は、人が住めるたった一つの大切な星だから、みんなで地球に優しくしてあげましょうね」  
そういうお話を子どもたちにして環境活動に以下の通り、取り組んでいます。



( 市民の森散策の様子 )

・毎月二回、シーガイア散策に行き、植物や花の観察、途中での道路のゴミ拾いを行っています。

・色々な施設に行き、地球は一つとか、環境が大事ということを学んでいます。  
以下の施設に行っています。

( 科学技術館 ( プラネタリウム ) ・ 大淀川学習館 )

## 島之内保育園

住所：宮崎市大字島之内8900番地

電話番号：0985-39-0694

### 【生ゴミの堆肥化】 野菜づくり

畑にコンポストを数ヶ所設置し、毎日給食で出た生ゴミを堆肥化し、野菜や花だんに利用した。

夏場は、かぼちゃの種が育って夏時期の給食のかぼちゃは、自家製のかぼちゃで十分足りた。

その他の野菜も自分たちで育て、クッキングに収穫した物を使うことで喜んで食べている。



( コンポストで作った堆肥を入れた畑に芋の苗を植えているところ )

### 【節電・節水】

電気の配線を細分化させ、使う場所を照らすようにした。

水道にセンサーを取りつけて、節水に役立っている。

### 【リサイクルおもちゃ・楽器づくり】

発表会等でも使い、保護者にも紹介した。

## 住吉幼稚園

住所：宮崎市大字島之内 8 3 6 3 - 1

電話番号：0 9 8 5 - 3 9 - 1 9 5 3

### 【リサイクル楽器で運動会のリズムを踊る】

保護者の方から頂いた沢山のミルク缶。  
これを使って何かできないかと考え、運動会の太鼓として使い、それぞれに腰に巻き、太鼓を打ちながら踊りました。運動会会場に太鼓の音が響きわたり、大変好評でした。  
写真は地区の文化祭でのリズムの発表の様子です。



### 【親子でゴミについて学ぼう】

11月の参観日を利用して、親子でゴミについてのお話を聞きました。

〔地区文化祭での缶太鼓を使ったリズムの様子です〕

当日は環境保全アドバイザーの宮田スミ子様にお話しをして頂き、ごみの分別の仕方や、資源ごみから何ができるかなどのお話を聞き、とても勉強になりました。

### 【エコクリーン宮崎に園外保育】

年長組はエコクリーン宮崎に見学に行きました。家庭から出たゴミがこの場所に運ばれ、処理されていく様子は驚きと共に、どのように処理されているのかを、間近に見る事ができとても勉強になりました。ミルクカップで作ったキーホルダーにもとても喜びました。

## 吉野保育園

住所：宮崎市大字金崎 2 9 5 3

電話番号：0 9 8 5 - 4 1 - 1 1 3 3

### 【床作り・野菜づくり】

野菜に必要な堆肥作り、床作り等を行う。年間を通して20種以上の野菜栽培を行う。自分達（年長児・年中児）で苗植え、除草作業、間引き等を行い、収穫（全園児）を楽しむ。収穫後は給食で調理し、楽しく頂く。

### 【堆肥作り】

生ゴミ処理機を導入。食品残渣を減らし、肥料として再利用する。

### 【清掃活動】

お散歩の途中でゴミを拾いながら歩く。  
ゴミを捨てない道徳習慣を身に付ける。

### 【リサイクル活動】

段ボール等の積み込み作業など、リサイクル業者の回収作業を実際に体験している。（年中児）



（リサイクル車へ段ボール積み込み作業）



（ジャガイモ植え）



（玉ねぎ収穫）



（夏野菜収穫）

## ドンボスコ保育園

住所：宮崎市波島二丁目 8 - 3 6

電話番号：0985 - 22 - 2201

### 【プランター菜園】

クラス毎にピーマン・ナス・レタス・二十日大根  
ミニトマト・ゴーヤなどを育て、ピザ・野菜炒め  
サラダなどクッキングで頂く。

### 【バケツ苗・さつまいも栽培】

バケツ苗で育てたお米を精米し、肉巻きおにぎり  
体験の時に頂く。さつまいもは、給食やクッキン  
グなどで楽しむ。

### 【清掃活動】

近所の公園の掃除を高齢者クラブの方々と一緒にやる。（牛乳パックコンポスト）

### 【リサイクル活動（資源の再利用）】

古切手・書き損じ葉書などを集めて海外の子どもたちの教育・医療援助に役立てる。  
エコキャップを集め海外の医療活動（ワクチン）に協力する。

### 【牛乳パックコンポスト】

EM菌ぼかしを使って残飯を土に返す。EM菌や土壌のあり方を紙芝居などで学びながら  
来年の野菜づくりの準備をする。（生態系サイクルを学ぶ）



## 生目幼稚園

住所：宮崎市大字浮田 2 9 1 3

電話番号：0985 - 48 - 3062

### 【えこえこまつり】

毎年1月に行う親子リサイクルおもちゃ作り

園児は保護者と一緒に牛乳パックやヤクルト等  
の空き容器を使っておもちゃ製作。

希望するお父さんは、竹馬製作。

保護者にも幼稚園でのエコ活動の取り組みに対  
して理解していただく良い機会になっている。

また、竹馬完成後は、お父さんが支える竹馬に子どもが乗り練習する姿はとても  
微笑ましい。



（お父さんが支える竹馬に子どもが  
乗り、練習している様子）

# ちどり保育園

住所：宮崎市南高松町2 - 37

電話番号：0985 - 22 - 6057

## 【宮崎の自然を知ろう（外部講師感察会 年3回）】

自分達の住んでいる近くにも、自然をたっぷり感じる場所があります。五感をフルに使って、様々な命を感じます。



（ 感 察 会 ）

## 【おもちゃのゆずりっこ（おもちゃ交換会）】

赤ちゃんの時に遊んでいたおもちゃ、もう遊ばなくなったけど、まだ使えるおもちゃをお友達と交換します。



（ ゆずりっこ ）

## 【米、野菜の栽培】

## 【ペットボトルのふた、空缶のふた集め】

## 【ごみの分別、お散歩でごみ拾い】

## 【節電、節水】

# 宮崎大学教育文化学部附属幼稚園

住所：宮崎市船塚1丁目1番地

電話番号：0985 - 24 - 6707

## 【園内クリーンデー】

毎月1回30分間、全園児と自由参加の保護者で季節の変化を感じながら、園庭の落ち葉拾いなどを行った。多くの保護者と一緒に子どもたちも意欲的に活動した。



（ 腐葉土を活用した球根植え ）

## 【腐葉土づくり】

クリーンデーやPTA清掃で集めた落ち葉に発酵菌を混ぜ、腐葉土づくりをした。野菜栽培や球根植えに活用することができた。

## 【栽培活動】

春と秋に学級園で野菜の種蒔きやビオトープの畑に芋の苗を植えたり、園児全員が一人一鉢に花の球根を植え世話をしたりすることで、植物の生長を身近に感じながら栽培・収穫を行った。収穫した野菜は、カレー会や豚汁会で使い、芋は焼き芋会を行った。これらの栽培活動を通して、植物に対する関心が高まり、命を大切にする気持ちとともに食育につなぐことができた。

## 江平保育園

住所：宮崎市橘通西5丁目6-36

電話番号：0985-24-7806

### 【リサイクルで製作活動】

- ・ペットボトルのキャップ(緑色)を収集し、クリスマス飾りの製作に取り組んだ。キャップをツリーに見立て、並べることを楽しんでいった。
- ・使用した牛乳パックに穴をあけ、じょうろにしたところ、穴から水が出てくることを喜んで遊んでいた。



( エコキャップでツリー製作 )

### 【清掃活動】

- ・人の役に立つことを喜びながら、園内の落ち葉拾いやぞうきんがけをする。
- ・園外に出る時は、ビニール袋を持っていき、ゴミ拾いを率先して行う。小さなゴミも見逃さず、来た時よりもきれいになるよう全員でゴミ拾いに取り組む。

### 【節水】

- ・手洗いの際、泡立っている間は水を止めるなどして節水を心がけている。
- ・また、歯みがきの時も同様に、水を流したままにしないよう気をつけている。

### 【食育】

- ・食器についた米粒もきれいに食べる。箸で器用に一粒一粒とりながら食べるようになった。
- ・「毎日、残食なし」を目標に、配膳の際に調節したりして食べる。

### 【エコ教育】

- ・九州電力環境部のエコマザークラブの方が来園し、ペープサートなどで地球環境の問題について楽しく学ぶ。
- ・畑で野菜の種や苗を植え、経過を観察し植育を楽しんだ。また、収穫を自分たちで行い、とれた野菜は、給食室で調理してもらい食べた。自分で育てたという思いもあり、とても喜んでいった。

## いずみ幼稚園

住所：宮崎市下北方町花切5660-4

電話番号：0985-23-3703

### 【緑化活動】

幼稚園では珍しい、園庭いっぱいの芝を張りました。素足保育を伝統にしており、おもいきり走り回っても、すり傷等の負傷者がなくなりました。夏場、バッタやカマキリが生息し、だんご虫からバッタ取りに大きく変わりました。又、CO<sub>2</sub>に少しでも貢献できるのが嬉しい。



( 芝生の上で、紙芝居風景 )

### 【ごみの減量】

給食において、好き嫌いをできるだけなくし、完食できるように、分量を工夫し、配膳する。残ったおかずは、年長組や他のクラスへ廻し、できるだけ、残さないようにする。

### 【節水】

- ・手洗い、うがい、歯みがき等使用する時、流しっぱなしにしないようにする。
- ・園庭に設置している水道の蛇口、取り外しのできるものに変更した。(水遊びに使っていた)
- ・手洗い等使う蛇口が古くなり堅く、水もれがあり、新しく全部とりかえた。

【12月九電環境部のエコマザーによる環境紙芝居を実施】「もったいない～」と子供達、反応が早い

# 大塚あけぼの幼稚園

住所：宮崎市福島町寺山3147-26

電話番号：0985-53-9570

## 【具体的な取り組み内容】

### 1. ジャガイモ、イネの栽培活動

あけぼの農園の活用

- ・ジャガイモ等の苗植え(タネイモ)と収穫、食べる
- ・容器を利用(各クラスごと)したイネ栽培
- ・サツマイモ収穫活動



( イモの収穫 )

### 2. 節水、節電に努める

- ・手洗い、うがい等の後、水道のせんをしっかりとめる。
- ・先生方による点検実施
- ・外遊びの際の保育室の消燈の励行

# 宮崎学園短期大学附属みどり幼稚園

住所：宮崎市昭和町57

電話番号：0985-22-3251

## 【リサイクルおもちゃ作り】

各家庭から集めたティッシュ箱や毛糸、ペットボトルのキャップ等を利用し、トラックを作った。作成中は、何色のライトにしたいか考えてキャップを選んだり、どんな模様のトラックにしたいか考えて色とりどりにしたりと楽しみながら行っていた。

出来上がった物では、友だちと見せ合ったり、引き合って入れる物を探したりしながら遊びに夢中になっていた。



(リサイクルおもちゃづくり)

## 【野菜づくり】

年長児が中心になり、プランターでピーマン、オクラ、ナスを栽培した。野菜を育てる前にあさがおの花を育てた経験がプラスになり、毎日の水やりと太陽の光が当たるところへの移動を皆で取り組んだ。育っていく過程を実際に何cmになったかとか、花と実が関係している事なども観察の中で知って関心が深まるよう、発表させたりもしてきた。

収穫時には当番ごとに行き、帰ってどのように食べたかも報告し合い、少しずつ野菜嫌いが減ってきた。



## 三宮保育園

住所：宮崎市北川内町円光明 6 3 3 8 - 1

電話番号：0 9 8 5 - 5 3 - 8 2 3 3

### 【野菜・米・花づくり】

園内に子ども農園を設け、畑では腐葉土を使って四季折々の花や野菜をつくり、田んぼではもち米をつくっています。収穫した野菜や果物は、給食やおやつとしていただき、もち米は、保護者や職員一緒に餅つき大会を行い、楽しく触れ合える交流の場として喜ばれています。

これらの食育を通して、物には命がある事を知り子ども達は、給食をこぼさず、残さず丁寧に全部食べるようになりました。



( 野菜の収穫 )

### 【エコ学習】

エコ（身近にできること、3つのR、もったいない）の学習を行い、発表会にも取り入れました。それにより、物を大切に作る心が育ち、子ども達からもったいないの言葉がでるようになりました。

## みくに幼稚園

住所：宮崎市吉村町北原甲 1 4 0 5 - 1 5

電話番号：0 9 8 5 - 2 9 - 5 4 5 1

### 【リサイクル活動】

- ・牛乳パック、カップなどで鉛筆立て、びっくり箱コマ、びっくりガエルを作る。
  - ・廃品を家庭より持ち寄って、いろいろな製作活動をして作品を作る。
- みんなのアイデアで、すてきな物品に出来上がり、お店やさんごっこを楽しむ。



( お店やさんごっこの様子 )

### 【ごみの分別】

各クラスに分別ゴミ箱を設置し、分別や資源の活用などを理解する。

### 【節電、節水】

エコ紙芝居、絵本を通して、特に環境の大切さを知る。  
身近な手洗い、歯みがきを通して、節水に気をつけさせる。

様々な活動やお話しを通して、子どもたち自身、私たちの住む地球環境の大切さを知り、又、物のひとつひとつに“いのち”があり、“宝”であることに気づくようになった。

## 千代田幼稚園

住所：宮崎市太田4丁目5-40

電話番号：0985-51-3402

### 【リサイクル活動】

・3年前からペットボトルのキャップ集めをしている。途上国の子どものワクチン代になることを知らせて家庭と一緒に取り組んでいる。

### 【野菜づくり・クッキング】

・1学期はミニトマトの苗植え、2学期は二十日大根の種まきをし、水やりや成長の様子を観察した。収穫し、給食でサラダにして食べた。野菜の苦手な園児も喜んで食べていた。



( ペットボトルのキャップ集めの取組み風景 )

### 【ごみの分別活動】

・各保育室のごみ箱は「もえるゴミ」と「しげんゴミ」を置き、日常的にゴミの分別を意識した環境を作っている。園児は各自、毎日の給食後、残飯・ストロー・牛乳パックなどに分別し、お皿の汚れは布の切れ端で拭き取って片付けをしている。

### 【エコ環境教育】

・企業が取り組んでいる「エコマザー活動」を利用して、「もったいないは地球をまもるココロンパ」のペープサートを見た。家庭で「電気をつけっぱなしはもったいないよ」と言う園児の姿が見られて、自然や環境問題に関心をもつきっかけを作ることができた。

## 鏡洲保育園

住所：宮崎市大字鏡洲字星叶541番地

電話番号：0985-58-0256

### 【野菜の栽培】

園の給食で出た生ごみや残飯を生ごみ処理機により堆肥化して園の畑に肥料として使用し、一年を通じて野菜の栽培をし、収穫した野菜を使ってクッキングを楽しんでいる。特にカボチャは前年度収穫した種を発芽させて栽培する。

今年度は、園舎裏の木を伐採したので、その木に椎茸の菌を打ち込み椎茸作りに挑戦した。

(ピーマン・青梗菜・ブロッコリー・ジャガイモ  
かぼちゃ・ミニトマト・大根・ラディッシュ・水菜  
さつまいも・白菜・ねぎ・いちご)



( 焼いた籾殻の中に、お芋を入れます )

### 【籾殻で作る焼き芋】

秋に収穫したサツマイモを籾殻を使って、毎年焼き芋作りをしている。その際、園舎北側の山林の枝打ちされた杉の枝や、落ち葉を使用。炭になったものは、畑に入れ使用する。

玄米から白米にする過程で出来る籾殻の用途についても話し、いろいろな形で最後まで利用できることを知らせていく。

2～3個食べる子どももあり、とてもおいしい焼き芋が出来上がった。

【清掃活動】近くの道路、公園のゴミ拾いを行う。

【野菜の栽培と収穫】

園庭の畑に毎日観察できるものを植える。  
(ピーマン、ナス、トマト、パセリ、ネギなど)  
近くの畑に近所のおじいちゃんの協力を得て  
植える。(とうもろこし、さつまいも、枝豆)  
いずれも収穫した野菜は給食室で調理して  
もらって試食する。



(とうもろこしの収穫)

【エコ環境教育】

エコマザーの方に来ていただき、紙芝居やお話を聞き、「もったいない」を合言葉として  
エコの意識づけをする。

【プールの水の有効活用】

プールの水を(2階にプールがあります)2Lのペットボトルに入れ、運んできて、野菜  
に水かけをする。(4、5才児)

【廃材を利用した作品づくり】・・・町内の作品展に出品する。

**北今泉保育園**

【劇を通しての環境教育】

・月ごとにテーマを決め、もったいないばあさんが登場する劇を通して、物を大切にすることや  
ゴミの分別、リサイクルについて考える機会を  
作り、園児への関心や理解を深めている。



(「物を大切にする」をテーマにした劇の風景)

【野菜作り】

・年間を通して様々な種類の野菜を栽培し、草むしりや水やりを日常的に行い、野菜作り  
の大変さを体験することにより、自然の恵に感謝する気持ちを持ち、自然に対する思い  
やりの心を育てている。

## 黒坂保育園

住所：宮崎市清武町木原6322番地1

電話番号：0985-85-1380

### 【リサイクルハガキづくり】

・給食で飲んだ牛乳の空パックを利用してハガキ作りを行った。

ハガキができるまでの工程を、興味をもって取り組むことができた。

出来上がったハガキは、祖父母やお友達にお便りや絵を描いて、ポストに投函した。



( 作成したハガキをポストに投函 )

### 【花や野菜の栽培】

・花の栽培（ひまわり、あさがお、コスモスの種まき）野菜づくり、トマト、きゅうり、ピーマン、スイカ、サツマイモなどを栽培して成長を観察した。

野菜は給食で調理してもらい、食への関心がもてた。

## 船引保育園

住所：宮崎市清武町船引6599-1

電話番号：0985-85-1612

### 【花や野菜の栽培】

・花だん作り（チューリップ、ヒマワリ、アサガオ）  
・野菜作り（トマト、茄子、ピーマン、ジャガイモ）  
収穫した夏野菜でカレー作りを行った。  
田植えや稲刈りをして収穫したもち米で、もちつきをしたり、ねりくりを作ったりした。



( カレーづくりの風景 )

### 【ごみの分別の徹底】

保育室には、燃えるごみと資源ごみのごみ箱を設置し、子ども達と一緒にごみ分別を行っている。

### 【広告紙を使ったエコ遊び】

家庭から持ちよった広告紙を集め、自由時間にはお絵描きや折り紙として再利用している。

### 【読み聞かせの時間】

子ども達の大好きな、絵本や紙芝居を通して資源の大切さを伝えている。

### 【リサイクルでツリー作り】

おやつの時間にでた牛乳パックを洗い、松ぼっくりと組み合わせてクリスマスツリー製作をした。

## 南加納保育園

住所：宮崎市清武町加納甲1520-50

電話番号：0985-85-2088

### 【卒園証書作り】

- ・給食やおやつで飲んだ牛乳パックを園児が細かくちぎり、ミキサーにかけて、紙すきをして自分の卒園証書を作った。



( 卒園証書作りの様子 )

### 【清掃活動、ごみの分別】

- ・毎月1日を清掃活動の日とし、園庭内や園周辺のゴミを拾い、集めたゴミの分別を園児と一緒にやる。

### 【花や野菜作り】

- ・花の栽培、野菜づくりを行い、成長過程の観察を行う。

夏野菜（じゃが芋、人参、トマト、ピーマン、キュウリ）は、夏まつりで年長児がカレー作りの材料にした。冬野菜の大根は日頃からお世話になっているご近所に配ると、とても喜ばれた。その他の野菜（サツマイモ、ブロッコリー等）は、園児と収穫を楽しみ、給食で食べて食育へとつなげていった。

### 【腐葉土作り】

- ・園庭の枯れ葉や落ち葉を園児と一緒に集め、米ぬかを加えて発酵させて腐葉土を作っている。それを畑にまいて、土作りをする予定である。

## 清武中央保育園

住所：宮崎市清武町正手1丁目10-1

電話番号：0985-85-0079

### 【親子エコ作品づくり】

家庭から持ちよった廃材（菓子箱、発泡スチロール等）を使い、親子でアイデアを出し合い製作活動を楽しむ。話し合いながら、ひとつの物を一緒に作りあげる喜びを味わうことができた。



(牛乳パックのミニコンポスト作り)

### 【派遣アドバイザーによるエコ教育の実施】

環境保全アドバイザーによる紙芝居、お話しで、身近なエネルギーの節約のこと、地球にやさしいことは？等に関心をもつことができた。

### 【カレー作りをする】

カレー作りに必要な野菜づくりから体験し（種まき、草取り、収穫）、調理を楽しみ、皆で感謝しながらいただく。

又、調理の過程で出た野菜くずは、牛乳パックのミニコンポストを作り、畑の肥料として土にかえすことを体験した。

## 慈愛保育園

住所：宮崎市田野町乙9547-35

電話番号：0985-55-7050

### 【野菜作りと果物の収穫】

#### イチゴ狩り

いちごの収穫を体験し、自然の素晴らしさを味わうと共に、育てることの大切さを知らせ、おやつとして食した。

#### じゃが芋掘り

知人の農家の畑でじゃが芋を掘り、給食でカレーライスを作って味わう。

#### ゴーヤ（窓辺に植えた）

つるを伸ばして日よけにし、成長して様子を観察させた。

#### ミニトマトの栽培成長

成長過程を観察させたり、興味を持たせるようにした。

収穫し、給食で食した。

#### ブドウ狩り、カキ狩り

園庭で成長を観察した。おやつとして食した。

### 【リサイクル玩具作り】

・牛乳パック、プリン容器、ストロー等を用いた水遊び用の玩具作りをした。

### 【衣装作り】

・ビニール袋、紙テープ、使用後のリボン等を用いて、発表会用の衣装を作った。

### 【節電、節水】

・電気はこまめに消すように職員で、又園児たちで互いに呼びかけ、心がけた。

・水を大切にし、流しっぱなしに十分気を付けた。

### 【エコ宣言】

・各クラスにエコ宣言のはり紙をし、日々エコ活動に努めた。

（慈愛保育園のエコ宣言）

地球を守るためにわたしたちができる事

電気、テレビをつけっぱなしにしません。

水を出しっぱなしにしません。

物を大切に、再利用を心がけます。

動物、植物を愛し環境美化を心がけます。

ごみの分別を守り、ごみを減らすように心がけます。

「もったいない」の気持ちで地球にやさしい暮らしを心がけます。



（イチゴ狩り）



（ミニトマトの栽培）

## 梅北保育園

住所：都城市梅北町梅北4699-1

電話番号：0986-39-2869

### 【布ぞうり作り】

・古着を利用して子どもと一緒に作る。

・履いて散歩や運動会で使用した。

### 【御堂作り】

・牛：新聞紙、牛乳パックなど

・豚：卵パック、プリンカップなどを使って作る。

### 【運動遊具作り】

・ペットボトルのジャングルジム、ハードル、

牛乳パックの踏み台

・ダンボールのトンネル、跳び箱、風船マットなど

### 【楽器づくり】

・太鼓：ミルク缶

・シンバル：ミルク缶のフタ

・弦楽器：白トレイ

・鈴：古靴下

・マラカス：ラップの芯、卵パック

・ギロ：ペットボトル、牛乳パック

以上を利用して異年齢児交流しながら合奏をした。

### 【エコバック】

・新聞紙でエコバックを作る：お店屋さんごっこで使用する。

### 【米のとぎ汁、雨水の利用】

・園菜園に利用、子どもと一緒に水かけをする。野菜（大根、小松菜、二十日大根、ブロッコリーなど）



（御堂：牛と豚）

牛さんありがとう、豚さんありがとう



（布ぞうり）

## 宮丸保育園

住所：都城市宮丸町2856-1

電話番号：0986-27-1541

### 【花や野菜の栽培】

ゴミ処理機を使って、残菜から肥料づくりをする。ゴミから作られた肥料と木の葉での堆肥を混ぜて、土づくりを行った。できた土を利用して、花を植えたり、野菜の栽培を行った。年長児を中心に苗を植え、水をやりながら成長過程を観察した。野菜やさつまいもは収穫してクッキングに利用している。また、雨水タンクに溜まった水で苗や園庭の水まきに利用している。



【お泊まり保育で堤防ゴミ拾い】

### 【リサイクルおもちゃづくり】

家庭から持ち寄った廃材を利用して制作活動を楽しんでいる。園でもおやつのカップや牛乳パックなどで手づくりおもちゃをつくり楽しんでいる。



### 【ゴミの分別】

室内にもえる・もえないのゴミの分別ができるようにゴミ箱を2つ置き、子ども達にも意識づけをしている。年長児はお泊まり保育のときに堤防のゴミ拾いをし、分別している。【廃材を使って車づくり】また、紙芝居や絵本などを利用して、エコ活動への意識が高められるように心がけている。

園庭に木がたくさんあるので、夏のあそびは木陰を利用して涼しいところで遊んでいる。

## 天竜第二幼稚園

住所：都城市南鷹尾町16-15

電話番号：0986-23-7503

### 【親子クリーン大作戦】

全園児親子が幼稚園周辺を歩きながら、ゴミ拾いをする。そして園に戻って、ゴミの分別作業を園児と一緒にする。



( 親子クリーン大作戦 )

### 【ゴミの分別】

全園児が可燃ゴミ、不燃ゴミ、資源ゴミと分別している。各クラスに表示してゴミ箱も分けている。

### 【資源ゴミ回収】

新聞紙、広告紙、雑誌、空き缶、牛乳パック、段ボールを月に2回、回収日を決めて、家庭よりもってきてもらう。集まったら、回収場所に年長が運ぶ。市のリサイクル事業に申請し、その回収量に応じて奨励金をいただけるので、子どもたちに還元している。

### 【年長組花植え】

年長組が家庭よりもってきた鉢にチューリップを植えて、卒業式の会場に飾るのを目標に育てる。

## 早鈴保育園

住所：都城市早鈴町1864番地2

電話番号：0986-24-3699

### 【花の栽培】

あさがお、ポーチュラカ、チューリップ、ビオラなど季節の花をプランターや花壇に植えています。水やりや成長過程の観察をします。

### 【野菜づくり】

ミニ菜園でえんどう豆、ミニトマト、ブロッコリーを栽培しています。水やりや成長過程の観察をします。

### 【クッキング】

ホットドッグ、ミルフィーユ、カレー作りなどをしました。自分たちで作ることにより食への関心が深まり、日頃の給食でも残菜が少なくなり、食べ物を大切にする気持ちを学んでいるように思います。

### 【リサイクル活動】

- ・牛乳パックやトレイ、古いカレンダー、お菓子の空き箱などを使って制作をしています。  
(お店屋さんごっこ、鬼のお面・豆入れ、おひなさまなど)
- ・父母の会総会で保護者に空き缶、ダンボール、牛乳パック、新聞紙の回収などリサイクル活動への協力を呼びかけています。



(ホットドッグ作りの様子)

## 志比田保育園

住所：都城市志比田町5779番地2

電話番号：0986-23-2803

### 【エコキャップを使った作品づくり】

・今年度は、各家庭から集めたペットボトルのキャップや、使用済みの割り箸等を利用して園児と一緒に地域に出展する作品(わたしたちの保育園 模造紙6枚分)をつくりました。活動を通して、子ども達にも、キャップを回収している意味(海外の子どものワクチンへとつなげる)を再確認することが出来、また、保護者や地域の方々にも、作品を通してそのような活動がある事を広く知らせる事が出来ました。これからも、運動会の競技や作品を通して、子ども達だけではなく保護者や地域の方々にも、子どもと一緒に出来るエコ活動を伝えていこうと考えています。



(出展作品 わたしたちの保育園)



## にし幼稚園

住所：都城市南横市町4003-2

電話番号：0986-25-3344

### 【ゴミの分別、リサイクル】

- ・燃えるゴミと燃えないゴミを分別するゴミ箱を設け、子どもたち自身にもゴミの分別の必要性を促す。
- ・ダンボール・雑誌・缶などのリサイクルへの意識を高めるよう、子どもたちには絵本などで、保護者向けにはおたよりなどで知らせる。



(泳ぐメダカをのぞき込む子どもたち)

### 【空き容器の利用(制作)】

制作などで、牛乳パックや新聞紙などを利用したり、広告や不要になった紙の裏を使って、絵を描いたりする。

### 【発泡スチロール箱によるメダカの飼育】

発泡スチロール箱でメダカを飼育し、浮草を栽培する。

## 都原保育園

住所：都城市都原町11番地5

電話番号：0986-22-4323

### 【みんなのおうちでの活動】

都原保育園では、古い民家を利用して、様々な活動をしています。

エコ・・・とは、生活であります。日々の暮らしの中で育まれていく感性を大事にすることは、生涯にわたる生きる力につながると考えます。

新しいものだけが大切にされる時代だからこそ、懐かしい環境に身をおき、子どもたちの興味や関心、自主性が育つ過程を大切にしています。



(みんなのおうちでもちつき(学童))

活動内容・・・もちつき・バザー・みずあそび・基地作り・廃材遊び・木育  
バーベキュー・おとまりおうち・学童保育 職員研修 等々

保育園から500mのところであり、お散歩がてら、こどもたちがやってきます。

## 一万城幼稚園

住所：都城市一万城町112-3

電話番号：0986-22-5739

### 【花・野菜の栽培活動】

ミニトマト、白菜、ナス、人参、大根、さつまいも  
じゃがいも等の栽培をし、成長過程を観察、収穫、  
クッキングを行う。

### 【節水・節電】

歯みがき、手洗い、うがいで水道の水を出しっ放  
しにしない。エアコンの室内温度の適温。電気の  
スイッチをこまめに切る等と呼びかけ。子どもと  
一緒に行っている。



(エコカップをカートにのせてイオンへもっていった風景)

【ゴミの分別、清掃活動】散歩しながらごみ拾いをし、分別する。

【製作活動】廃品（リサイクル）教材を使って製作活動をし、おみせやさんごっこにつなげる。

### 【エコカップ収集活動】

エコカップ収集活動で集まったカップをイオンへ持っていき、子どものワクチンへとつなげる。

### 【「エコの日」を設ける】

“エコの日はエコライダー”を合言葉に、自分たちにできる“エコ”について考えたり、話し  
合っている。

## 天竜保育園

住所：都城市早鈴町6-11

電話番号：0986-23-1301

### 【野菜、花の栽培】

- ・野菜づくり（ミニトマト、ピーマン、大根、なす  
人参など）  
さつまいもの栽培をし、成長過程を観察する。  
収穫した野菜を使って、クッキングを行う。
- ・花の栽培（朝顔、ひまわり、チューリップ、ヒヤ  
シンス）も野菜同様、観察する。



(落ち葉に米ぬかを混ぜている所)

### 【腐葉土作り】

- ・落ち葉を利用して初めて腐葉土作りに取り組んで  
いる。米ぬかを混ぜ、発酵する臭いや葉の色の変  
化を観察している。今後、野菜づくりに活用していきたい。

### 【エコ活動】

- ・月一回「エコ活動の日」を設けて、リサイクルや節水、節電、牛乳パックの回収など、  
自分たちでできるエコについて話し合ったりする。
- ・牛乳パック、お菓子の空き箱などを製作や行事などにリようする。

## コミュニティスポーツ スクール幼稚園・保育園

住所：都城市妻ヶ丘町3-12

電話番号：0986-25-7200

**当園の目標〔身近に出来る事を身につけよう〕**

### 【リサイクル品を使用した製作】

子どもたちの製作(プレゼントも含めて)は常日頃からリサイクル品(ペットボトル、牛乳パック、ティッシュの空箱他)を使用し、子どもたちの発想力を育てる。同時に何でも簡単に捨てない事を伝える。



( トレーとペットボトルキャップのリサイクル )

### 【ゴミの分別、清掃活動】

園内のゴミ箱を燃えるもの/燃えないものに分別。公共の場を訪れた後は必ずゴミ拾いをして帰る。

### 【トレーの回収/ペットボトルキャップの回収】

園内にトレー回収・ペットボトルキャップ回収のBOXを設け、各家庭から出たそれらを回収し、リサイクル業者へ持って行く。

### 【野菜の栽培】

季節に応じた野菜(ミニトマト、ゴーヤ、ピーマン、サツマイモ)を育て、成長過程を観察する。野菜は収穫後、食育を兼ねて調理し食す。ゴーヤはエコカーテンにする。

### 【リサイクル工場の見学】

親子遠足でリサイクル工場を訪れ、家庭全体でリサイクルへの興味・関心・知識を深める。

## 善長寺保育園

住所：都城市高崎町江平1523番地

電話番号：0986-62-2125

### 4Rについての学習 (リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)

#### 【紙芝居】

環境問題について学び、4Rについて考え、日々の生活につなげていく。

#### 【リサイクル工作】

ストックしている廃材で、「パクパク小ぎつね」他、工作作品を作る。

#### 【4R歌】

4Rの歌を作り、年少・年中・年長児で練習する。(おゆうぎ会での4Rについての発表風景)



#### 【おゆうぎ会での学習発表】 - 家庭や地域に情報発信 -

- ・4Rの歌合唱と4Rの説明
- ・紙芝居と園での取り組みの発表
- ・キャップ・プルタブ・古切手収集のお礼とそれらがポリオワクチンや車イスになって人の役に立つということの解説。
- ・リサイクル工作「パクパク小ぎつね」を動かしながら、「こぎつねこんこん」合唱。

#### 【施設見学】

4Rの学習のまとめとして「都城市リサイクルセンター」にて見学と体験学習をする(2月予定)。

## こぼと保育園

住所：三股町大字蓼池 2 3 1 3 - 1

電話番号：0 9 8 6 - 5 2 - 1 0 9 7

### 【リサイクル活動】

いろんな廃材を利用しておもちゃを作りお店屋さんごっこや誕生児のプレゼント又室内装飾にも(ふうりん)

### 【野菜づくり】

ナス、ミニトマト、レタス、きゅうり、ピーマン、さつまいも、玉ねぎ等を栽培し、生育過程を観察、収穫。そして給食やクッキング保育に利用。

### 【節水・節電、ごみの分別】

日ごろの保育の中で常に心がけ指導している。

### 【エコ学習】

- ・環境保全アドバイザーによるエコ学習や、月 2 回のエコの日を利用しエコに関心を持たせている。
- ・もったいないソングに保育園独自の振り付けをしエコダンスとして朝の体操に取り入れたり、エコ宣言を朝の挨拶後皆で大きな声で言いエコへの意識を持たせている。

【ペットボトルのキャップ集め】年長児が代表でイオンへ持っていき、感謝状を直接貰っている。



## みまた幼稚園

住所：三股町大字樺山 3 3 1 8 - 2

電話番号：0 9 8 6 - 5 2 - 1 2 2 3

### 【腐葉土を作ったの野菜作り】

- ・幼稚園のまわりに落ちていた葉っぱを拾ってあつめ腐葉土を作りました。
- 腐葉土は野菜やお花の栄養になることを伝え、一緒にまぜたり様子を見ていきました。
- できた腐葉土を使って野菜やお花作りに使いました。

### 【できた野菜を使ってクッキング】

- ・幼稚園の畑でできた冬野菜（白菜・大根）を使って年長さんがクッキングでぶた汁を作ってくれました。
- 腐葉土の栄養をもらって大きく育ったことを喜び、私達はその命をもらって食べて生きていることを伝えていきました。
- 小さい組のお友達にもごちそうしてみんなでおいしく食べました。



### 【廃品教材を使って品物を作り、お店屋さんごっこ】

- ・年長組を中心に廃品教材を使っていろんな品物を作って、お店屋さんを開いてくれます。
- 小さい組のお友達は、お金やバックを作って買い物に行き、お店屋さんごっこをして遊びます。

### 【エコの日を設けました。】

- ・月に 1 回「エコの日」を設けました。この日は全体で集まって自分達にできるエコについて話をしたり、エコライダーになって踊ったりします。(エコを意識づけています。)

【リサイクルおもちゃ作り】

- ・空き箱を使っの個人の道具箱作成
- ・トイレットペーパーを使っの鉄砲づくり
- ・プリン容器を使っの風鈴づくりなど色々な製作活動をしています。今回は、牛乳パックであやつり人形「ぱくぱく君」を作り、おしゃべりごっこをしました。



( 廃材を使っの製作風景 )

【ペットボトルキャップの回収】

- ・保護者にも呼び掛け、ペットボトルのキャップを回収しています。子ども達のワクチンになることも資料を通じて学びました。

【野菜の栽培・収穫・命に感謝】

- ・野菜作り(トマト・きゅうり・ピーマン・レタス・大根・たまねぎ etc)をしています。成長過程を観察したり、草取りをしたり、収穫した野菜は、給食で使ったり、3歳以上児でクッキングを楽しんだりしています。

【ごみの分別】

- ・給食やおやつで出るゴミなど分別しています。文字の読めない小さいクラスは、ゴミ箱に絵を描いています。アンパンマンが燃えるゴミ、バイキンマンが燃えないゴミ用です。

あがた幼稚園

～ 菜の花プロジェクト ～

【菜種まき・菜の花あそび】 幼稚園の隣にある菜園に、秋に菜種をまきます。背丈を少しずつ伸ばし寒い冬を越え、春には綺麗な花を咲かせます。園児はその成長を観察し、満開の時期は「菜の花の迷路」で遊んだり、花に寄ってくる昆虫を観察したり、花畑でお弁当を食べたりして春を満喫します。素敵な自然体験です。



(とうみを回し、実と殻を分けます)

【菜種取り】 菜の花の時期が過ぎ、菜種が出来ると保護者にも呼びかけて、菜種取りします。昔の農機具、「めぐりぼう」や「とうみ」を使い、菜種と殻を分別します。毎年、数十キロもの菜種が収穫できます。その後工場で、菜種から菜種油を搾り取ってもらいます。2ℓのボトルに7～8本もの純粋な菜種油ができます。

【園の調理で活用】 出来上がった油はランチで使用します。同じく菜園で収穫した、サツマイモで大学芋や、じゃがいもでポテトチップスを作ります。調理室から漂ってくる薫り高い菜種油の香りに子どもたちは関心を示し、手間暇をかけて出来た物であることを実感します。

【焼き芋づくりで大地へ返す】 菜種を取った後の茎や枝は乾燥させ、秋に焼き芋作りの時の焼き物としてまた使用します。大地からの収穫物は再び大地にもどり、自然からの産物はひとつのサイクルを描いて私たちの生活に生かされているということが身をもって体験できます。

## 浄念寺学園

住所：日南市今町2-8-39

電話番号：0987-25-1864

### 【一人一鉢 花を育てよう】

一学期はアサガオの成育、二・三学期はパンジーを自分で育て、成長の記録を描き綴っていく。

### 【海水浴】

海・空・太陽・砂浜の大自然を、身体いっばいに浴びて夏の自然に親しむ。

### 【園庭の銀杏の葉・どんぐりの実拾い】

葉っぱやどんぐりなどで、遊び歌や折り紙、絵など活動が豊かに展開される。

### 【みかん狩り】

秋の山の大自然に触れみかん狩りを楽しむ。

### 【もちつき】

子どもたちとお餅をついたり丸めたりして食べる。父母・祖父母たちの協力で、三世代のつながり、親睦の大切さを体験する。

### 【ゴミの分別】

給食時のパンの袋や牛乳パック、ストローなどのゴミの分別や少量化は年長さんの役割。

### 【ツバメの巣22コ】

H22年9月に南の島に帰ったはずのツバメが、12月の初旬には園に帰ってきた。これも地球の温暖化で自然のようすが狂ってきたものによるものかと話し合う。

### 【ひなまつり・つくし取り・子どもの日・七夕・花まつり・盆おどり・キャンプ・十五夜のお月見・凧上げ等々】

日本古来の行事に触れる。



(一人一鉢、花を育てている様子)

## みなと保育園

住所：日南市南郷町西町3-4

電話番号：0987-64-3780

### 【リサイクルおもちゃ・楽器作り】

- ・段ボール、牛乳パック、プリンカップ、チラシなどを使用し、おもちゃ、製作などをした。
- ・プリンカップ、ペットボトルなどの中にどんぐりを入れ、マラカス風に飾りも付けて楽器を製作した。夏祭りで歌いながら、演奏した。

### 【清掃】

一日の終わりの清掃で、ごみがくっついて飛ばないように、濡れた新聞紙をちぎって部屋に撒き、清掃する。濡れた新聞紙でガラス窓を拭く。

### 【花や野菜の栽培】

年間通して、季節の花や野菜を栽培している。収穫した野菜は給食で頂いている。枯れたり、収穫した野菜の残りは畑に蒔いて肥料にしている。植木の枯れ葉も集めて畑に蒔いて肥料にしている。

### 【外部講師を招いたエコ教育】

年に2回ほど、講師を招きネイチャーゲームを実施している。園庭や公園で、鳥や虫や植物などを題材に、五感を研ぎ澄まして、自然に親しむ。

### 【節電・節水】

- ・電気の付けっぱなしはしないように呼びかけて実践している。
- ・水道で手を洗うときは、石けんを泡立てている間は水道を止めるように呼びかけて実践している。



(チラシを使用しての御神輿作り風景)

## 東方保育園

住所：小林市東方3232番地3

電話番号：0984-22-3761

### 【地域の探検と植樹・ゴミひろい】

自然と文化遺産に恵まれた近隣地域を探検します。年4回片道1時間前後のコースから年度末には往復半日以上の道程を歩きます。植樹、清掃、帰り道でのゴミ拾いを行います。

### 【近隣の森への散歩】

近場の森に自然お恵みを蒐集に出かけます。手作りバック持参です。いろいろな木の実等を集めて、遊びの素材とします。



(毎年かくれ念仏洞を訪ね、植樹します。)

### 【野菜・お米の栽培】

農家の方の畑を借りています。野菜の栽培をします。ナス、ピーマン、スイカ、トマト、さつまいもそして水菜、ほうれん草などを栽培し、収穫、クッキングをします。田植え、稲刈りも経験します。好き嫌いをなくし、有難う、いただきますの感謝の気持ちを育みます。

### 【プールの水を有効活用】

プールの水交換のとき花木への水遣り、散水利用等、土曜日の午前中の自由時間、みんなで環境整備を行います。

## 細野保育園

住所：小林市細野4351-2

電話番号：0984-22-3576

### 【環境教育の発表】

市のパンフレットや絵本でゴミの分別やリサイクルのしくみを調べ、自分達にできることをあげ、節電、節水、紙の有効利用など日常的に行っている。この取り組みを絵に描いて、生活発表会で発表し、家庭でも意識をもってもらおうようにした。その結果、家でも電気をこまめに消したり、親と一緒にゴミの分別をしている、等の声が聞かれた。



(生活発表会での発表風景)

### 【野菜の栽培】

生ゴミ処理機で出来た堆肥を利用して畑づくりをし、さつまいもや四季折々の野菜を育て、成長過程を観察する。収穫したさつまいもや野菜は、焼き芋会やクッキングに利用したり、給食室で調理してもらった。

## 小林市立紙屋保育園

住所：小林市野尻町紙屋2190-2

電話番号：0984-46-0122

### 【野菜の栽培】

- ・野菜の栽培(大根・人参・チンゲンサイ・小松菜・えんどう・トマト・なす・ピーマン)、草取りや観察し、クッキングで使ったり、お店やごっこで利用している。
- ・SAPや地域老人、保護者に教えてもらい、栽培、草取り、収穫し、おやつで食べたり、もちつき大会で豚汁やねたくり(いももち)を作って食べる。芋のつるは、うさぎのえさにする。



( お店やさんごっこの風景 )

### 【牛乳パック・廃品の再利用】

- ・はがき作りをする。(生活学校や地域老人と一緒に。)
- ・お店やさんごっこの品物(帽子・ブーメラン・コースター・えんぴつ立て・バッグ等)や、プレゼント、節分など豆入れ、花瓶として使う。
- ・楽器づくりをする。0歳児が飲んだミルク缶や洗濯用洗剤のスプーンを使って、太鼓やマラカスをつくり、音を出して遊ぶことを楽しみ、発表会で手作り楽器の演奏を披露する。

## 北方保育所

住所：串間市大字北方3539

電話番号：0987-72-0400

### 【エコ肥料を使い、花や野菜の栽培】

- ・市内のエコセンターより、園で出た生ゴミの回収をされ、それでできたエコ肥料を使い、花や野菜、又綿を育てる。
- できたものを給食で使い、食べたり、綿を栽培し、収穫し、クリスマスリースに使用する。



( 祖父母参観での花植え風景 )

### 【節電・節水】

- ・電気はこまめに消し、夏の水あそびに使用した水をみんなで栽培している花や野菜、綿にかける。



## 【ペットボトルのキャップ集め】

- ・保護者へ呼びかけエコの意識を持ってもらうと共に、海外の子どものワクチンへつなげる。

## 【野菜を植え育てる】

- ・ピーマン、ししとう、玉ねぎなどの季節の野菜をエコ肥料を使って栽培する。
- ・ペットボトルのジョーロで水やりをする。
- ・収穫した野菜は給食に取り入れたり、保護者にも提供していく。



( 牛乳パックを使ったはがき作り )

## 【リサイクル製作】

- ・牛乳パックを使っての年賀状作り、筆箱作り。
- ・新聞紙を使ったクリスマスブーツや栽培した綿を使ったリース作り。

## 【ごみの分別】

- ・分別の仕方やリサイクルの仕組みなどを絵本を通して学ぶ。

## 【節水】

- ・プールの水を野菜にかけて節水する。

## (2) 実践活動紹介(こどもエコクラブ)

No.	クラブ名	クラブ員数	リーダー数	実施内容				
				実施日	実施場所	参加者数	スタッフ数	実施した内容
1	潮っ子ウミガメ隊 (日南市)	25名	2名	5~10月	海岸の清掃	10名	2名	自分達の家の近くの海岸の清掃を行う。
				5~10月	住んでいるところの海岸	50名	2名	ウミガメの保護活動
				3月	宮崎市宮交シティ	20名	2名	自分達が学んだことの発表。 エコアンケートの実施。
2 ~ 4	木っ子エコクラブ (都城市)	60名	5名	H21.5.22	清掃工場	20名	4名	都城市清掃工場の見学
				H21.6.17	浄水場、清流館	20名	4名	浄水場、清流館で水についての学習
				H21.7.8	木之川内川	20名	5名	木之川内川の水質調査(CODパックテスト等)
				H21.9	木之川内小学校	20名	4名	地球温暖化についての学習(環境業務課)
				H22.10	木之川内小学校	60名	1名	地球温暖化防止の内容(NPO法人ひまじん)
				H22.12	本校運動場	60名	1名	木の幹の周囲を回り、学校の樹木が1年間に吸収するCO <sub>2</sub> の量を調べる。
5	イオン都城チアーズ クラブ (都城市)	16名	2名	H22.8.29		12名		クラブ発足式・24H TV 募金活動
				H22.9.25		6名		川の生物調査
				H22.10.16		8名		サシバ(渡り鳥)の観察
				H22.12.4		5名		都城の野鳥観察
				H23.1.22		8名		壁新聞作り
6	自然楽校未来船 地球大好きクラブ (宮崎市)	50名	50名	各土日	夏:太平洋(木崎浜、 青島、いるか岬等) 冬:山(双石山、斟鉢山、 花切山など)			<ul style="list-style-type: none"> <li>・海辺の生き物、山登りから学びましょう。</li> <li>・アカウミガメの保護活動</li> <li>・クサフグ観察・ホタル観察</li> <li>・みな取り、サーフィン授業</li> <li>・地球さん、自然さんに好かれる活動をしましょう。</li> </ul>
7	梅野保育園エコクラブ (宮崎市)	63名	5名	11回	梅野保育園及び周辺の 道路	600名 (3~5歳児)	55名	ごみを拾う。分別をする。環境について子ども達が自ら気付くように援助する。絵本を読む。
				H22.1.28	エコクリーンプラザ見学	22名 (年長児)	2名	ごみの分別や処理の仕方、その後どのようにリサイクルされていくのかを知る。リサイクル工作をする。
				H22.2.10	大淀川学習館見学	22名 (年長児)	2名	川の仕組みを知る。川に生息する生き物に興味を持つ。水を大切にする。

No.	クラブ名	クラブ員数	サポーター数	実施内容				
				実施日	実施場所	参加者数	スタッフ数	実施した内容
7	梅野保育園エコクラブ (宮崎市)	63名	5名	6回	梅野保育園	361名	35名	<ul style="list-style-type: none"> <li>・野菜の苗を植える。(ミトト、なす、ピーマン、えんどう豆)</li> <li>・牛乳パックの紙すき。うちわの製作</li> <li>・兜を新聞紙で作る</li> <li>・鬼の面を廃材で作る。</li> <li>・クリスマスリースを作る(裏山で拾ったどんぐりなどを使う)</li> <li>・楽器を作る(ペットボトル)</li> </ul>
8	N・Oブラザーズ エコクラブ (宮崎市)	3名	4名					家族でしているクラブなので、定期的に行っているものではありません。自然観察会(体験教室やネイチャーゲーム教室、探鳥会など)や家の回りのゴミ拾いなど、できるときにできることをしているクラブです。
9	そらとうみ (宮崎市)	3名	1名	9月	宮崎歴史資料館	4名		鴨や白サギの観察、池に住む魚や亀の観察
				10/10	牧水公園	5家族		河川の植物・虫の観察、早朝の山歩き
				10/30	西米良村	7名		山間部の山歩き、野生の動物の観察、どんぐり集め
10	鏡洲保育園エコクラブ (宮崎市)	40名	5名	H21.7.8	鏡洲川	20名 (4,5歳児)	4名	河川敷の清掃ゴミ拾い 川の環境調査
				H21秋	園庭・園そばの菜園	20名 (4,5歳児)	3名	園庭の木の葉を集める 堆肥作り
				春・秋	園の花壇・道路の花壇	20名 (4,5歳児)	4名	花苗の植えこみ
				H21.11.19	園庭	40名 (3~5歳児)	5名	もみ殻を焼く 焼き芋作りをする 肥料にする
				H22.2	園テラス	20名 (4,5歳児)	2名	園の畑で収穫した大根で「イカノ手」作り 漬物作り
				H22.2.27	椿山公園	20名 (4,5歳児)	3名	椿山まつり オープニング参加(マーチング演奏) ツバキ油絞り見学
				H22.3	園庭	14名 (年長児)	3名	椎茸の駒打ち 里山の自然を学ぶ
11	平松保育園/くすの きエコクラブ (宮崎市)	11名	11名	随時	園周辺	11名	2名	ゴミ拾い
					保育室内	11名	2名	リサイクル工作
					保育室内	11名	2名	ゴミ分別
12	天ヶ城保育園・児童ク ラブ (宮崎市)	18名	3名	H21年度	学校からの下校	3~10名	1~3名	学校から児童クラブに帰園時、ゴミを拾って来る。 (毎日)
				H22年度	児童クラブで	18名	1~3名	毎週月曜日、プルタブ回収を行っている。 現在も継続中

No.	クラブ名	クラブ員数	リーダー数	実施内容				
				実施日	実施場所	参加者数	スタッフ数	実施した内容
13	青空クラブ (宮崎市)	19名	11名	毎月第2土曜日	花山手地区(団地内)・青柳川	15~20名	4名	ごみ拾い、ゴミの分別、清掃活動
				H22.7.27	宮崎市総合福祉保健センター 2F 調理室	20名	3名	廃油せっけん作り(環境保全)
				H22.8.3	福祉センターや鉄塔	24名	6名	食育(地産地消について)
				H22.5.4	福祉センターや鉄塔	21名	6名	花の植栽
				H22.8.28	花山手東3丁目図書館北側	37名	6名	花の植栽(ブルーベリーの手入れ)
				H22.9.5	青柳川	18名	3名	青柳川を守る会と共同作業(草刈り、ごみ拾い、彼岸花球根植え)
14	宮崎市内海小学校 (宮崎市)	22名	7名	H21.6	内海地区海辺	22名	7名	学校の授業(総合的な学習の時間や生活科)の中で磯そうじを職員も一緒に行った。
				H21.7	内海地区海辺	22名	7名	学校周辺及び浜辺(海岸)の清掃・分別を保護者とともにいった。
				H21.9	内海駅周辺	22名	7名	内海駅及び周辺の清掃を保護者や地域の方々とともにいった。
15	倉岡小学校4年1組 (宮崎市)	27名	1名	H22.12.14	宮崎市立倉岡小学校	27名	1名	牛乳パックを使ったハガキ作り
16	がんばるクラブ (宮崎市)	2名	1名	H22.7	宮崎科学技術館	10~15名	3名	電力会社主催の家電の節約と地球温暖化について学ぶ。
				H22.8	市役所環境保全課	3名	2名	地球温暖化の現状や宮崎市における地球温暖化に対する取り組み等を聞いて考える。
				H22.9	小学校4年教室	36名		上記で学んだ地球温暖化のしくみや影響、市の取り組み等をまとめ、自分の出来る事を発表。
				H22.12.4	西高松地区 上水流公園	50~70名		地区内のゴミ拾い清掃と公園の花の植え替え作業
				H22.12.26	中央公園	60~80名	10~15名	公園のゴミ拾い清掃と植木の剪定作業
				H23.1.16	自宅	3名		空き箱や牛乳パック等でリサイクル工作
17	エコロクラブ (宮崎市)	3名	1名	H22.7~9	自宅ベランダ	3名	1名	稲の育成と、しその栽培。 成長過程の様子の観察と収穫、恵みに感謝。
				H22.6~	自宅台所、ベランダ	2名	1名	米のとぎ汁による食器の洗浄と洗浄後のとぎ水を草木へのかん水に利用。水の大切さを知る。
				H22.10	自宅	3名	1名	古着やチラシなどを利用した人形や工作。 ゴミにする前に利用可能であるという「考えて使う」ことを体験。

No.	クラブ名	クラブ員数	リーダー数	実施内容				
				実施日	実施場所	参加者数	スタッフ数	実施した内容
18	地球ふれあい家族 (高鍋町)	4名	2名	H22.12.8	地区内	3名	2名	子供会主催の空びん、空カン回収(資源物回収)に積極参加し、びんの種類毎、カンの種類毎に分別した。分別は、自ら手本となりやって見せた。
19	ゆりかごこどもエコ クラブ (延岡市)	54名	7名	H21.8.9	延岡市五ヶ瀬川水系 大瀬川河川敷	20名	5名	(リバーフェスタ延岡)～きれいな川とくらそうよ～ ペットボトルボート体験、稚魚放流、ごみ拾い、 川の造形教室、ダンボールボート競争、水質調査
				H22.3.4	延岡市延岡道路 北インター線沿い	15名	5名	(延岡アースデー) 河津桜苗木の肥料やり、草取り、石取り、ゴミ拾い
20	イオン延岡チアーズ クラブ (延岡市)	7名	2名	H21.6.12	ジャスコ延岡店会議室	14名	5名	水について・地球温暖化について環境を考える。
				H21.7.10	ジャスコ延岡店会議室	10名	2名	環境について
				H21.8.29	ジャスコ延岡店正面玄関	9名	1名	24時間「愛は地球を救う」募金活動
				H21.8.29	ジャスコ延岡店会議室	9名	2名	廃油使用のキャンドル作り
21	三川内中学校 (延岡市)	24名	11名	H21.7.4	三川内の道路全域	24名	11名	道路に落ちているゴミ拾いを行った。また、ゴミの分別に関する学習を行い、リサイクル、リデュース、リユースなど3Rが大切であることも学んだ。
				H21.6.10	小川(北川支流)	24名	11名	地区ごとに毎日ホタルの数を調べた。その結果は地区の方々と交えて、ホタル観察会を行い、そこで発表した。参加者は美しいホタルの姿に感動していた。
				H21.11.5	小丸川発電所(発電所見学)	24名	11名	発電所見学によって、宮崎の電力事情を学んだ。
				H21.11.17	三川内中学校 (エネルギー環境教育)	24名	11名	また、その他のエネルギーについてインターネットで調べ、学習を行い、発表会を行った。
22	学校法人五ヶ瀬学園 えほんの森幼稚園 (延岡市)	70名	9名	H21.5.25	リバーパル五ヶ瀬	28名	4名	「どしゃぶりハウス」にて水の大切さを学ぶ
				H21.6.17		30名	4名	
				H21.7.8	五ヶ瀬学園えほんの森 幼稚園	70名	9名	ごみの分別について講師を招き、実際に分別してみた (環境学習会)
				H21.9.2	延岡市清掃工場	28名	2名	延岡市清掃工場の見学
23	東海エコクラブ (延岡市)	22名	1名	H21.8	東海小学校教室	22名	1名	「地球教室(基礎編)(応用・研究編)」を見る
				H21.8		22名	1名	環境カードを使って遊ぶ

## 5 教材・施設・講座等の紹介



## (2) 環境学習施設一覧

平成 23 年 3 月現在

施設名	住所	電話番号 F A X	見学内容	見学可能日	見学可能 時間帯
エコクリーンプラザ みやざき	宮崎市大字大瀬町 字倉谷 6176 - 1	TEL:0985-30-6511 FAX:0985-30-6616	環境学習施設「エコタウン」及び焼却施設、リサイクルプラザ、最終処分場の見学	火曜日～土曜日 (年末年始を除く)	9:00～16:00
都城市リサイクルプラザ さいせい館	都城市下水流町 4028 - 11	TEL:0986-36-3900 FAX:0986-36-3911	「リサイクルデータボックス」などのさいせい館啓発設備と処理棟見学	定休日(毎週火曜日・第3日曜日)以外の日	9:30～12:00 13:00～16:30
延岡市リサイクルプラザ ゲン丸館	延岡市長浜町 3 - 1954 - 3	TEL:0982-33-0530 FAX:0982-33-0531	びん・缶・古紙の選別・圧縮梱包処理工程	月曜日～金曜日 (祝祭日除く)	9:00～12:00 13:00～16:00
黒潮環境センター	日南市南郷町 榎原甲 871	TEL:0987-68-1560 FAX:0987-68-1561	リサイクル工場及び体験工房	月曜日～金曜日 (祝祭日除く)	8:30～12:00 13:00～16:30
西都児湯 クリーンセンター	西都市大字 南方 6548 - 1	TEL:0983-41-1761 FAX:0983-41-1762	リサイクル施設、中継施設・最終処分場・プラザ施設(家具・自転車再生品等)見学、リサイクルDVD鑑賞、各施設紹介(要予約)	火曜日～金曜日 (年末年始、祝祭日を除く)	9:00～12:00 13:30～15:30
ひゅうが リサイクルセンター	日向市竹島町 1 - 86	TEL:0982-55-0055 FAX:0982-55-0210	工場見学専用通路完備。その他自社製品及び再生製品、環境問題に関する資料あり。また、体験型分別指導の実施や周辺地域の方(団体)の活動紹介。	年末年始(12月20日～1月10日)を除く日	8:30～17:00
宮崎県環境情報センター	宮崎市船塚 3丁目 210 - 1 宮崎県立図書館内	TEL:0985-23-0322 FAX:0985-26-4720	環境啓発ポスター、チラシ、リサイクル工芸品、ペットボトル再生品、動植物の写真など(展示物は定期的に変更になります。)	宮崎県立図書館 開館日	9:00～19:00 (日・祝)9:00～17:00
大淀川学習館	宮崎市下北方町 5348 - 1	TEL:0985-20-5685 FAX:0985-22-8481	大淀川の浄水機能や水生生物調査方法のパネル掲示、指標生物の顕微鏡観察。「牛乳パックで年賀はがき作り」を始めとする環境教育の開催。	休館日(毎週月曜日、祝日の翌日、12月29日～1月3日(祝日が金、土に限っては翌日開館))を除く日 夏休み期間中は無休	9:00～16:30 (入館は、閉館の30分前まで)
ひむか里山の森 (環境学習の森)	宮崎市高岡町	TEL:0985-47-8115 FAX:0985-47-8115 (NPO法人ひむか里山自然塾)	昆虫の森、エコクッキングの森、環境学習の森、クラフトの森を見学できます。	年中見学可能	9:00～17:00

詳細は各施設にお問合せください。

こちらからも環境学習施設の詳細がご覧いただけます( [http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/kankyo/junkan/sisetu\\_kengaku/page00096.html](http://www.pref.miyazaki.lg.jp/contents/org/kankyo/junkan/sisetu_kengaku/page00096.html) )



(3) 環境保全団体一覧 (環境学習を開催できる団体です。)

番号	団体名称	代表者氏名	活動内容	郵便番号	住所	電話番号	FAX番号	メールアドレス	ホームページ
1	NPO法人五ヶ瀬自然学校	杉田 英治	五ヶ瀬を拠点に自然体験による環境教育等	882-1201	西臼杵郡五ヶ瀬町大字鞍岡2840	0982-73-6366	0982-73-6366	gns@gokase.org	http://www.gokase.org
2	NPO法人五ヶ瀬川流域ネットワーク	土井 裕子	河川浄化活動	882-0023	延岡市牧町河口付近埋立地内 資料館「リバーパル五ヶ瀬川」	0982-42-3005	0982-42-3005	info@gokasegawa.com	http://www.gokasegawa.com
3	延岡アースデイ実行委員会	田中 公宣	間伐、植樹、清繕、不法投棄撤去など環境教育活動	882-0005	延岡市			nobe.earth@gmail.com	
4	NPO法人 子どもの森	横山 謙一	環境教育・環境保全・自然体験・森の図書館(森の学舎)を拠点とした活動	880-0624	東臼杵郡門川町城ヶ丘2-2	0982-95-7800	0982-95-7800	office09@kodomonomori.info	http://www.kodomonomori.info
5	日向市ふるさとの自然を守る会	甲斐 政夫	森づくり活動、自然観察会	883-0021	日向市財光寺5384-12 大野 裕方	0982-53-0927	0982-53-0927		
6	NPO法人エコライフ・西都	小浦 紀男	・西都原及び西都市内各地域での菜の花畑を維持拡大 ・純粋な菜種油の提供 ・EM菌を活用した水環境の浄化 ・自然を守る「里山づくり」の支援事業 ・資源環境リサイクルに係る広報啓発事業 ・減農薬および有機農産物に係る事業	881-0005	西都市大字三宅2725	090-8668-3036	0983-42-4021 (事務局)	goto.tetsuya@cameo.plala.ne.jp	
7	ロキシーヒル	圖師 哲雄	環境教育(森づくり)	881-0101	西都市大字三納10372のイ	0983-45-1541	0983-45-1541		
8	フェニックス宮崎ネイチャーゲームの会	古田 栄子	幼児から高齢者まで、人と自然をつなぐネイチャーゲーム普及活動・自然体験活動・環境教育	889-1406	児湯郡新富町大字新田17098-11	0983-35-1478	0983-35-1478	eiko0911@mnet.ne.jp	
9	NPO法人大淀川流域ネットワーク	杉尾 哲	全国一斉水質調査の参加 川の初級者指導者養成講習会の開催 大淀「川」のワークショップの開催他	880-0841	宮崎市鶴島2-9-6NPOハウス406号	0985-20-2377	0985-20-2377	ooyodogawa@ace.ocn.ne.jp	http://www.oyodo-river.org/
10	自然楽校未来船	門川 貴信	・海岸、山、川でのごみ拾い ・山登り保護、海あそび保護、川あそび保護活動 ・アカウミガメの足跡から学びましょう ・コアジサシ、クサフグから学びましょう ・サーフィンしながら海から漁から学びましょう	889-2151	宮崎市大字熊野497	080-4295-2849 070-5691-9332	0985-58-0403	kado08042952849@yahoo.co.jp	
11	水源の森づくりをすすめる市民の会	倉爪 徹	宮崎市近郊での森づくり活動	880-0035	宮崎市下北方町戸林5262-10 前原満之方	0985-28-8852	0985-28-8852		
12	たちばな宮崎ネイチャーゲームの会	猪崎 悦子	ネイチャーゲームを通じた自然体験活動・環境保全活動	880-0006	宮崎市千草町9-7 サンジェローム萩306	0985-27-4140	0985-27-4140	Etsuko.Izaki@mb3.seikyoku.ne.jp	
13	日本野鳥の会 宮崎県支部	前田 幹雄	探鳥会・学習会・調査・研究・環境保全活動	880-0825	宮崎市東大宮1-1-6 児玉 純一方	児玉方 0985-32-7073	0985-26-6696		
14	NPO法人H-imagine	松本 英揮	環境学習・エコキャピタル・都市計画	880-0032	宮崎市霧島4丁目106番地	0985-29-4620	0985-29-4620	eiz@miyazaki-catv.ne.jp	http://www.miyazaki-catv.ne.jp/~e1122m/Himagine/
15	NPO法人ひむかおひさまネットワーク	下津 義博	太陽光発電の普及啓発と省エネの推進 太陽光発電の相談窓口	880-2234	宮崎市大字金崎3114-1 楠見 博方	0985-36-0160	0985-36-0160	himuka_ohisama_jimukyoku@yahoo.co.jp	http://www.himuka-ohisama.net/
16	NPO法人ひむか里山自然塾	岩切 重人	・環境教育指導者養成(プロジェクトワイルドエデュケーター養成) ・環境教育事業(自然体験教室等の開催) ・環境保全に関する調査・研究事業 ・環境教育フィールド提供事業(ひむか里山の森づくり)	880-2105	宮崎市大塚台3丁目40-10	0985-47-8115	0985-47-8115	himusato@zpost.plala.or.jp	http://www15.plala.or.jp/himusato/
17	ひむか菜の花プロジェクト	蒲生 芳子	見る菜の花から食べる菜の花そして未来のエネルギーへ普及啓発	880-0913	宮崎市恒久4丁目4-15 詠田トキ子方	0985-59-2622			
18	南宮崎かがやきネイチャーゲームの会	隅田 賢峰	ネイチャーゲームを通して宮崎の自然を親しむ	880-0941	宮崎市北川内町乱橋3603-1	0985-52-1737	0985-52-1737		
19	NPO法人みやざきエコの会	詠田 トキ子	・環境教育 ・環境保全 ・循環型社会の推進	880-0805	宮崎市恒久4丁目4-15 詠田トキ子方	0985-29-6622	0985-59-2622	office@econokai.com	http://www.econokai.com/
20	宮崎グリーンヘルパーの会	岩倉 尚哉	自然保護活動	880-0925	宮崎市祇園3丁目5番202号	0985-35-3209	0985-35-3211	iwakura@snow.plala.or.jp	http://m--gh.com/
21	宮崎県ネイチャーゲーム協会	猪崎 悦子	ネイチャーゲームリーダー養成講座・フォローアップセミナー・自主学習会	880-0006	宮崎市千草町9-7 サンジェローム萩306	事務局 0983-35-1478	0983-35-1478	eiko0911@mnet.ne.jp	
22	宮崎植物研究会	南谷 忠志	宮崎の野生植物の調査と保護保全	880-0913	宮崎市恒久5-4-7	0985-54-3879	0985-54-3879		http://mz-plants.com/
23	宮崎野生動物研究会	竹下 完	アカウミガメの調査研究 ニホンカモシカの調査研究 野生動物全般の生息分布調査研究 など	880-0825	宮崎市東大宮3-9-11	0985-25-7585	0985-25-7585		http://www.m-yaseiken.org/
24	山崎エコアップ会	富永 啓明	ホタルが飛ぶ森を作るための小川の整備	880-0841	宮崎市吉村町冬治甲850-26 事務局 佐々木 吉弘方	0985-26-0765			
25	宮崎昆虫同好会	永井 歴	昆虫を趣味とする団体 ・年数回の調査会(アサギマダラの移動調査) ・保全活動(タイワンツバメシジミの保護、保全活動) ・県総合博物館と連携した、名前を調べる会の実施 ・会誌「タテハモドキ」、連絡紙「宮昆ニュース」の発行	885-1202	都城市高城町穂満坊350-3 木野田毅方(事務局)	0986-58-5141		athemus@mnet.ne.jp	http://www7b.biglobe.ne.jp/~seseri/
26	えびの高原ボランティアレンジャーの会	石井 久夫	・景観保護及び公園利用に関する思想普及事業 ・自然環境の保全等の調査事業 ・公園事業の維持管理事業 ・自然解説等の公園情報提供事業 ・美化清掃事業その他	885-0055	都城市早鈴町1399-4 事務局 瀧畑 太海方	0984-24-0720		ebin@bes.or.jp	http://www.bes.or.jp/park/ebinow/index.htm
27	NPO法人 どんぐり1000年の森をつくる会	樋口 信義	大淀川流域の伐採された後の山林に「どんぐりの木」を植樹する活動。 どんぐりを拾い、種をまき、苗を育て(2年間)、山に植える。	889-1801	都城市山之口町富吉2985-26	0986-57-5228	0986-57-5228	info@donguri1000nen.jp	http://www.donguri1000nen.jp/
28	都城めだかの学校	中村 定利	めだかの飼育や贈呈を通して、動植物を可愛がること、水の大切さ、環境問題、自然の持つ役割を子供たちに教えている。メダカ池にてメダカの観察、清掃も毎月第2日曜日の9時から行っている。	885-0063	都城市梅北町1617-4 永田勇作方	0986-39-1520	0986-39-1520		
29	環境ボランティアグループ・環の会	河野 幸子	子どもから高齢者までを対象に地球環境・自然環境のよりよいあり方を提案。自然体験施設Camp権代にて森の遊びの基地作り、森づくり、自然発見キャンプ、廃油キャンドル作りと市中心部でのキャンドルナイト実施。	888-0007	串間市大字南方1639	0987-72-3211	0987-72-3211	kawano.yosito@lapis.plala.co.jp	http://kannokai.com/

## (4) 環境学習講座一覧

平成 23 年 3 月現在

環境学習講座名称	環境学習講座の実施団体	環境学習講座の内容	講習時間	実施頻度	受講料	講座受講により取得できる資格等
夏休み期間限定 体験工房 (Aコース)	都城市リサイクルプラザ さいせい館	・紙すき(定員36名) ・サンドブラスト(定員8名) (小学生以上)	・2時間30分 ・3時間	毎週 月曜日 木曜日	無料	なし
夏休み期間限定 体験工房 (Bコース)		・エコポット(定員15名)(小学生以上) ・フュ-ジング(定員4名) (小学生4年生以上、小学生は保護者同伴)	・2時間30分 ・3時間	毎週 水曜日	無料	なし
夏休み期間限定 体験工房 (Cコース)		・ボトルクラフト(定員5名) ・とんぼ玉(定員8名) (小学生4年生以上、小学生は保護者同伴)	・2時間30分 ・3時間	毎週 金曜日	有料(材料費)	なし
夏休み! 作ろうエコ作品		・体験工作 (小学校1~6年生、保護者同伴)	3時間程度	年2回	無料	なし
ガラス細工体験	西都陽湯クリーンセンター	・サンドブラスト ・七宝焼 (小学生3年生以上、保護者同伴なら可) ・とんぼ玉(定員7名、中学生以上)	2~3時間程度	火曜日~ 金曜日 (年未年始 を除く)	・サンドブラスト: 200円 ・七宝焼:材料代 ・とんぼ玉:500円	なし
エコ教室 (不定期で実施。チラシやホームページで募集します。)	ひゅうが リサイクルセンター	・資源物を使った工作「小学生向け」 (例)おもちゃ、貯金箱など ・家庭で不要になった物を工作「一般向け」 (例)廃油石鹸、布ぞうり など	2~3時間	不定期	内容によって 異なります	なし
出前講座		・ご相談下さい。 (例)分別指導、施設紹介、工作教室など	1~2時間	-	無料	なし
環境学習講座 (不定期に環境講座を開催します。その都度チラシやホームページで案内します。)	宮崎県環境情報センター	・ごみ減量とリサイクル ・エコ講座 ・リサイクル工作 ・ごみから学ぶ地球環境 ・家庭でできる省エネ ・地球温暖化防止、わたしたちにできること ・その他環境に関すること	90分程度	不定期	無料	なし
出前学習		・環境学習講座に準じる テーマや日程については要相談 受講者10名以上で申込み下さい	-	-	無料	なし

詳細は各実施団体にお問合せください。

環境学習講座名称	環境学習講座の実施団体	環境学習講座の内容	講習時間	実施頻度	受講料	講座受講により取得できる資格等
環境教室	大淀川学習館	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝統のホタルかご作り</li> <li>・ホタル観察教室</li> <li>・浄水場見学で自由研究</li> <li>・水質検査で自由研究</li> <li>・水生生物調査</li> <li>・牛乳パックで年賀はがき作り</li> <li>・ペットボトルで工作</li> <li>・野鳥の巣箱作り</li> </ul>	1 時間 3 0 分	年に 1 回	無料	なし
環境プログラム ・川をテーマにした環境学習	NPO 法人子どもの森	川でのネイチャーゲーム 川の生き物調査	6 時間	年に 1 回 ( 8 月)	800 円 / 1 人	なし
環境プログラム ・森林をテーマにした環境学習		樹木の二酸化炭素の吸収量を学ぼう、 釜戸での炊飯、ドングリの菌床づくり	6 時間	年に 1 回 ( 1 2 月)	800 円 / 1 人	なし
「森の学舎」での体験学習 ・ネイチャークラフト		自然物を使っての工作	3 0 分 ~	土・日 / 要相談	材料費 300 円 ~	なし
森林環境セミナー ( 森の達人になろう )		<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林生態学</li> <li>・山林作業機材の使い方</li> <li>・安全管理</li> <li>・自然保護と植物観察</li> <li>・救急救命講習</li> </ul>	講義 : 8 時間 実習 : 7 時間	年に 1 回 ( 3 日間)	2,000 円 / 1 人	なし
「森の学舎」での環境学習・ 自然体験		要望に応じて対応できます。	要相談		要相談	なし
川の初級指導者養成講習会	NPO 法人 大淀流域ネットワーク	・川の初級指導者を養成する	座学 : 8 時間 実習 : 13 時間	年に 1 回	10,000 円 / 1 人	RAC リーダー RAC: 川での体験活動
学習会	日本野鳥の会 宮崎県支部	<ul style="list-style-type: none"> <li>・探鳥会リーダーの育成</li> <li>・会員の野鳥識別能力の向上</li> </ul>	3 時間程度	年に 1 回	無料	なし
環境教育	NPO 法人 H - imagine	・環境全般 ( 要望に応じて )	1 ~ 2 時間	20 回 / 年	未定	なし
プロジェクトワイルドエ デュケーター養成講習会	NPO 法人 ひむか里山自然塾	・動物をテーマにした環境教育指導 者の養成	8 時間	年に 1 回	7,500 円 / 1 人	プロジェクトワイル ドエデュケーター
ネイチャ - ゲームリーダー 養成講座	宮崎県 ネイチャーゲーム協会	・ネイチャ - ゲームリーダーの養成	座学 : 8 時間 実習 : 13 時間	年に 1 回	23,000 円 / 1 人	ネイチャ - ゲームリ ーダー

詳細は各実施団体にお問合せください。

## ( 5 ) 環境学習関係法令等

### 環境保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律

(平成 15 年 7 月 25 日法律第 130 号)

環境省

地球温暖化や廃棄物問題、身近な自然の減少など、現在の環境問題を解決し、持続可能な社会を作っていくためには、行政のみならず、国民、事業者、民間団体が積極的に環境保全活動に取り組むことが必要です。

このような環境保全活動の重要性を踏まえ、持続可能な社会づくりの基盤となるよう、「環境保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」が制定されました。この法律は、環境教育を推進し、環境の保全について国民一人ひとりの意欲を高めていくことなどを目的としています。

詳しい内容は ホームページ：[www.env.go.jp/policy/suishin\\_ho/](http://www.env.go.jp/policy/suishin_ho/) で見ることができます。

また、県では、「環境保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」第 8 条に基づき、平成 22 年度に環境学習行動指針を策定しました。環境学習の推進を図るうえでの基本的な視点や行動指針を紹介します。

## 環境の保全のための 意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律の概要

### 1．目的（第1条）

この法律は、持続可能な社会を構築するため、環境保全の意欲の増進及び環境教育の推進に必要な事項を定め、もって現在及び将来の国民の健康で文化的な生活の確保に寄与することを目的とする。

### 2．定義（第2条）

この法律において、環境保全の意欲の増進とは、環境保全に関する情報提供並びに環境保全に関する体験機会の提供及びその便宜の供与をいう。

この法律において、環境教育とは、環境保全についての理解を深めるために行われる環境保全に関する教育及び学習をいう。

### 3．基本理念（第3条）

環境保全の意欲の増進、環境教育等について、自発的意思の尊重、多様な主体の参加と協力、透明性及び継続性の確保、森林、田園、公園、河川、湖沼、海岸、海洋等における自然環境を育成すること等の重要性に係る理解の深化、国土保全等の公益との調整、地域の農林水産業等との調和、地域住民の福祉の維持向上、地域における環境保全に関する文化及び歴史の継承への配慮等の理念を定める。

### 4．各主体の責務（第4条～第6条）

事業者、国民及び民間団体は、環境保全活動及び環境教育を自ら進んで行うよう努めるとともに、他の者の行う環境保全活動及び環境教育に協力するよう努めるものとする。

国及び地方公共団体は、事業者、国民及び民間団体との連携に留意し、環境保全の意欲の増進及び環境教育の推進に関する基本的、総合的な施策を策定、実施するよう努めるものとする。

### 5．基本方針等（第7条、第8条）

国は、環境保全の意欲の増進及び環境教育の推進に関する基本的な方針を定めるものとする。

地方公共団体は、自然的社会的条件に応じた環境保全の意欲の増進及び環境教育の推進に関する方針、計画等を作成し、公表するよう努めるものとする。

### 6．学校教育等における環境教育に係る支援等（第9条）

国、都道府県及び市町村は、学校教育及び社会教育における環境教育の推進に必要な施策を講じるものとし、学校教育における体験学習等の充実、教員の資質向上の措置等を講ずるよう努めるものとする。

### 7．職場における環境保全の意欲の増進及び環境教育（第10条）

民間団体、事業者、国及び地方公共団体は、その雇用する者の環境保全に関する知識及び技能を向上させるよう努めるものとする。

#### 8．人材認定等事業の登録等（第11条～第18条）

環境保全に関する知識及び環境保全に関する指導を行う能力を有する者を育成又は認定する事業を行う国民、民間団体等は、その事業について、主務大臣の登録を受けることができることとし、これに必要な手続等を定める。

主務大臣は、環境保全に関する人材の育成又は認定のための取組及び人材の育成のための手引その他の資料等に関する情報の収集、整理、分析及び結果の提供を行うものとする。

#### 9．環境保全の意欲の増進の拠点としての機能を担う体制の整備（第19条）

国、都道府県及び市町村は、国民、民間団体等が行う環境保全の意欲の増進と相まって、環境保全に関する情報の提供、助言及び相談並びに便宜の供与等の拠点としての機能を担う体制を整備するよう努めるものとする

#### 10．国民、民間団体等による土地等の提供に関する措置（第20条）

国は、国民、民間団体等がその有する土地又は建物を自然体験活動その他の多数の者を対象とするのにふさわしい環境保全の意欲の増進に係る体験の機会のある場として自発的に提供することを促進するために必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

#### 11．協働取組の在り方等の周知（第21条）

国は、協働取組（二以上の国民、民間団体等がそれぞれ適切に役割を分担しつつ対等の立場において相互に協力して行う環境保全の意欲の増進その他の環境の保全に関する取組をいう。）の有効かつ適切な実施の方法等の周知のために必要な措置を講ずるよう努めるものとする。

#### 12．財政上の措置等（第22条）

国及び地方公共団体は、環境保全の意欲の増進及び環境教育の推進に必要な財政上又は税制上の措置その他の措置を講ずるよう努めるものとする。

#### 13．情報の積極的公表等（第23条）

国、地方公共団体、民間団体及び事業者は、環境保全の意欲の増進の内容に関する情報その他の環境の保全に関する情報を積極的に公表するよう努めるものとする。

#### 14．配慮等（第24条）

国及び地方公共団体は、環境保全の意欲の増進又は環境教育を行う国民、民間団体等の自立性を阻害することがないように配慮するとともに、当該措置の公正性及び透明性を確保するために必要な措置を講ずるものとする。

#### 15．附則

この法律は、平成15年10月1日から施行する。ただし、人材認定等事業の登録等に係る規定は、平成16年10月1日から施行する。

政府は、この法律の施行後5年を目途として、この法律の施行の状況について検討を加え、その結果に基づいて必要な措置を講ずるものとする。

## 環境学習行動指針

「環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律」(以下「法」という。)第8条において、地方自治体は、環境保全の意欲の増進及び環境教育の推進に関する方針等を作成・公表するように努めることとされています。本指針は法第8条に基づき、環境学習の推進を図っていくうえでの基本的な考えとその行動方針を定めたものとして位置付けます。

### 【基本的な視点】

各主体が協働して取り組む

県民、団体、事業者、行政がそれぞれ適切に役割を分担しつつ対等の立場において相互に協力して、環境学習を行うことが必要です。

様々な観点から環境問題を考える

「地球環境保全」、「公害の防止」、「生物多様性の保全」、「循環型社会の形成」など様々な観点から環境問題を考えることが重要です。また、地球規模の視点に立って、環境の保全と経済及び社会の発展を統合的に推進していくことも考えていく必要があります。

あらゆる場において取り組む

家庭、学校、職場、地域などのあらゆる場において、環境と社会、経済と文化とのつながりについて理解を深めていくための環境学習が必要です。

### 【行動指針】

学校等における環境学習

幼児教育から高等教育にいたるまでの環境学習においては、自然への気付きや基礎的な環境知識の習得、環境問題解決能力の育成といった、子どもたちの発達段階に応じた学習を進めていくことが重要です。

また、学校における環境学習は、各教科等における環境に関わる内容を一層充実させるとともに、総合的な学習の時間等において、環境について体験的・探求的な学習を行うなど、教育活動全体を通して実施することが求められています。同時に、生涯を通じた学習の足がかりとなるような環境学習が行われるように、指導に携わる教職員の育成や地域の人材の活用、教材の開発・提供なども進めていく必要があります。

さらに、学校教育で身に付けた知識や技術を家庭や地域の中で活かしていくため、学校と家庭・地域が連携を図りながら、地域での実践活動に取り組むなど、子どもたちの学習の場を広げることが重要です。

○体系的・継続的な学習カリキュラムを整備する

- ・子どもの発達段階に応じて、地域の特性を活かした身近な自然とのふれあいや具体的な生活体験から、自分の生活と環境とのかかわりを認識させ、環境に配慮した生活習慣、問題解決のための知識・技能、それらを活用し行動する力を身に付けさせます。

○地域における自然、文化などに関する体験活動を重視する

- ・教室で知識を学ぶだけでなく、自らが地域の中で具体的な活動や体験を楽しみながら、環境学習を行います。
- ・具体的な体験を通して、自分の生活と環境とのかかわりを認識し、主体的に環境に配慮した行動がとれるようにします。
- ・環境学習指導者は、原体験の場や機会を増やしたり、映像の活用、具体的な実験や活動、ゲームの要素等を取り入れ、子どもたちがより興味や関心を示すよう工夫します。

○子どもたちの自発的な取組を促進する

- ・環境に配慮する心や態度を養い、習慣化し、行動できるよう、子どもたちの自発的な取組を尊重しながら指導します。

○専門的な人材育成を図る

- ・地域の環境学習の指導者や、地球温暖化防止活動推進員、自然保護推進員等の環境保全に係る専門家の育成を目指した教育を行います。
- ・環境学習の質的向上を図るため、教職員の研修内容を充実させます。

○家庭や学校、地域社会、事業者と連携した学習体制を整備する

- ・子どもたちが、学校で得た知識や技能を活かして、家庭や地域社会で主体的に環境に配慮した行動を実践することにより、さらに理解や行動力を高めます。
- ・学校と家庭・地域との連携を密にして、学校での取組に関連した地域社会での活動が進められるよう配慮するとともに、地域の専門家の協力を得ながら、子どもたちが体験を通じた環境学習を行う場を広げます。

○教材を開発する

- ・より効果的な環境学習の推進を図るため、宮崎県環境学習プログラムに加え、新たな環境課題や地域の実情に対応した環境学習教材を開発します。



○学校施設の環境配慮

- ・校舎、運動場等の学校施設の整備の際に適切な環境配慮を促すとともに、当該施設を活用した環境学習を推進します。

子どもたちの発達段階に応じた環境学習の目標と内容

対象	主たる目標	内容
幼児	自然に対する感性の醸成 生命感覚の醸成 信頼感の醸成	・原体験（身近な自然との五感でのふれあい） ・基礎的な生活習慣（しつけ） ・保護者とのスキンシップ
小学校 低学年	自然に対する感性、生命感覚の醸成 身近な環境や環境問題に関心を持つ 環境に配慮した生活習慣の習得	・原体験（自然とのふれあい） ・生活習慣（しつけ） ・社会とのかかわり（地域の伝統行事への参加）
小学校 中・高学年	自然のしくみや自分の生活と環境とのかかわりについての理解 問題を見つけ、考え、判断し、表現する力の育成 環境に配慮した行動の実践	・自然物の採集 ・生物の生活環境 ・物質（資源）循環 ・ライフスタイルの選択 ・食物と農林水産業とのつながり
中学生	環境に関する事象の因果関係・相互関係の理解 問題解決能力の育成 環境改善への主体的取組	・地球規模での自然観 ・生態系のバランス ・持続可能な開発と環境保全等
高校生	環境に関する諸問題の総合的理解 環境を総合的な観点で評価する能力の育成 他人の信念や意見に対する寛容な態度の育成 仲間と協力して問題を解決していく態度の育成 循環型社会システムへの転換のための意志決定能力の育成、社会参加	・未来予測 ・循環型社会経済システム ・他者への働きかけ

### 家庭における環境学習

家庭は、地域社会における最少の基本単位であるほか、あらゆるライフステージにおいても基礎となる単位であり、日常生活の場でもあります。人間として基本的な感覚やマナー、道徳、生活様式の基盤を形成し、一人ひとりが環境への負荷の少ないライフスタイルに転換していくためには、家庭における環境学習が極めて重要です。

#### ○環境に関連する様々な話題について、家族で話し合う

- ・ごみの減量化やリサイクル、省資源・省エネルギーなど身近な環境問題について家族で取り組みます。
- ・自然との共生を大切にしてきた歴史や文化などを話題にするなど、家族全員で環境学習に取り組みます。
- ・これらを通じて、分かち合いの心や思いやりの気持ちを育ませ、ものを大切にすることを身に付けさせます。

#### ○日常生活での様々な場面で環境への理解を深める

- ・日常生活の中で、遊びや買い物、庭の掃除など様々な体験を重ね、実生活を通してルールやマナーを教えます。
- ・家族で自然の中に出かけ、五感で自然とふれあうことにより、自然に対する感性や生命感覚（生命を尊ぶ感覚）を育ませ、環境への興味、理解を深めます。

### 地域における環境学習

地域社会は家庭や学校、団体、企業が会する公の場であるとともに、子どもたちが社会的なルール等を学ぶ場として重要な役割を担っています。また、地域には、古くから引き継がれてきた自然や文化、環境保全に自発的に取り組む個人や団体など、環境学習に役立つ資源が豊富にあります。私たちは、こうした地域の環境学習資源を活用しながら、地域の一員として一人ひとりが日常生活のあり方から地域環境のあり方までを学び、地域における環境学習を推進する必要があります。

#### ○地域社会を見直す（調べる、学ぶ）

- ・家族やグループで、身近な生活環境や自然環境等について調べ、地域の環境がより良くなるための改善策などについて学習します。
- ・自治会、子供会、青年団、婦人会、老人クラブなどで、地域の環境について学習し、話し合います。

- ・学校での環境学習に、地域や企業の専門家などを活用し、学校と企業・地域との連携に努めます。
- ・学校で得た知識・技能を地域社会で具体的に実践させ、理解や行動を高めていきます。

#### 職場における環境学習

事業者は、その活動が地域の環境や地球環境に深くかかわっていることを認識し、環境への負荷の少ない事業活動を展開する必要があります。そのためには、経営理念の中に環境配慮を織り込むとともに、自発的に従業員等に対する環境学習を行い、職場全体で環境対策に取り組むことが重要です。

また、事業者を対象とした環境保全アドバイザーの派遣等により、職場でも環境学習の充実を図ることが必要です。

さらに、地域社会における一員として、地域における環境学習活動への積極的な参加、支援が求められます。

#### ○職場環境をチェックする

職場での環境配慮への取組を定期的にチェックし、対策を考え、計画・実行・チェック・評価・改善という環境改善のサイクルをつくります。

#### ○従業員等に対する環境学習を推進する

- ・職場研修等を通じて、従業員一人ひとりの環境意識の向上・定着を図ります。

#### ○地域における環境学習や環境保全活動を支援する

- ・地域の一員として、環境学習や環境保全活動に積極的に参加するとともに、資材や施設の提供等の支援を行います。
- ・取組結果をホームページで発信するなど、地域へのPRに努めます。

#### ○環境体験の機会を提供

- ・多数の県民を対象とする自然体験活動、環境保全の意欲の増進に係る環境体験の場を提供します。



発 行

**宮崎県 環境森林部 環境森林課**

〒880-8501

宮崎市橘通東2丁目10番1号

T E L : 0985-26-7084

F A X : 0985-26-7311

E-mail : [kankyoshinrin@miyazaki.lg.jp](mailto:kankyoshinrin@miyazaki.lg.jp)(環境森林課)

U R L : <http://eco.pref.miyazaki.lg.jp>(みやざきの環境)

製 作 : 特定非営利活動法人 ひむか里山自然塾

**R100**

古紙配合率100%  
白色度70%

PRINTED WITH  
**SOY INK**

大豆インク使用

この冊子は、古紙配合率100%白色度70%の再生紙と、  
環境にやさしいインキ(大豆油インキ)を使用しています。